

University of FUKUI Viewbook 2016

国際地域学部 平成28年度設置予定
教育地域科学部・工学部 平成28年度改組予定

※平成28年4月開設・再編に向け、文部科学省と協議中の内容です。
今後、変更の可能性もあります。

創造力、実践力。 国立大学法人
福井大学
UNIVERSITY OF FUKUI



福井大学

未来へ。世界へ。 さあ、新たなステージに 踏みだそう。

理念

福井大学は、学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い専門医療を実践することを目的とします。

長期目標

福井大学は、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成します。

福井大学は、教員一人ひとりの創造的な研究を尊重するとともに本学の地域性等に立脚した研究拠点を育成し、特色ある研究で世界的に優れた成果を発信します。

福井大学は、優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献します。

福井大学は、ここで学び、働く人々が誇りと希望を持って積極的に活動するために必要な組織・体制を構築し社会から頼りにされる元気な大学になります。

make the world your stage!

C o n t e n t s



理念・長期目標	2
学長メッセージ	5
福井大学は新たなステージへ	6
■ 国際地域学部	8
■ 教育学部	16
■ 医学部	24
■ 工学部	38
附属国際原子力工学研究所 (敦賀キャンパス)	54
キャンパスライフ	56
・キャンパスカレンダー	57
・文京キャンパス	58
・松岡キャンパス	66
学費・生活費・住まい	74
奨学金制度	75
国際交流・留学	76
就職サポート	80
入試情報	86
福井で暮らす。遊ぶ。	88
福井大学をもっと知りたい方へ	90
Access	91

※本紙に掲載されている方の所属・学年等は取材時のものです。

地域に根ざし 世界で輝く人に



福井大学は、平成28年度から新たな学部を加えた4学部にて体制を改め、総合大学としてより充実した姿となって皆さんを迎え入れます。新たに設置する「国際地域学部」(設置申請中)は、地域をけん引しながら、グローバル化を推進する学部です。地域と国際の両面から課題と向き合い、解決を目指す人材を育てるべく、文理融合型教育と、課題探求プロジェクトなどの実践的な専門教育に力を入れます。これに伴い、現在の教育地域科学部は、「教育学部」として教員養成に特化し、その機能を一層高度化します。また、工学部は、これからの社会に適応すべく、学科の再編を行い、工学に係る広い知識と高度専門知識の両方の修得を可能とするなど、教育力を一層向上させます。

本学ではこれまでさまざまな特色のある教育を行っており、その取り組みや、研究力、社会貢献活動が評価されています。平成26年には、複数学部を要する国立大学において学生の就職率が7年連続1位となり、同時に、就職後3年以内の離職率は7.1%(全国平均31%)と極めて低い数字を維持しています。これらは、学生の実力が企業に高く評価された証であり、同時に学生たち自らが確固とした自己を築き上げた結果でもあります。

本学では、学生一人ひとりが、力を最大限に引き出せるように、きめ細かな教育を実践するとともに、学生が実力を発揮できる進路的確に見定めるための強力な支援を行っています。福井大学は、“真の力をつけられる大学”です。みなさんが、この大学で優れた高度専門人材へと成長し、社会の発展に貢献できる人材に成長できるよう、教職員一同が全力で支援します。

福井大学で学び、将来の夢を実現する力を身につけた皆さんが、福井の地から世界に羽ばたくことを心から願っています。

学長 眞弓 光文

MAYUMI, Mitsufumi

2016年4月、 福井大学は 新たなステージへ

グローバル化する社会において
高い付加価値を生み出し、さらに発展するために
4学部8学科1課程を擁する総合大学へと
新たな一步を踏み出します。

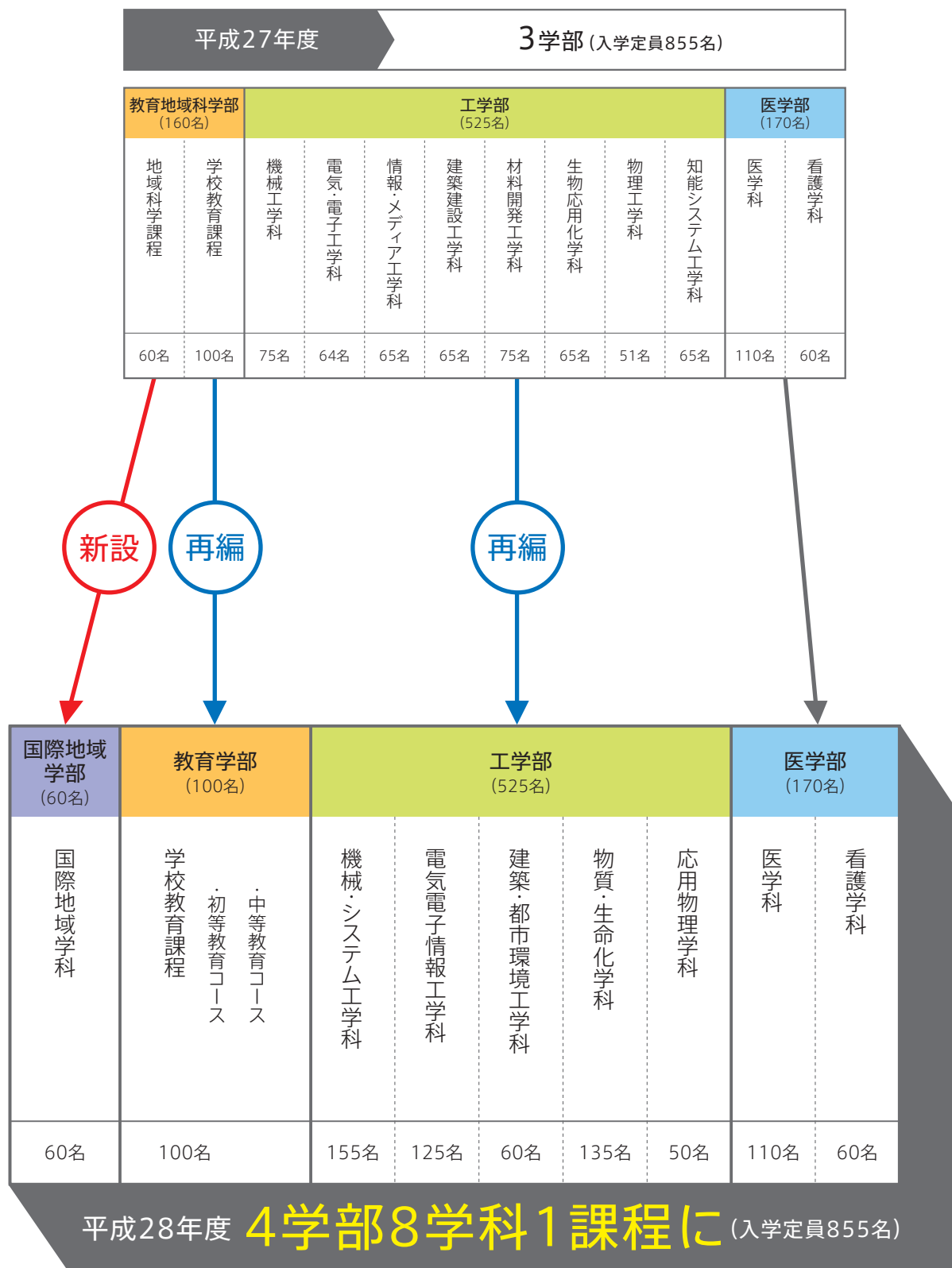
福井大学は、21世紀のグローバル社会において、高度専門職業人として活躍できる優れた人材を育成するために、学部組織を見直す、大きな改革を行います。具体的には、「教育地域科学部」を国際化に向けて全学を牽引する「国際地域学部」と、実践型教員養成機能を強化する「教育学部」に発展的に改組し、工学部を今後の社会情勢の変化に柔軟に対応するために8学科から5学科へ再編します。この改革により、4学部8学科1課程を擁する総合大学となり、これまで以上に地域の発展をリードし、豊かな社会づくりに貢献します。

地域創生を担いグローバル社会の発展に寄与する人材を育成するため
「国際地域学部」を新設。

新しい学校教育を担う教員を養成するため
教育地域科学部を教育学部へ。

工学の幅広い分野に対応できる高度専門技術者を育成するため
工学部を8学科から5学科へ。

福井大学の機能強化に向けた改革



※平成28年4月開設・再編に向け、文部科学省と協議中の内容です。今後、変更の可能性もあります。

国際地域学部

国際地域学科

2016年4月開設予定

Faculty of Global and Community Studies

未来への道は、ここからはじまる

少子高齢化やコミュニティの危機等の進行は、地域の中で深刻な課題となっています。また、経済のグローバル化は地域にも浸透し、企業のグローバルな展開が進むとともに、地方経済の活性化は急務の課題といえます。

今日のグローバル化された社会の抱える課題の多くは、地域・国内・国際という異なるレベルに共通するものであり、それぞれにおいて相互に関わりながら分かちがたく展開しているという性格を持っています。

本学部では、地域の抱える諸課題を、構造的・重層的に捉え、最適な解決を目指して、地域と国際の両面から、課題の発見と解決を担う人材育成を、国際水準の教育で実現します。



※平成28年4月開設に向け、文部科学省と協議中の内容です。今後、変更の可能性もあります。

世界を知り、地域を見つめる新基軸の教育

学びの特色 ①

世界と地域を繋ぐ
徹底した英語教育と
海外留学を通じた
異文化理解教育

学びの特色 ②

地域の企業・自治体等と
連携した地域密着型
課題探求プロジェクト

学びの特色 ③

医学部・工学部との連携
による幅広い学識を培う
文理融合型教育

Admission Policy

入学者受入の方針

教育の目的

地域や国際社会の抱える複雑な課題を探究し、課題解決をしていくための実践的・総合的な能力を身につけ、地域の創生を担いグローバル化した社会の発展に寄与する人材を育成する。

求める学生像

1. グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸問題について関心を持ち、それについての探究を深め課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある人。
2. 課題の探究と解決に向けて、必要な専門的な分野の学習を学ぶ意欲をもつとともに、問題解決の方法や他の人と協働で実践的に取り組んでいくことに積極性のある人。
3. 世界共通語的性格をもつ英語はもちろん、多文化的なグローバル社会の中で活躍できるコミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする人。

Curriculum Policy

教育課程の編成・実施の方針

1. 現代の地域社会や国際社会の抱えている諸課題を理解、分析するために政治学・経済学・経営学・社会学、歴史学、宗教、哲学、文化研究をはじめとする人文社会科学分野に関わる幅広い学識と科学技術分野の知識を身につける。
2. 地域や社会の抱える現実の課題について、専門的な学習と併せ、地域や企業等との参加・協働を通して、探究と解決に取り組むことのできる能力を身につける。また、そのために必要な、分析ツールとしての統計、データ処理、調査法等で求められる能力を身につける。
3. グローバル化が進行する社会・地域の中で、広く世界を知り、多文化の中で主体的に生きていけるために必要な多文化共生を支える異文化理解力とコミュニケーション能力を身につける。

Diploma Policy

学位授与の方針

1. 幅広い教養と専門的な知識・能力を有している。
2. 地域や国際社会の抱える課題と発展可能性を探り、リサーチすることができ、その問題の解決と可能性の実現を通して、グローバル社会の発展と地域創生に貢献することができる。
3. グローバル化する社会において求められる国際的な視野や批判的思考力を身につけ、英語を中心とする外国語能力も含めた多文化共生を支えるコミュニケーション能力をもち、行政・企業・地域等に対応し、活躍することができる。

学びの特色 1 グローバルに考える力を身につける

Faculty of Global and Community Studies

世界と地域を繋ぐ徹底した英語教育と海外留学を通じた異文化理解教育



グローバル社会で活躍できる人材を育成するために、海外留学を含めた多様な経験の機会を提供します。留学先で通常の科目を英語で学べる能力獲得を目指し、1年次の学生は全員、集中的に英語を学習します。特に最初の半年、ICTを活用した言語開発センターでの学習も含め徹底的に英語を学び、まずは留学資格TOEFL530以上を達成、さらに目標550以上を目指します。

□徹底した英語教育



英語インストラクターによる授業風景



語学学習に役立つDVD等を視聴できるDVD Station

□海外留学

海外留学を通して世界を知り、異文化の中で実際に生活することで異なったものの見方、価値観、社会の在り方等について理解を深めます。海外留学は、学生に“global thinker”（グローバルに考える人）となる契機を与え、同時に、世界に対する幅広い理解と、自己に対する理解を深めます。

1年次終了時に2つのアプローチから選択し、「グローバルアプローチ」では半年または1年間の留学を必修とし、「地域創生アプローチ」では半年間の留学を強く推奨します。(P14参照)

アプローチ選択

■英語教育と海外留学イメージ

	留学パターン		
	A	B	C
4年次前期			
3年次後期		海外留学(半年間)	海外留学(1年間)
3年次前期	海外留学(半年間)		
2年次後期	英語・第2外国語教育		
2年次前期	(グローバルアプローチは英語教育科目必修、地域創生アプローチは英語教育科目選択)		
1年次後期	英語集中教育		
1年次前期	(履修科目のうち約5割が英語科目)		

注1) 本学部の学期制は海外留学等に対応するため2学期制とクォーター制を併用します。

(前期:第1Q・第2Q、後期:第3Q・第4Q)

注2) 地域創生アプローチでの留学はA/Bパターンのみ

学びの特色 **2** 地域の課題と向き合う4年間

地域の企業・自治体等と連携した 地域密着型の課題探求プロジェクト

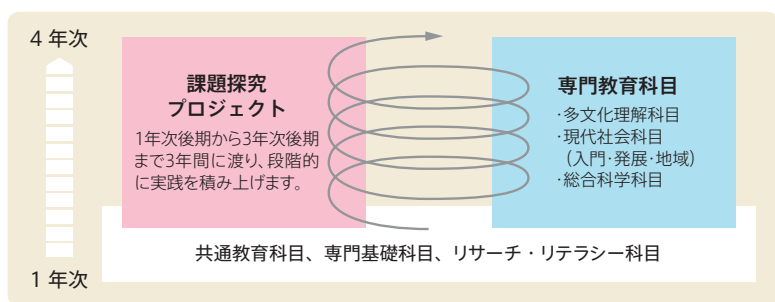


「課題探求プロジェクト」は、企業や自治体等に出向いて様々な課題を知り、調査し、課題解決の一端を担う実践的な科目群です。実践的な学びと、課題を理解し分析する幅広い専門分野の学習を有機的に結び付ける形でカリキュラムを構成しています。プロジェクトは、各人の希望に沿って1年次から3年次にかけて、学年進行に伴い到達目標を高度化させる形で実施し、最終的に

は自分の参加したプロジェクトに触発されたテーマについて、専門的な学問分野に即して調査・研究し、卒業研究につなげます。こうした「課題探求プロジェクト」を中核に据えたカリキュラムを通じて、問題の探究とその解決、意思決定や批判的な思考を育むとともに、リアルな現場として社会を理解し、自分の進路への意識とそれに適応する能力を身につけます。

□課題探求プロジェクトと専門教育科目の結びつき

実践的なプロジェクト学習を継続的に深めながら、それと関わる専門教育科目の知識と方法を、らせん的なサイクルで習得します。



■課題探求プロジェクトの参加企業等(予定)

【製造業】

セーレン株式会社
前田工織株式会社
フクビ化学工業株式会社
日華化学株式会社

【情報・通信業】

福井テレビジョン放送株式会社
福井放送株式会社
株式会社福井新聞社

【卸・小売業】

福井キャノン事務機株式会社
三谷商事株式会社
福井県民生活協同組合

【金融・保険業】

株式会社福井銀行

【電気・ガス・水道業】

北陸電力株式会社 福井支店

【運輸業】

京福バス株式会社
えちぜん鉄道株式会社

【サービス業】

芦原温泉旅館協同組合加盟旅館

【その他】

福井商工会議所
福井県経営者協会

【自治体】

福井県
福井市
勝山市
鯖江市
越前市
永平寺町
【国立大学法人】
福井大学

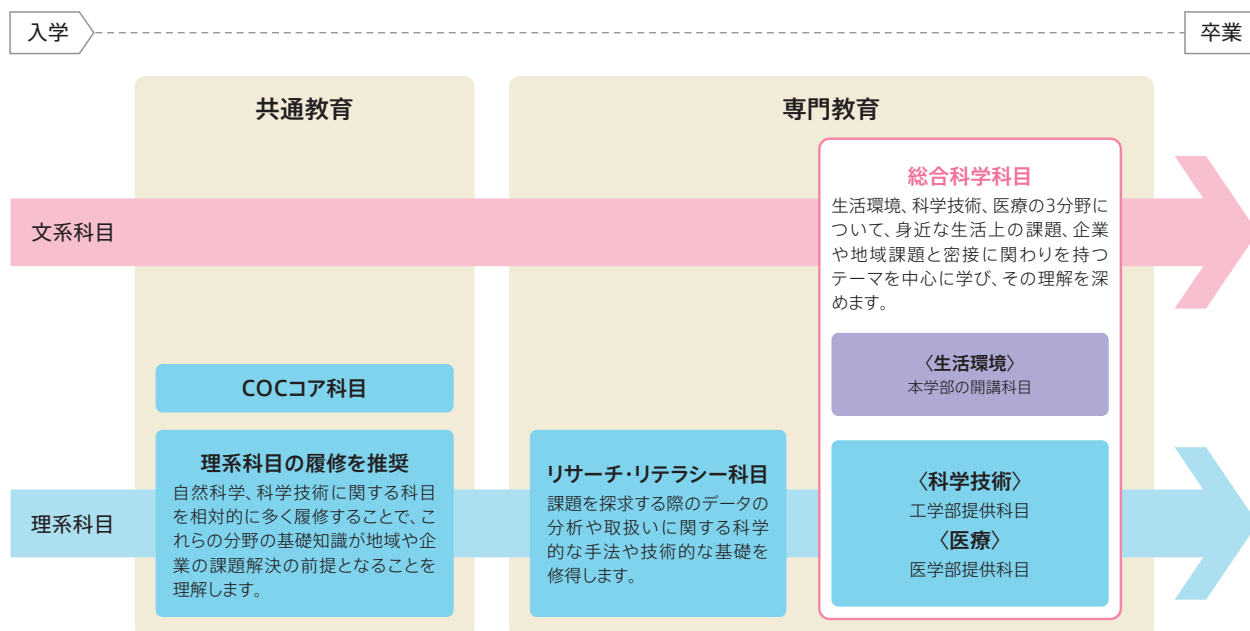
学びの特色 **3** 文系・理系を超えた多様な学び

Faculty of Global and Community Studies

医学部・工学部との連携による 幅広い学識を培う文理融合型教育



- ・共通教育では、数学や自然科学、科学技術に関する科目を相対的に多く履修することで、これらの分野の基礎知識が、地域や企業の課題解決の前提となることを理解します。
- ・課題を探究する際のデータの分析や取扱いに関する科学的な手法や技術的な基礎を「リサーチ・リテラシー科目」として開講します。
- ・地域の複合的な諸課題や、課題探究プロジェクト、専門科目等と関連性をもつ自然科学系の専門科目を、医学部・工学部との連携により、「総合科学科目」として開講します。



※「COCコア科目」とは、地域の課題を体系的に学習する科目を言います。COC: Center of Communityの略号

Q & A

Q 英語の授業についていけるか不安です。

A 本学では、全員が授業についてこられるカリキュラムを用意し、コミュニケーション能力を重視した実践的英語教育を実施しています。また、学内には日常的に利用できる魅力的な施設がそろっています。図書館内にある言語開発センター（LDC）では、e-learningシステム等、充実した教材や設備が整っており、自主学習の場として積極的に活用されています。また、グローバルハブでは、学内で気軽に国際交流イベントに参加できます。

Q 留学した場合、4年間で卒業することができますか。

A 4年間で卒業することが可能です。留学にあたっては、事前に指導教員等と相談し、留学先での履修計画をしっかりと立て、それに基づき留学先で単位を修得します。帰国後、審査により卒業に必要な単位として認定します。

Q 留学したことにより、就職活動に支障はでないでしょうか。

A 留学期間中も、指導教員や就職支援室が就職活動に関してしっかりサポートしますので、大丈夫です。

Q 課題探求プロジェクトで訪問する機関や取り組む課題を自由に選択することができますか。

A 訪問する機関や取り組む課題は、一連のプロジェクト学習の進展の中で、各人の興味や関心に基づき選択していく仕組みをとります。なお、このプロジェクトには、福井県内のさまざまな業種から15の企業と福井商工会議所、福井県経営者協会、また、従来から本学と緊密に連携している6自治体が参加予定で、幅広い選択が可能です。

Q なぜ理系科目の履修が必要なのでしょう。

A 本学部では、地域創生とグローバル化社会の発展に求められる専門性と学際性に裏付けられた幅広い学識を培うために文理融合型の教育を行います。特に、「総合科学科目」においては、生活環境、科学技術、医療の3分野において、自然環境や住環境、エネルギー・原子力、ものづくり、建築・住居環境、医療・医学・看護・保健等の基礎について学び、企業や自治体で活躍できる自然科学の基礎的・実践的素養を身につけます。

Q 途中でアプローチを変更することはできますか。

A アプローチの途中変更は可能です。アプローチを選択する2年次以降の専門教育においても、履修内容を固定化せず、共通の科目履修とアプローチによる科目履修により、興味関心に応じた主体的な学習を保障する柔軟なカリキュラム編成となっています。

Q 公務員を目指すことはできますか。

A 本学部の目的は、「地域の創生を担う人材」と「グローバル化する社会の発展に寄与できる人材」の双方を兼ね備えた人材を育成することです。公務員は本学部が育成する人材像に合致しており、有力な就職先と考えています。また、公務員に必要な法律や政治学等の科目も開講しており、課題探求プロジェクトの授業では、自治体のフィールドで自治体が抱える課題の解決に向けた活動等も予定されています。さらに、学内で公務員試験対策講座を開講する等、就職支援も充実しています。

Q 留学先はどのように決まりますか。

A GPA、TOEFLスコア、これまでの取得単位数、留学志望理由、留学先の入学要件等を総合的に考慮し決定します。

Q 留学にはどのくらいの費用がかかりますか。奨学金などの支援はありますか。

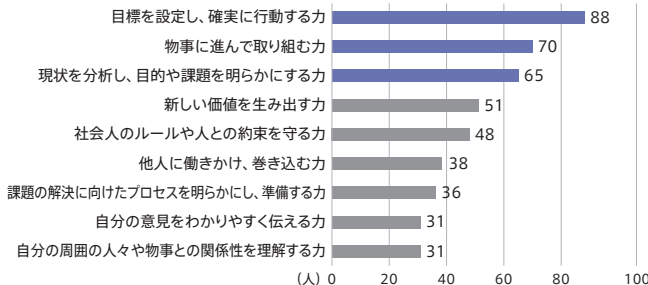
A 交換留学の場合、留学先大学での授業料は免除となります（但し、本学に在籍したまま留学しますので、福井大学に授業料を納めることになります）が、往復渡航旅費、保険料、宿舎費、食費、生活費、教科書代等が別途必要です。その費用は、国・地域、留学期間、滞在施設等によって異なり、基本的には個人負担となりますが、各種支援金や奨学金による留学費用のサポートを検討しています。

留学費用は、北米・欧州：半年間＝70～90万円、1年間＝120～150万円、アジア：半年間＝40～50万円、1年間＝120～150万円ほど必要となります。

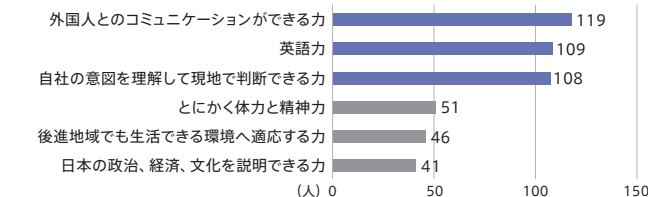
□ 国際地域学部の目指すグローバル人材が求められています！

県内に本社・支店等を置く企業へのアンケート調査結果

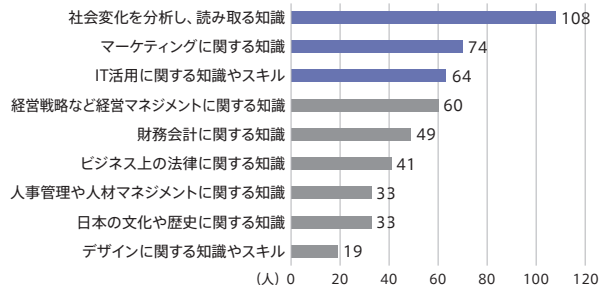
■ 社会人となるため、この組織で育成して欲しい能力



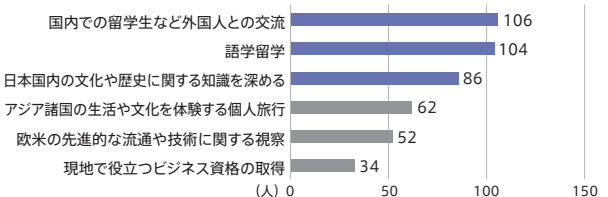
■ 海外展開を支える人材として必要とされる能力



■ 文系学生に求める専門知識



■ 海外展開を支える人材採用に向け、大学時代に経験して欲しいこと



【対象企業】福井県内に本社・支店等を置く企業（754社を対象に調査） 【実施時期】平成26年8月6日～平成26年9月5日

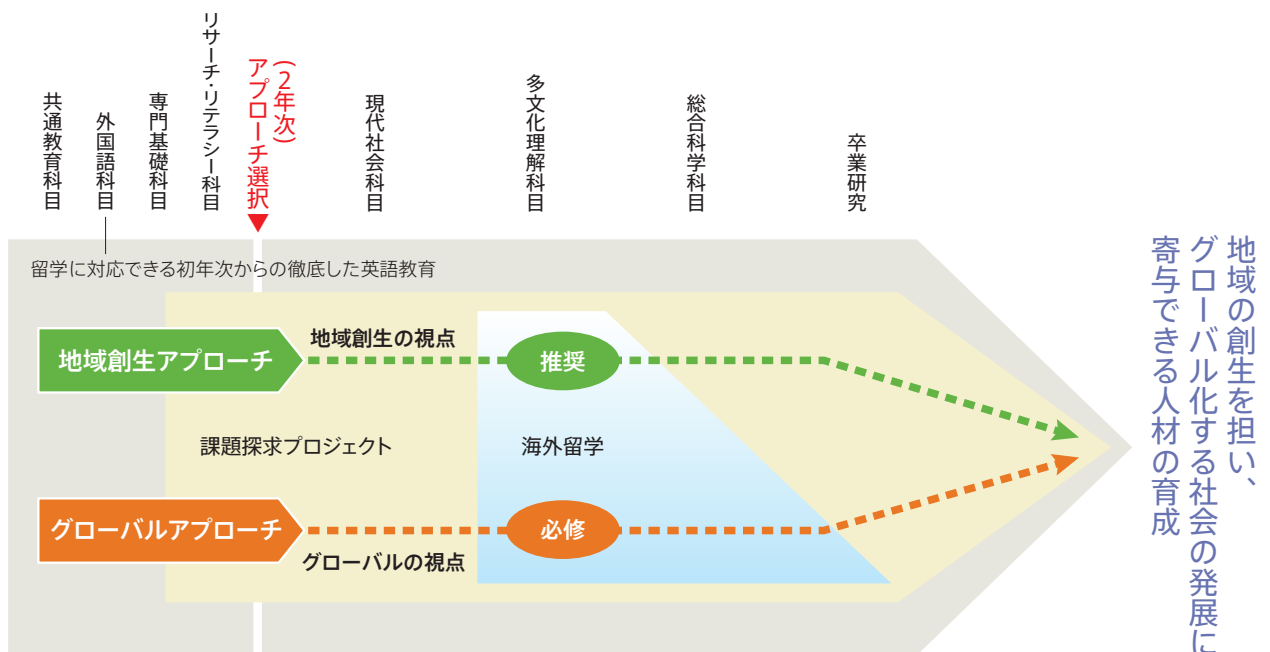
カリキュラム

Faculty of Global and Community Studies

3つの新基軸の教育を実現する 多様で充実したカリキュラムを設定しています。

□2つのアプローチ

学習のプロセスにおいては、履修内容を固定化せず、共通の基本と柔軟な選択履修という仕組みを設けることによって、学生の主体的な学びと国際水準での教育を実現していきます。その中で、主にグローバルな視点から入る学び方（「グローバルアプローチ」）と主に地域創生の視点から入る学び方（「地域創生アプローチ」）の2つのアプローチを用意し、学生の興味関心に応じた柔軟な対応を行います。2つのアプローチの特徴は、海外留学について、グローバルアプローチは1学期間又は2学期間の海外留学を必修とし、地域創生アプローチでは1学期間の海外留学を推奨します。また、課題探求プロジェクトについて、中長期の海外留学を伴うグローバルアプローチは留学期間に応じて弾力的に取り扱います。専門科目についても、アプローチに応じて履修の幅を持たせ、主体的な学びを可能にします。



□教育課程の概要

区分	1年次				2年次				3年次				4年次			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
専門教育科目													卒業研究 【3科目】			
	課題探求プロジェクト 【計7科目】															
	多文化理解科目 【41科目】															
	現代社会科目 【39科目】															
	総合科学科目 【20科目】															
	リサーチ・リテラシー科目 【11科目】															
	専門基礎科目 【2科目】		日本理解科目 【5科目】													
外国語科目 【21科目】																
共通教育科目	共通教育科目 入門科目、基礎教育科目、共通教養科目 【168科目】															
【合計 317科目】																

Q=クォーター、【 】内は開講科目数

□履修モデル

地域創生アプローチ

〈地元自治体の商工振興部門、ブランド推進部門、広報部門等 志望〉

4年次	課題探求プロジェクト科目	まちづくり論 (2)	環境問題と社会 (2)	日本海地域の自然と環境 (2)	資源エネルギー概論 (2)	卒業研究セミナー (1)	卒業研究 (6)	取得単位数合計 (125) 単位					
3年次	海外留学	課題探求プロジェクトⅢB (2)	エネルギーと環境 (2)	日本の学校教育 (2)	ものづくり基礎工学 (2)	地域情報システム (2)	福井地域の歴史 (2)	地域文化マネジメント (2)	アジア研究 (2)				
	課題探求プロジェクトⅢA (2)	(例) 14単位を認定※											
2年次	課題探求プロジェクトⅡ (2)	東洋史B (2)	都市と建築の環境 (2)	中国語Ⅲ (1)	中国語Ⅳ (1)	地域分析 (2)	社会調査法 (2)	日本の近代文学 (2)	地方自治法 (2)	産業地理学 (2)	経済政策論 (2)	留学セミナー (1)	
	課題探求プロジェクトⅠ (2)	東洋史A (2)	社会学C (2)	中国語Ⅰ (1)	中国語Ⅱ (1)	データ分析入門 (2)	日本史概説 (2)	法学概論 (2)	経済理論 (マクロ) (2)	経営学概論 (2)	民法 (総則) (2)	行政法Ⅰ (総論) (2)	
1年次	課題探求プロジェクト基礎B (2)	国際地域概論Ⅰ (2)、Ⅱ (2)	English ReadingⅢ (1)、Ⅳ (1)	English WritingⅢ (1)、Ⅳ (1)	統計入門 (2)	情報技術基礎 (2)	政治学概論 (2)	異文化コミュニケーション (2)					
	課題探求プロジェクト基礎A (2)	大学入門セミナー (2)	情報処理基礎 (2)	英語Ⅰ (1)	英語Ⅱ (1)	英語Ⅲ (1)	英語Ⅳ (1)	英語Ⅴ (1)	英語Ⅵ (1)	英語Ⅶ (1)	英語Ⅷ (1)	英語Ⅷ (1)	TOEFL対策講座 (1)

グローバルアプローチ

〈多国籍企業、海外展開企業 志望〉

4年次	課題探求プロジェクト科目	日本海地域の自然と環境 (2)	卒業研究 (6)	取得単位数合計 (124) 単位									
3年次	海外留学	課題探求プロジェクトⅢB (2)	社会学C (2)	環境問題と社会 (2)	比較文学 (2)								
	課題探求プロジェクトⅢA (2)	(例) 30単位を認定※											
2年次	課題探求プロジェクトⅡ (2)	経済学C (2)	造形美術の世界 (2)	ドイツ語Ⅲ (1)	ドイツ語Ⅳ (1)	Academic English WritingⅠ (1)、Ⅱ (1)	リサーチ入門Ⅱ (2)	日本の近代文学 (2)	知的財産の基礎知識 (2)	経済政策論 (2)	留学セミナー (1)	発達心理学 (2)	
	課題探求プロジェクトⅠ (2)	ドイツ語Ⅰ (1)	ドイツ語Ⅱ (1)	英作文Ⅰ (1)、Ⅱ (1)	Academic ReadingⅠ (1)、Ⅱ (1)	日本史概説 (2)	日本語教授法 (2)	経営学概論 (2)	国際政治学 (2)	国際関係論 (2)	世界共通語としての英語 (2)	言語学入門 (2)	
1年次	課題探求プロジェクト基礎B (2)	国際地域概論Ⅰ (2)、Ⅱ (2)	English ReadingⅢ (1)、Ⅳ (1)	English WritingⅢ (1)、Ⅳ (1)	統計入門 (2)	政治学概論 (2)	異文化コミュニケーション (2)						
	課題探求プロジェクト基礎A (2)	大学入門セミナー (2)	情報処理基礎 (2)	英語Ⅰ (1)	英語Ⅱ (1)	英語Ⅲ (1)	英語Ⅳ (1)	英語Ⅴ (1)	英語Ⅵ (1)	英語Ⅶ (1)	英語Ⅷ (1)	英語Ⅷ (1)	TOEFL対策講座 (1)

※留学先の大学で履修した科目のうち、本学の既存の科目と内容、教育目標等が合致する科目について、最大36単位まで単位認定。

想定される就職先

- ・国、地方自治体、関連諸団体
- ・グローバルに展開する県内企業
- ・商業・金融・観光・サービス業等の地域の企業
- ・観光業
- ・国際交流団体、国際機関
- ・シンクタンク
- ・大学院進学 等

教育学部

学校教育課程

□大学院教育学研究科 □附属学園

学校教育の多様な課題に対し 専門性をもって取り組むことのできる人材を育成する

Admission Policy

入学者受入の方針

教育理念・目標

学校教育の様々な課題に対して高い専門性をもって積極的に取り組む人を育てる学部、それが教育学部です。

本学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。それぞれのコースでは、教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけ、学習者の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた教員の養成を通じて広く社会の発展に寄与することを目指しています。

求める学生像

1. 高等学校などで身につけた基礎学力の上で、主体的・協働的に学ぶことができる人
2. 人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
3. 子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
4. 教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人



Curriculum Policy

教育課程の編成・実施の方針

学校教育課程では、公教育の担い手として多様な人々と協働しながら、学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援し、生涯にわたって学び続ける教師を育てるために、以下のような特徴を有する教育課程を編成し、実施する。

1. 幅広い専門領域を担う教員組織と新しいカリキュラム開発
多様な教科や領域の教員が協働し、地域・社会の諸課題を視野に入れた授業やカリキュラムを開発する。また、地域との連携やグローバル社会を視野に入れた学校教育の重要性を考えることのできる人材を育成する。
2. 実践と省察を繰り返す協働的な学習
子どもたちの成長と発達を促す実践への参加と省察を繰り返す学習経験を積ませる。全学年の学生が協働して探究することにより、専門職としての教師に求められる学習を積み重ねる。
3. 教科・領域の専門性を高めるための科目配置
教科・領域が成立する根拠や意義、歴史的背景への理解をベースに、教科・領域の目的・目標・内容・方法に関する専門性を培う。さらに各教科・領域のカリキュラム・単元・授業・教材・活動内容の提案、事例研究を行いながら、教科横断的、系統的な視野に基づいた学習を組織することができる実践の力を形成する。
4. 深い人間理解を促すための科目配置
人間の教育・心理に対する専門的理解を深めながら、就学前段階にある幼児や特別な教育的ニーズをもった児童・生徒の成長も視野に入れ、多様な視点から子どもの成長や発達を支援することができる力を形成する。
5. 学び続けることのできる教師の育成
学識形成の足跡を示す学びの履歴・成果をまとめることにより、世代継承サイクルを組み込んだ学習コミュニティを形成する。専門職としての総合的な能力を評価するために、協働探究のプロセスやそこで育まれた能力を把握し、学習個人誌を作成・公開する。

【学部の特色】

教育学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と、中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。初等教育コースでは、教科の専門性を横断的、体系的に身につけ、幼児・児童の成長や学習に対する専門的理解を深め、地域と連携できる能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成を行います。また、中等教育コースでは、青年期の特徴を理解し、生徒の知的好奇心や自己実現に応えるための高い専門知識を持ち、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる教科指導力を身につけた中学校、高等学校教員の養成を行います。

Diploma Policy

学位授与の方針

教育学部では、修業年限以上在学し、かつ教育課程編成の方針に基づいて編成された科目を履修し、共通教育規程および教育学部規程において定められた単位数を取得することにより、教科や教職の専門的・実践的力量ならびに公教育の担い手としての自覚と責任感を備え、以下のような能力を身につけたと認められる者に対して学位を授与する。

1. 生涯にわたって学び続ける基盤
地域や学校における実践コミュニティの一員として、また学びの専門職として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける基盤を有する。
2. 協働的な学習や探究的な学習の指導と評価
子どもたちが主体的・協働的に学習できるように、また教科・領域の特性に応じた探究的な学習を行うことができるように、教育の目的・目標・内容、および子どもの発達や地域・グローバル社会に関する知識に基づいて指導と評価の計画を立てることができる。
3. 教科・領域における重要な概念と探究の方法に関する理解
子どもたちの知的・社会的・個性的な発達を支援するために、各教科・領域における重要な概念と固有の探究方法、およびそれらを子どもたちが学習していくプロセスに関して深い理解を有する。
4. 民主的な集団活動の指導
学校や教室の社会的・文化的文脈を認識したうえで、子どもたちが平和で民主的な社会のあり方と人間らしい生き方について理解を深められるように、集団活動の運営方法を指導することができる。
5. 子どもたちの個性に応じた成長と発達の支援
人間の成長・発達について深い理解を形成し、子どもたち一人ひとりの個性に応じた成長と発達を支援することができる。
6. 学識形成の足跡を示す学習成果の公開
上記 1 から 5 の能力を裏付けるために、学識が形成された足跡を示す学習成果をまとめて、公開することができる。



地域になくてはならない 教員を育てる

子どもたちの探求心、思考力及び創造性を育み、地域と連携した教育環境を組織できる教員の養成を使命とします。

地域の教育ネットワークを広げ、 その中心として活躍できる実践力ある教員を目指す

Faculty of Education



✦新しい学校教育を担う教員を養成する

学校教育を担う教員には、社会の変化に即応できる知識や指導法などの資質能力が求められます。教育学部では、校種を横断した一貫教育や児童生徒の多様性を考慮した学級経営、ICT教育など、社会の変化に応じた新しい学校教育を担う教員を養成

します。教科や教育学の専門知識を深めることはもちろん、「探求ネットワーク」や「ライフパートナー」など、子どもたちとともに活動する「教育実践研究」を初年次からカリキュラムの中心に据え、新たな学びを展開できる実践的指導力を養います。

✦初等教育コース

初等教育コースでは、小中一貫教育や幼小連携教育、へき地複式教育、特別支援教育など現代の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員の養成のため、実践的で協働的な課題探究型の授業を中心に、小学校英語教育やICT教育、インクルーシブ教育など新しい教育内容に対応したカリキュラムを充実させています。



✦中等教育コース

中等教育コースでは、中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校、高等学校教員を養成します。課題探究型学習やアクティブラーニングに関する指導方法を学ぶとともに、各教科の教育内容に関する専門性を高めるカリキュラムを充実させています。



探求ネットワーク

総合学習や特別活動の視点からカリキュラムについて理解を深める授業「教育実践研究B」の実践プログラム。
紙すきや人形劇など9つのブロックに分かれ、5月から12月までの隔週土曜日に、地域の子もたちと長期にわたる探求活動を行い、子どもや周りの人たちとの関わり方、組織の動かし方を学びます。

子どもたちと向き合いそれぞれの思いを理解する

田邊史貴さん 学校教育課程 芸術・保健体育教育コース 2年次 福井県立勝山高等学校出身

「わくわくキャンプ工房」というブロックで、子どもたちと木や竹を使った工作をしたり、キャンプや合宿をしたりしています。

私たちのブロックは小中学生30名が参加しているのですが、それぞれの子どもが安全に、楽しく活動できるようにと、20名の学生スタッフで、活動内容やタイムスケジュール、危機管理などを、何度も話し合っています。

毎回の活動ごとに「友達とたくさん会話をする」「協力する」など、子どもたちに身に付けてほしい力を考え、運営しているので、子どものことを第一に考えて行動できるようになりましたね。

教師は、おとなしい子や活発な子など、多様な子どもたちの興味を引きだし、学級をまとめる力が必要ですが、多くの子どもたちと接するこの活動で、その力が少しずつ身についてきたように思います。



ライフパートナー

「学校教育相談研究」の授業に位置づけている実践プログラムで、派遣依頼のあった小中学校や家庭に出向き、悩みや問題を抱える子どもをサポートします。
遊んだり勉強したりする活動と、授業でのケースカンファレンスを繰り返しながら、子どもの心に寄り添う力を養います。

その子にあった支援を見極める

黒田成美さん 学校教育課程 臨床教育科学コース 3年次 福井県立勝山高等学校出身

家庭の事情であまり学校に通えない中学生の女子生徒を担当しました。中学の先生からは、学習支援をするよう依頼されましたが、外に出たことが少ないということで、自分の経験を踏まえて学校生活などについても積極的に話すよう心がけました。最初は戸惑った様子でしたが、話をしていくうちに心を開き、笑顔で迎えてくれるようになったときは嬉しかったですね。

この活動を通して、相手に合った支援を見極める力がついたように思います。勉強だけ教えても信頼関係は築けないと思いますし、ただ仲良くするだけでもダメで、時には厳しく指摘することも必要です。「今はどっちが大事なんだろう」と考えて行動することで、その子の可能性を一層伸ばせるのだと思います。

一人の子どもと長期にわたって向き合う非常に貴重な経験だと思いますよ。



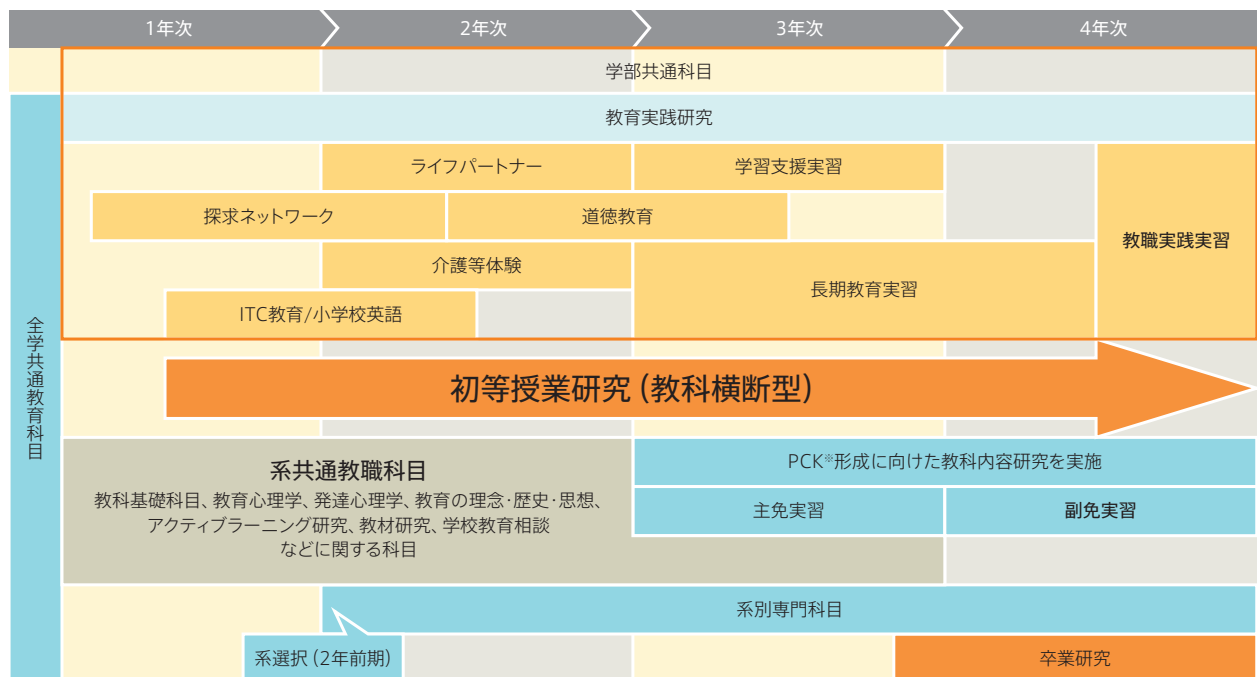
カリキュラム

Faculty of Education

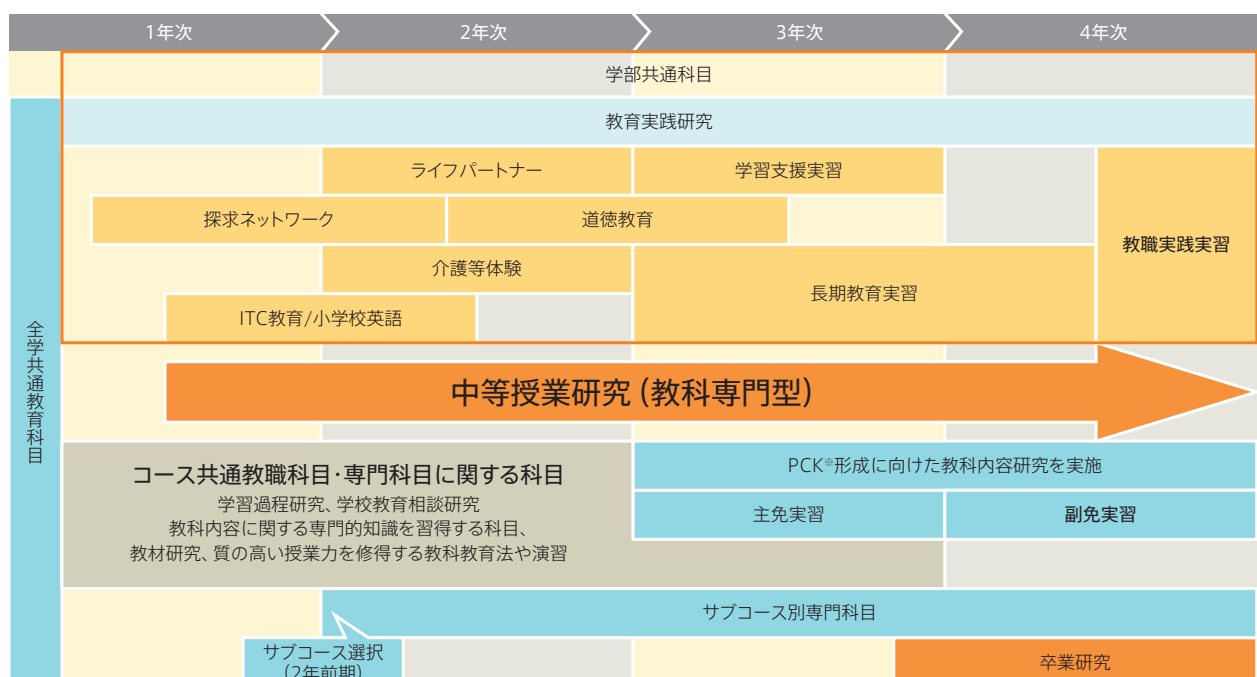
生涯学習まで見据えた長期的な展望のもと、教科横断的な幅広い視野から、生徒指導や学級経営との関連で、課題探求型の学習やアクティブ・ラーニングを展開できる力を養います。

また、複雑化・多様化している課題に学校組織全体がチームとして対応できるようになるために、多様な専門性や経験を有する専門的スタッフと協働できる力を養います。

□初等教育コース



□中等教育コース



※PCK: Pedagogical Contents Knowledge 授業を想定した教科内容に関する知識

教員／卒業生メッセージ

子どもとのコミュニケーションを通して 言葉の力を育む教師へ

松友一雄 准教授 学校教育課程 言語教育講座 国語科教育

言葉は、学びやコミュニケーションの根幹にあるものです。国語の先生には、子どもたちが楽しみながら言葉の力をつけられるように、豊かな学習方法の中からその子にあった指導ができる「言葉の力を育てる専門家」であってほしいと考えています。そのため、理論はもちろん、学校現場での経験をたくさん積めるよう工夫し、多角的な視野に立てるよう学生に促しています。

例えば、私たち教員は、市町村や学校と連携して、学校現場で働く教師の授業力を向上させるプロジェクトに取り組んでおり、小中高等学校に出かける機会が多くあります。そこに学生が同行し、様々な授業や子どもたちの様子、助言を間近で見る機会を設けています。このように、学校現場の経験を重視する指導で、豊かな学びを生み出す教師を育てています。

福井県は教育に対する意識が高い土地柄です。皆さんが今まで培ってきた良いものを、教師になって、ぜひ次の世代につなげていって欲しいと思いますね。それが、福井を元気にすることに繋がっていきますよ。

教員メッセージ



数学の奥深い魅力を 子どもたちに伝えていきたい

西谷 仁さん 学校教育課程 理数教育コース 数学サブコース
2012年卒業 鯖江市立借陰小学校勤務

卒業生メッセージ

教師になって3年目です。大学では数学を専攻し、中学校・高校の数学の先生を目指していたのですが、配属されたのは小学校。最初は2年生の担任を任せられ、戸惑いましたが、ようやく慣れて余裕も出てきたところです。

小学校なので様々な教科を教えますが、やはり算数の授業には力が入ります。どの子にも問題を解く楽しさを味わえるように工夫を凝らしていて、2年生の時に担当した児童から「先生に教えてもらったから、算数が好きになった」と言われたときは、本当にうれしかったです。

学生の頃は、好きな数学に没頭していたことが印象に残っています。数学の研究室で、仲間たちと研究を進めたり、パズルを解いたりすることに多くの時間を使っていました。先生には数学の奥深い魅力を教えていただき、さらに数学に関する知識が広がりました。

現在、小学校のクラブ活動で算数クラブの担当をしていて、大学で学んだ教材やパズルで遊んだことが役立っています。これから算数、数学が好きな子どもをさらに育てていきたいです。



大学院 教育学研究科

Graduate School of Education

現代に求められる学校教育の実践に向けて 教員の力量形成と質の向上を目指す

学校教育専攻

「専門教科における専門知識」「理論に基づいた教科教育の実践力」「探究的研究能力」に加え、「学校での協働的な探究を実現するための社会性と教育開発力」を培うことを専攻の目的とし、リテラシーと人間力を育むためのカリキュラム開発を通じて、子どもたちの真の学力向上を支援できる教員を養成します。領域別専門科目と課題研究の履修および修士論文作成を通じ

て、教師に求められる高度な教科専門性と指導力を身につけます。大学院生と教員で2年間の協働研究を行う「協働実践研究プロジェクト」では、専門の異なる教員とも協力し、学校や地域の諸機関等と連携した調査や実践を通してカリキュラムの開発と授業プランの検討を行うなど、児童・生徒のリテラシー形成と人間力育成の支援を目指します。

教育課程 (計30単位以上)

協働実践研究プロジェクト
知的基盤社会に生きるリテラシーを育てるカリキュラム開発
PISA型
探究と体験型
コミュニティ学習支援
共通科目
教職に関する科目

領域別専門科目
教科教育研究
教科に関する科目
教職に関する科目

課題研究
修士論文



教職開発専攻 (教職大学院)

子どもたちが自主的に学び合い成長できる学校教育の実現には、子ども一人ひとりの学びと協働を支える教員の力量と実践力が不可欠です。そのため、教職開発専攻では、高度な専門的能力と優れた資質を有し、学び続けることのできる教員の養成を目的とし、「学校拠点方式」による重層的な実践と省察を行っています。

「学校拠点方式」は、小・中・高・特別支援学校などの現場を学

びの場とする福井大学独自の教育スタイルです。大学院生は拠点校のサイクルに合わせた長期のインターンシップ実習を行います。また、現職教員である大学院生は勤務校を離れることなく学ぶことができます。学校が抱える課題に教員や大学院生が協働して取り組むことで、教員としての実践力やマネジメント力、専門職としての理念を培います。

教育課程 (計45単位以上)

学校における実習
学校1年間のサイクルに沿って1年間にわたって行います
共通科目
5つの領域について、実践的なカンファレンスや事例研究を中心に学びます

コース別選択科目
カリキュラムと授業
子どもの成長発達支援
コミュニティとしての学校

長期実践
研究報告



附属学園

平成27年4月より附属4校園を統合して附属学園を創設しました。近年の学校は、少子化に伴う学校の統廃合やグローバル化等、校種を超えた課題に直面しています。附属学園は、21世紀の諸課題に立ち向かう研究開発校としての役割を果たすべく、全国に先駆けて附属学園となりました。また、附属学園のもう一つの使命は、教員研修学校の役割を果たすことです。これまでの教育実習校としての使命に加えて、教員の生涯にわたる職能成長を支える学校へと舵を切り、これからますます大学・大学院との一体化を図ることになるでしょう。

附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校

子どもたちとともに活動することで たくさんのことを学び、成長する

教育学部の附属学園には、幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校があります。幼稚園は、幼児教育と子育て支援における地域の中核として、協同的な遊びを中心とした総合的な保育活動を展開。小学校では、自主的で自立的な児童の育成に努め、異なる学年のつながりを大切にした活動や協働という視点から子どもたちの学びについて省察する授業研究を推進しています。中学校では、「自主協同」の校訓のもと、主体的な生徒の育成を目指した「主題－探究－表現」型の探究学習を全教科で展開。特別支援学校には、小学部、中学部、高等部があり、知的障害児が、将来の社会参加のために自分の特性を見つけ、伸ばしていく12年間一貫の総合的教育を行っています。それぞれの学校園で、役割に応じた特徴のあるカリキュラムを実施。子どもたちと創造的な活動をともにすることで、教育実習生は多くのことを学び、人間として大きく成長します。



附属幼稚園



附属小学校



附属中学校



附属特別支援学校のシンボル大壁画

取得可能な教員免許状・資格

教員免許状

コース	サブコース	小学校		特別支援学校		中学校		免許教科	高等学校		幼稚園教諭			
		1種	2種	1種	2種	1種	2種		1種	免許教科	1種	2種		
初等教育	小学校教育	◎		○	○	○*	○*	国語、英語、社会、 数学、理科、 技術、家庭、 音楽、美術、 保健体育、保健	○*	国語、書道、英語、 地理歴史、公民、 数学、理科、 工業、家庭、 音楽、美術、工芸、 保健体育、保健	○	○		
	特別支援教育	◎		◎	○	○*	○*		○*		○	○		
中等教育	人文社会教育	○	○	○	○	◎	○*		○*					
	理数・生活教育	○	○	○	○	◎	○*		○*					
	芸術・スポーツ教育	○	○	○	○	◎	○*	○*						

◎卒業要件となっている免許。 ○必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。 ○*免許教科に係る必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。
※ただし、所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。
※平成28年4月再編に向け、文部科学省と協議のため、今後、変更となる場合があります。

資格

対象学科	資格	取得要件等
学校教育課程	学校図書館司書教諭	教員免許に加え、指定科目10単位修得

医学部

医学科／看護学科／附属病院

□大学院医学系研究科 □連合小児発達学研究所 福井校

生命の尊厳、医の倫理を学び、 社会に貢献する医療人に

Admission Policy

入学者受入の方針

教育理念・目標

1. 人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得する、
2. 高度な医学・看護学知識を修得した、信頼し得る医療人および研究者を育成する、
3. 医学・看護学の進展、ならびに地域医療の向上に寄与する、ことを教育理念とし、これまでに多くの優れた医療人および教育・研究者を福井県はもとより全国に輩出し、広く社会に貢献しています。

求める学生像

医学科では

1. 医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を持ち、
2. 医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、
3. 医学・医療を通じて広く社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持った人を求めます。

そして、

4. 先端的生命科学に強い関心を持ち、医学研究者になることを希望する人や、
5. 医師として地域医療に貢献したいという人も求めています。

看護学科では

1. 人間存在に関心を持ち、感性が豊かであり、
2. 人との関わりを通して、相互に成長することができ、
3. 基礎学力があり、
4. 向上心と探究心があり、自立的に行動できる人を、求めています。

【学部の特色】

患者中心の医療や医学研究が実践できる幅広い知識を持った高度専門職業人を育て、地域において高度で先進的な医療の提供と、医学研究において世界レベルの貢献を目指します。

また、人間尊重を基盤に豊かな人間性と創造性を備え、高度な看護知識と技術を持った人材を育成し、併せて看護を科学的に追求することにより個人及び社会の健康と福祉の増進に貢献します。

Curriculum Policy 教育課程の編成・実施の方針

医学部の教育目標である「人間形成を基盤に、生命尊重を第一義とする医の倫理を体得し、高度な医学・看護学知識を修得した、信頼し得る医療人および研究者の育成」を達成するため、医学科および看護学科で定めた人材像に沿った、医学部の特性等を積極的に活用しつつ、本邦における医学・看護学教育指針に準拠した教育課程を編成・実施します。



Diploma Policy

学位授与の方針

所定の期間在学し、カリキュラムポリシーに沿って設定した授業科目を履修し、履修規程で定められた卒業に必要な単位・時間数を修得し、医師・看護師等の国家試験合格に必要な医学・看護学の知識・技能を有するとともに、医学科および看護学科で定めた卒業時まで修得すべき具体的な能力・技能等を備えた者に学位を授与します。



医学科

Faculty of Medical Sciences

高度な臨床能力・研究能力を身につけた人間性豊かな医師に



□社会に求められる医師としての基盤を形成

急速に発展し続ける医学領域では、学生が身につけなければならない知識量が膨大になり、医師に求められることも多様化しています。社会のニーズに対応できる質の高い医師を育成するために、本学科では文部科学省によるガイドライン「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠した統合カリキュラムを実施しています。

医学準備教育、臨床前医学教育、臨床医学教育を一連のものとする6年一貫教育を実施。また、統合カリキュラムの内容を学生が

効果的に学習できるよう、全教員が参加して講義を行い、1年次における病棟看護体験実習、問題解決能力を身につけるテュートリアル教育、最新の医療・医学を紹介するアドバンスコースなどによって、さまざまな領域を効率よく連携させています。

また3年次には研究室配属を実施し、医学研究の基礎を学びます。医学英語にも重点を置き、生涯にわたって医学を学び、研究を続けるための基礎力を身につけるとともに、視野を広げるための短期海外留学の支援体制も整えています。

□学科のポイント

謙虚な心と 豊かな人間性を育む

医学部は「生命」を学ぶ学部であり、第一に求められるのは人間性です。周囲との協調性や奉仕の精神、幅広い基礎学力と応用能力、地域医療に従事する覚悟が必要です。生命を尊ぶ謙虚な心と豊かな人間性を育み、社会に貢献できる医師を養成します。

臨床までを見据えた 効果的な学習

6年一貫教育により医学準備教育から臨床医学教育まで受講します。全教員が参加して講義を行い、それぞれの専門領域の基本から最新の動向まで効率的に学びます。また、多くの教員の指導を受けることで、目指す医師像を明確にすることができるカリキュラムとなっています。

周囲と連携し 行動する力を養う

少人数グループでのテュートリアル教育により、臨床現場でも常に問題を提起し、探求、解決する能力を身につけます。また、看護学科生との合同講義で医師に不可欠なコミュニケーション能力と社会性を養います。

クリニカル・クラークシップ

医学科では5、6年次に、医療チームの一員として診療に参加する病院実習（クリニカル・クラークシップ）があります。患者さんに接し、医療スタッフの姿を見て、実践的な知識と技術、人間力を身につけます。

患者さんの気持ちを理解し 寄り添える医師になりたい

光成有加さん 医学科 6年次 愛知県立明和高等学校出身

実習は医師としてのスタート地点

患者さんの症状は千差万別です。教科書どおりの典型的な症状ばかりではないため、現場で多くの症例を経験する必要があり、実習ではそのスタート地点に立ったことを実感しています。内科の実習では、重病の患者さんから家族への思いや人生観についてお話を伺う機会があり、思わず涙がこぼれました。患者さんが心に閉じ込めがちな正直な気持ちに触れられたことは貴重な経験です。患者さんの心に寄り添うことも、医師として大切なスキルであることを学びました。

身近で頼られる医師になりたい

「町のお医者さん」のような存在であり、これからさらに必要性が高まる総合診療内科の家庭医に興味があります。学外病院の総合診療部で実習をした際、担当の医師から「私も患者さんから日々さまざまなことを教わっています。患者さんのおかげで人間として成長できています」と言われ、その謙虚な姿勢に感動しました。私も、人間として成長したいという気持ちを持ち続け、患者さんの身近な存在として頼られる医師になりたいと思います。



医学科 カリキュラム

Faculty of Medical Sciences

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
総合教育科目等	総合教育科目	総合教養ゼミナール 倫理の基礎から応用へ 生命倫理学入門など					
	基礎教育科目	医学のための物理学入門 医学のための生物学入門 語学(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)など					
専門教育科目	医学準備教育	医学概論 医学入門 人の行動と心理など	医科学基礎実習				
	医学外国語		医学英語1、2	医学英語3、4	医学英語5 実用医学英語		
	医学基本事項	コミュニケーションとチーム医療 入門テュートリアル		コミュニケーションとチーム医療	医の原則 医療における安全性への 配慮と危機管理 コミュニケーションとチーム医療		
	社会医学		地域医療学		医学・医療と社会1、2 地域医療学 死と法		医学・医療と社会3
	基礎医科学	生命現象の科学	細胞の基本構造と機能 組織・各臓器の構成、機能と位置関係 個体の調節機構と ホメオスタシス 個体の発生 生体物質の代謝 遺伝と遺伝子 生体と微生物 免疫と生体防御 人体解剖学1、2	生体と医動物 生体と放射線・電磁波・超音波 生体と薬物 原因と病態			
	基礎臨床医学1			血液・造血器・リンパ系 循環器系 呼吸器系 消化器系 腎臓内科 泌尿器系 女性生殖機能・乳房 内分泌・栄養・代謝系	神経系 皮膚系 眼・視覚系 運動器(筋骨格)系 耳鼻咽喉・口腔系 精神系		
	基礎臨床医学2				感染症 腫瘍 免疫・アレルギー疾患 物理・化学的因子による疾患 成長と発達 加齢と老化		
	診療の基本				症候・病態からのアプローチ 基本的診療知識 基本的診療技能 画像・放射線を用いた診断と治療		
	臨床研修			地域医療学実習		クリニカル・クラークシップ (臨床実習)	
	その他			アドバンストコースI~IV 研究室配属		実践臨床病態学	

□科目紹介

テュートリアル教育

学生を少人数のグループに分け、自らが問題を提起し、探求、解決する能力を身につける学習。1年次に入門を履修し、3年次から4年次の基礎臨床医学のなかで繰り返し行い、疾患を見つける力、さまざまな状況と知識を合わせて診断する力、治療方法を考える力を養います。

医学英語

最新の知見を医療に還元し、海外での活動を視野に入れた英語が使える医療人の育成を目指します。言語開発センターでの診療演習や最新視聴覚教材での学習、ECLNC(医学英語演習室)での外国人講師の指導により、英語論文の読解力やプレゼンテーション能力を修得します。

コア・カリキュラム

1年次に「医学準備教育」、2・3年次に臨床前医学教育「生命科学の基本的知識・疾患の原因・機序／人体の構造・機能」と医学研究を学ぶ「研究室配属」、3・4年次に「人体の生理的变化・病態・診断／症状から診断する基本的知識・技能・態度」を学ぶ文部科学省のガイドラインに基づいたカリキュラム。

アドバンストコース

医学生が修得すべき基本のコア・カリキュラム(必修科目)に加えて、最新で高度な医学、医療知識を学ぶアドバンストコース(選択科目)を開講しています。生涯にわたって学び続ける姿勢を身につけ、医師として患者さんに幅広い医療を提供できる素養を育みます。

CBT・OSCE

4年次に行われる共用試験。5年次からの臨床実習で必要となる知識、技能、態度が身についているかを評価します。CBTでは、多肢選択型試験で医学知識の理解度を評価し、OSCEでは、実技試験により臨床技能が試されます。合格者はStudent Doctorに認定され、臨床実習に進みます。

クリニカル・クラークシップ

5年次から6年次前期に行う臨床実習です。学生が医療チームの一員として診療に参加し、指導医の指示のもとで患者さんの診療に携わり、臨床現場を経験します。学外実習では、さまざまな医療現場での経験を通して、自らが目指す医師像を明確にします。

医学科 教員／卒業生メッセージ

多様性があり、可能性が広がる大学 ここで経験を積み、自分の道を見つけたい

岩崎博道教授 医学部附属病院 感染制御部

キャンパス内にある附属病院では、高度医療から地域に密着した医療まで、多様な医療に対応しています。大学病院でありながら、軽症から重症までいろいろな症例をみて、経験をして、将来を決めることができる恵まれた環境だと思います。診療科間の垣根が低く、うまく連携が取れていますから、ある診療科に入院した人が、実は違う専門の病気であることが早期に発見できるという例も少なくありません。ここで経験を積んで、地域医療のエキスパートになることもできますし、世界へ飛び出す実力をつけることもできます。研究の道を目指す学生にとっても、全国区で活躍している先生方がたくさんいますし、適切な環境が整っていると思います。

医師には、優先順位を即座に判断できる能力が必要です。臨床の場面では、正確さよりも迅速性が求められる場面も多く、そのためには引き出しをたくさん持っていることが大切です。福井大学は、非常に多様性があり、将来の可能性が広がる大学です。

教員メッセージ



患者さんが笑顔を取り戻せるように 一人ひとりに寄り添った診療を

吉田 藍さん 医学科 2009年卒業
福井大学医学部附属病院 整形外科 脊椎外科勤務

卒業生メッセージ

整形外科は、大掛かりな手術もあり、女性には不向きと思われることもありますが、患者さんには女性も多く、女性ならではの目線や感覚を活かすことができる診療科だと思います。整形外科医を志したのは、大学時代に現在も一緒に仕事をしている恩師と出会ったことがきっかけでした。痛みを苦しむ患者さんの声に耳を傾け、その背景にある生活を見据えた上で、どのような治療方法があるかを検討し、患者さんとともに決定していくプロセスの大切さを学びました。歩けなかった患者さんが自分で歩いて退院していく姿を見るととてもうれしく、やりがいを感じます。大学時代にこのような出会いに巡り合えたことを幸せに思っています。

現在は、周りの頼もしいスタッフに支えてもらいながら、専門医として治療に当たり、大学院生として研究にも取り組んでいます。患者さんが笑顔を取り戻せるよう、一人ひとりに寄り添った診療をしながら、そこから得られた知識や経験を今後の治療に生かしていきたいと考えています。



看護学科

Faculty of Medical Sciences

多様化する社会のニーズに応えることのできる専門的な看護力を



□充実した実習環境で、実践力の高い医療人を育てる

自らの資質向上を目指し学び続けるために必要な基礎的能力と、多様化する社会のニーズに応えるための専門的な看護力と実践力を養成します。

初年次の「看護学入門」では、ワークショップやグループワークを通して、高校までの“覚える”学習から大学での“考える”学習への転換を支援します。学業面や生活面での課題には、学年主任をはじめとする多くの教員がきめ細かく対応し、学生が個別に相談できるよう体制を整えています。臨床教員の指導を受けながら最新の医療を体験できる附属病院での病院実習、在

宅看護や助産師、保健師の業務についても実践的に学べる地域の自治体や病院で実習が受けられ、さらに海外で実習を行うこともできます。これらの充実した教育体制によって、実践能力の高い医療人を育成します。

これらの履修により看護師、保健師、助産師の国家試験受験資格を取得することができます。幅広い職業選択ができるよう、選択科目数を多くし、学生の希望に沿った履修を可能にしています。社会からのニーズが高まっている「がん看護学」や「災害看護学」も、本学ではいち早く導入しています。

□学科のポイント

多彩な教員陣と 多様なカリキュラム

医学科を含む多彩な教員陣が講義や実習を担当し、それぞれが目指す看護職を明確にできる多様なカリキュラム編成となっています。実習機関である附属病院では最新の医療について、経験豊富な現場スタッフから学ぶことができます。

成長し続けるための 基礎的能力の育成

「看護とは？」の視点から、コミュニケーションの取り方や看護の展開方法など基本的な技術を学びます。また、各学年に2名配置される学年主任に加え、アドバイザー教員と先輩が小グループを編成し、学び続けるために必要な基礎的能力を育成します。

活躍できる さまざまなフィールド

病院におけるさまざまな医療職の中心的存在として、また企業や地域においては従業員や住民の健康管理など暮らしを支える担い手として、看護職にはさまざまな役割が求められています。卒業後はさまざまなフィールドでの活躍が期待されています。

病院実習

3年次9月末から4年次7月上旬までの約10カ月間、病院や自治体、医療・介護施設で実習を行います。実際に患者さんを受け持ち、看護師の仕事を間近に見ることで看護ケアに必要なスキルと心を養います。

患者さんと信頼関係が築けるように心がけています

高橋優太朗さん 看護学科 3年次 福井県立丸岡高等学校出身

患者さんの負担が少しでも減るように気持ちに寄り添う看護をしたい

病棟実習では、入浴や食事の手伝いなどのケアを担当します。最初は、どのように患者さんに接すれば良いのか戸惑いましたが、今では、少しは信頼関係が築けるようになったかなと思っています。例えば、身体の向きを変えるときには、患者さんが痛い思いをせず、負担がなるべくかからないように心がけています。

患者さんの話を聞いて、どんなケアが必要なのか看護計画を立てるのですが、そのためには、1、2年次に習得する基本的な看護技術が大切です。患者さんと関わる以外に、報告書を書いたり、カンファレンスを行ったり、毎日忙しく過ごしています。苦しいこともあります。私が行ったケアで、患者さんが喜んでくれて笑顔を見せてくれると、とてもうれしいです。

将来は災害の現場で働きたい

卒業研究では、災害看護の研究をしたいと考えています。将来はDMAT（災害派遣医療チーム）の一員として災害現場の最前線で活躍できる看護師になりたいです。そのためには、高度な知識や技術が求められ、勉強も経験も必要です。福井大学には災害看護を学べる環境が整っているので、積極的にチャレンジしていきたいと思っています。



看護学科 カリキュラム

Faculty of Medical Sciences

区分	1年次	2年次	3年次	4年次	
基礎科目	人間理解	哲学 日本国憲法 心理学など	教育学	哲学Ⅱ	
	情報処理	情報科学	統計学		
	語学	語学(英語・ドイツ語・フランス語・中国語)	英語Ⅲ 英語Ⅳ	英語Ⅴ	英語Ⅵ
	体育	健康・スポーツ科学			
専門基礎科目	生命基礎科学	生命基礎科学(化学、生命科学、物理学、生物学入門) 生命基礎科学実験(化学、物理学)			
	健康科学	健康科学論 形態機能論Ⅰ・Ⅱ・実習 生体反応論Ⅰ・Ⅱ・実習	薬理作用論 疾病論Ⅰ・Ⅱ 健康管理論 成長発達論 人間行動論	心理測定論	
	環境科学	生活科学論 環境科学論	疫学 保健統計論	保健医療福祉論Ⅰ・Ⅱ	
専門科目	基礎看護	看護学入門 看護学概論 日常生活援助論	看護過程論 看護コミュニケーション論など	看護倫理 リスクマネジメント論	看護管理
	健康時の看護		公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護展開論Ⅰ・Ⅱ 公衆衛生看護管理論など	学校保健論 産業保健論 助産論Ⅰ・Ⅱなど
	健康障害時の看護		急性期看護活動論 慢性期看護活動論 リハビリテーション看護活動論 老年看護活動論 母子看護学概論 精神看護学概論 在宅看護活動論など	災害看護論 がん看護論 ターミナル看護論 小児看護活動論 母性看護活動論 精神看護活動論など	
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	実習(公衆衛生看護学、成人看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学、小児看護学、 母性看護学、精神看護学、在宅看護学、看護技術、キャリアアップ)	助産学実習
卒業研究				卒業研究	

□科目紹介

初年次生学習グループ

新入生4~6人で1つのグループを作り、近況を話し合います。部活やアルバイト、人間関係などで楽しかったことや困ったことなどを共有し、一人では学べないことをみんなで学んでいきます。また、担当教員と2年生の先輩が入り、普段は聞けない素朴な疑問に答えます。



看護学入門

高校までの受け身で「覚える」学習から、自ら学ぶ意欲や疑問を持つ「考える」学習への転換を目的に行います。講義やワークショップ、演習、グループワークなどから、大学で何を学ぶのかや具体的な学び方を知り、基本的なマナーを身につけます。看護職になることへの心構えを持ち、目標を持って自ら学習に取り組むことを目指します。



臨地実習

1年次から4年次まで附属病院をはじめとする各病院や地域の施設で臨地実習を行います。看護実践を通して看護理論への理解を深め、チームの一員として連携・協働する能力を養います。また、キャリアアップ実習では海外病院の見学、研修を選択することができます。



TOPICS 「コミュニケーションとチーム医療」

実際の医療現場では、通常、担当医師や看護師、薬剤師などチームで医療に当たります。一人ひとりの患者さんに対し、チームとしてケアすることは、質の高い安全な医療を提供することにつながります。

看護学科では、1年次に医学科3年次生と、2年次では医学科2年次生と合同講義を実施しています。学生時代から学科を超えてともに学習することで、実際の医療現場において行われる「チーム医療」に対する意識を養います。



看護学科 教員／卒業生メッセージ

様々な角度から「看護」を学び
実践できる力を育てる

磯見智恵教授 成人・老年看護学領域

看護学科では体験することを重視した教育を行っています。看護学科の多くの学生が1年次から附属病院で看護アルバイトを経験し、患者さんとふれあう機会を持っています。実習が始まる前に、現場に入ることができるのは貴重な経験だと思います。附属病院では看護師2人がパートナーになって看護をするPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）を導入しており、看護学実習では、学生もチームの一員として、より多くの経験を積むことができるように、病院と大学が協力してサポートします。

そのほか、患者さんや家族の方に、大学に来ていただいて体験をお話ししてもらい授業や、看護師長や先輩ナースに、仕事について語ってもらい授業、学生たちのプレゼンテーションなど、様々な角度から「看護」を学びます。大学院には、専門看護師や看護キャリアアップセンターの教育課程もあり、卒業後もずっと学び続け、成長していける環境が整っています。

教員メッセージ

グループ実習での学びが
チーム医療の現場に活かしている内山絵理さん 看護学科 2004年卒業
無料健康相談所「みんなの保健室」代表

卒業生メッセージ

高校時代、「1日看護体験」で訪問看護実習に参加し、在宅介護に興味を持ちました。入学後は地域医療への思いが強くなり、在学中から「地域の保健室のような場所をつくりたい」と考えていました。授業では1年間、同じメンバーで活動する「グループ実習」が心に残っています。卒業後、県立病院などでチーム医療を経験しましたが、医療スタッフとのコミュニケーションに、実習で身につけたことが役立っています。

現在、看護師たちによる無料の健康相談所「みんなの保健室」を福井市中心部に開設し、その代表をしています。問診や血圧測定、暮らしの悩み相談などを行っており、病院より敷居が低い「かかりつけ相談所」として認知され、地域の皆さんの健康を守ることが目標です。今後は出張健康相談なども増やしていく予定で、小学校区単位の設置を目指しています。



大学院 医学系研究科

Graduate School of Medical Sciences

統合先進医学専攻 (博士課程)

世界レベルで活躍できる 優れた創造性と研究・開発能力を育む

医学科を卒業、または修士課程修了者が対象。「医科学」「先端応用医学」「地域総合医療学」の3コースで、高度な医学知識を修得し、高い水準の医学研究を遂行する研究能力や、先端的で専門的な臨床技術を提供する実践能力を身につけ、高い倫理観と研究マインドを持った臨床医、および地域に貢献できる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い総合診療医、ER救急医、家庭医を養成します。



看護学専攻 (修士課程)

看護学の基盤となる幅広い知識と 技術の修得と実践、研究能力を育む

幅広く高度な看護理論、技術を持ち、看護職のリーダーとなる人材や、指導的役割を担う優れた教育・研究者、および国際社会に貢献できる人材を育成します。看護大学卒業者、および3年以上の経験を持つ看護師・保健師・助産師を対象に、平成26年度からは専門看護師の教育課程を選択することのできる「災害看護学」コース、平成27年度からは「がん看護学」コースを新たに設置しています。



看護キャリアアップセンター

大学院医学系研究科に附属する看護キャリアアップセンターは、変動する社会環境の中で、高度に専門化する医療・看護の社会的ニーズに応え、より質の高い看護ケアを提供するため、看護職のキャリアアップ支援に向けた教育を目指しています。

看護師の生涯学習の支援と看護実践能力の開発を目的とした「人材育成担当」、高度化、専門化する現場に必要な熟練した看護知識・技術の提供を目的とした「認定看護師担当」の2部門体制でそれぞれ教育を行っています。



5大学大学院連合小児発達学研究科 福井校

福井大学では、平成23年度に開設した「子どものこころの発達研究センター」と附属病院の「子どものこころ診療部」を中心に、平成24年度に大阪大学を基幹校とする「連合小児発達学研究科」に参画し、大阪大学大学院「大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究科」福井校を開校しました。「教育」「研究」「診療」を3つの柱として子どものこころの問題に対して専門的に取り組む体制が整っています。



附属病院

UNIVERSITY OF FUKUI HOSPITAL

医学部

最先端の医療を実践し、
地域医療の充実と優れた人材育成への貢献を目指す



附属病院は600床を有し、28の診療科、4つの中央診療施設、12の特殊診療施設からなる県内唯一の特定機能病院です。併設する高エネルギー医学研究センターとともに、一般の医療機関では実施することが難しい専門的な診療や先進医療について、研究・実践しています。

また、基本理念である「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を実現するために、平成22年から病院再整備事業が始まり、平成26年9月に新病棟がオープンしました。病院再整備事業は、基本理念「優れた地域医療人を輩出するハイクオリティメディカルセンター」のもと工事が進められ、平成30年2月頃の完成を目指しています。

病院再整備の基本理念

【病院の理念】最高・最新の医療を安心と信頼の下で

診療

快適・安全な医療空間の提供

プライバシーに配慮した療養環境の構築、患者・家族ニーズに対応したサービスの提供、医療事故・院内感染防止体制の強化を図り、患者さんには今まで以上に快適・安心な入院生活を提供します。

福井ブランドの先進医療の開発・実践

高度画像診断や低侵襲医療の開発・実践、がん・生活習慣病・生活機能病の先進的臨床研究を推進。厚生労働大臣が承認する先進医療の承認拡大を目指します。

研究

優れた地域医療人を輩出するハイクオリティメディカルセンター

充実した医療環境の下で、医療従事者が最先端の機器や技術を駆使しながら、診療、教育、研究を実践し、そこで磨かれた先端の医療技術や研究成果を、地元はもとより広く国内外に発信することを強力に後押しします。

教育

堅固な経営基盤の構築

物流や医療従事者の職場環境を整え、経営基盤を確立し、患者さんによりよい医療を提供します。

揺るぎなき地域診療拠点の構築

病棟は、フロアごとの臓器・疾患機能別センターとし、集学的診療体制による治療効果の向上、急性期医療やがん拠点病院として、機能・連携強化、災害に対する強化を図り、地域医療の中核として診療機能の重責を図ります。

実践重視型教育環境の充実

専門医や学生の研修・実習スペースや電子カルテを活用できる環境などを整備し、教育・研究の充実を図ります。

附属病院

UNIVERSITY OF FUKUI HOSPITAL

地域・在宅医療から先進医療まで様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成

福井メディカルシミュレーションセンター

「福井メディカルシミュレーションセンター」を臨床教育研修センターに併設。最新のシミュレーターを用い、地域・在宅医療から先端医療まで様々な医療ニーズに対応できる医療者を養成することを理念としています。

各種シミュレーターを活用して、大学病院としての高度先進医療を繰り返し学ぶことができ、かつ地域の病院として在宅医療を学ぶことも可能です。多職種が連携してのトレーニングを行うこともできます。



福井メディカルシミュレーションセンター玄関



シミュレーションルームでの実習

地域医療のリーダーを育て積極的な全国発信で人材育成に貢献

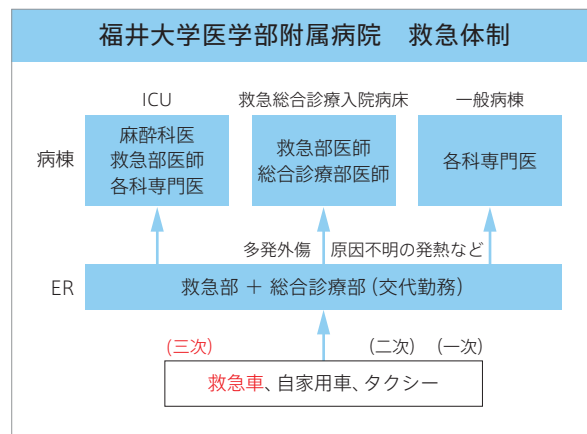
地域医療支える救急総合医の育成

全国に先駆けて救急部と総合診療部を一体化し、全国で稀な一次救急から三次救急まで全ての救急患者を受け入れる北米型（ER型）救急体制を平成12年から導入しています。救急部では初期研修医や看護師が実践的な教育を受けることができ、研修医の場合、子どもから老人まで、精神疾患から外傷まで、軽症から重症まで多種多様な患者さんを診療することで、

総合的な診断力を養えます。また、消防、警察、行政などさまざまな職種の人たちとも連携するため、医療知識や技術だけでなく社会性を培う訓練にもなり、人間としての成熟を促します。これは看護師も同じです。当院で実践的な研修を積んだ医師や看護師が各医療機関で活躍すれば、地域の救急医療体制も自ずと充実することになります。



救急搬送口



入院患者さんへの安全で質の高い看護と看護師教育のために

パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS) による看護体制

附属病院では、本院看護部職員が自ら開発した最新の看護方式「パートナーシップ・ナーシング・システム (PNS)」を平成21年度にスタートしました。副看護部長を中心としたグループを構成し、パートナーとなった看護師同士が対等な立場で相互に補完・協力し合い、質の高い看護を患者さんに提供し

ています。その成果と責任をチームで共有することにより、「気づく力と自発性」「迅速・適切」「看護品質の維持・管理」の追求を、「協働」「強い組織づくり」「やりがい」につなげ、「人にやさしい看護」「パートナーを思いやる心」を育んでいます。



PNSで患者さんの情報を共有

医療職を目指す高校生のための外科手術体験セミナー

高校生が最先端の外科医療を体験し、医療への関心や理解を深めるための試みとして、平成19年から毎年開催しています。最新の内視鏡外科手術シミュレーター操作による胆嚢摘出の模擬手術や超音波凝固切開装置 (超音波メス) による鶏肉の切開など5種類の

プログラムを用意。高校生には外科医師の仕事を経験する機会となり、指導した医療従事者には、初心に帰り、知識や技術を体系的に教えることの大切さを再確認する貴重な場となっています。



参加者集合写真



超音波凝固切開装置 (超音波メス)

工学部

機械・システム工学科／電気電子情報工学科／建築・都市環境工学科／物質・生命化学科／応用物理学科
□大学院工学研究科 □先端科学技術育成センター

安全・安心社会の創造のための モノづくり、コトづくり、ヒトづくり

Admission Policy

入学者受入の方針

教育理念・目標

工学は、人間社会の持続的発展を可能にするための学問体系です。工学部では、基礎的な知識・教養と高度な専門能力に加えて、創造力、評価力、自己学習力およびコミュニケーション能力を併せた総合能力を持つ技術者・研究者を養成します。また、地域社会と国際社会の豊かな発展に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。

求める学生像

1. 基礎学力があり、チャレンジ精神にあふれる人
2. 科学技術を通して国際社会で活躍したい人



Curriculum Policy

教育課程の編成・実施の方針

専門的知識・能力に加え、工学で求められる総合力と資質を有する高度専門技術者を育成するため、以下の方針に沿って教育を行います。

1. 工学の基礎となる数学や自然科学にかかわる知識を身に付けさせる。
2. 工学の各分野における専門的知識・能力を身に付けさせる。
3. 多様な学問分野にかかわる幅広い視野を獲得させる。
4. 創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を併せた総合力を身に付けさせる。
5. 技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解させる。

【学部の特徴】

私たちの暮らしを支える科学技術はすべて工学にもとづいており、工学は人類の豊かな暮らしを創造する学問です。本学部は安全・安心な社会を実現するための学びを深め、「モノづくり、コトづくり、ヒトづくり」を進めます。

最先端の専門知識や技術を幅広く習得し、総合的な実践力と高い倫理観を有した高度専門技術者 (IMAGINEER) を養成。科学技術で世界の人々と協働して夢を描き、地域と世界がともに発展することに貢献できる「GLOBAL IMAGINEER」を目指します。

Diploma Policy

学位授与の方針

工学部では以下のような卒業生を社会に送り出します。

1. 基礎的な知識・教養、および専門的知識・能力を有している。
2. 創造力、自己学習力、問題解決能力、およびコミュニケーション能力を有している。
3. 高度専門技術者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を理解し、幅広い視野をもって社会の発展に貢献できる。



夢を世界でかたちにする技術者 GLOBAL IMAGINEERを目指して

科学技術で世界をリードするには、地域社会からグローバル社会へと地球規模で考えることができる技術者の育成が鍵となります。世界の人々と協働して夢を形にしていくための創造力、自己学習力、問題解決能力、コミュニケーション力を身につけ、歴史や文化が異なる人々の中にあっても、幅広い視野で地域と世界の発展に貢献できる人材を育成します。

平成28年(2016年)、福井大学 工学部は
夢を世界でかたちにする技術者を育てるために

8 学科から 5 学科へ

高度情報化とともにグローバル化が進み、社会システムの変化がめまぐるしく進行する今日、社会が求める「幅広い知識を持った専門技術者」を育成するため、複数の専門分野を1学科に大きくくりすることで、目指す専門分野の知識を修得するとともに、工学の基礎と関連分野を横断的に学べるよう、本学部は従来の8学科から5学科に再編します。

それぞれの学科では、幅広い知識を身に着けることを目的に、1、2年次に工学の基礎や学科共通の科目を中心に学修します。2年次の終了時には所属コースを決定し、3年次からはコースカリキュラムに沿って学び、専門性を深めます。同時に、他のコース科目を履修することが可能で、専門性に横の広がりを持たせることができます。



副専攻は大学院工学研究科の入門として、それぞれの学科に所属しながら学ぶことができます。所属する学科の卒業要件とは別に副専攻修了証書が発行されます。

□初年次から卒業・修了まで

機械・システム
工学科

電気電子情報
工学科

建築・都市環境
工学科

物質・生命
化学科

応用物理
学科

工学部

1年次

専門入門教育

専門への導入科目を学修

2年次

専門基礎共通教育

専門に関する基礎を固め、横断的に習得

3年次

共通教育科目

専門教育

専門性を深めるとともに幅広い分野に対応できる力を身につける

コース選択

4年次

卒業論文

4年間の集大成をまとめあげる

副専攻

(経営・技術革新工学)
(原子力安全工学)

大学院
工学研究科

博士前期課程 (1~2年)

高度専門教育

修士論文の作成を通じ、専門をより深める

博士後期課程 (1~3年)

学術研究

幅広い見識を有し、学術研究を実施する

柔軟で幅広い視野を持った
グローバルイマジンニアへ



工学部

機械・システム工学科

Faculty of Engineering

安全・安心な社会の創造および革新的ものづくりに貢献する



□学科のポイント

未来の暮らしを創造する機械・システム領域は、高度化、知能化、精密化が進み、多種多様な分野の融合で技術革新が続いています。機械工学を中心にエネルギー、材料物性、ロボット、計算機など幅広い分野を横断した専門知識を身につけ、安全・安心な社会を持続的に構築できる人材を育成します。また、原子力を3年次から学ぶことができる「原子力安全工学コース」を新たに設置しました。



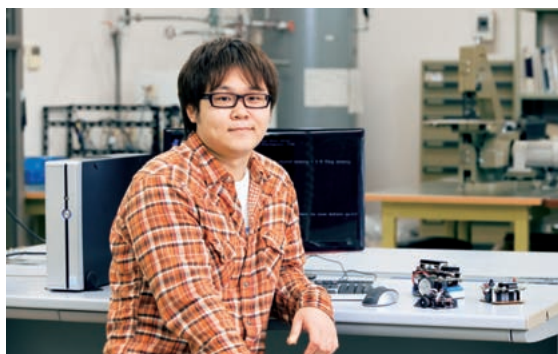
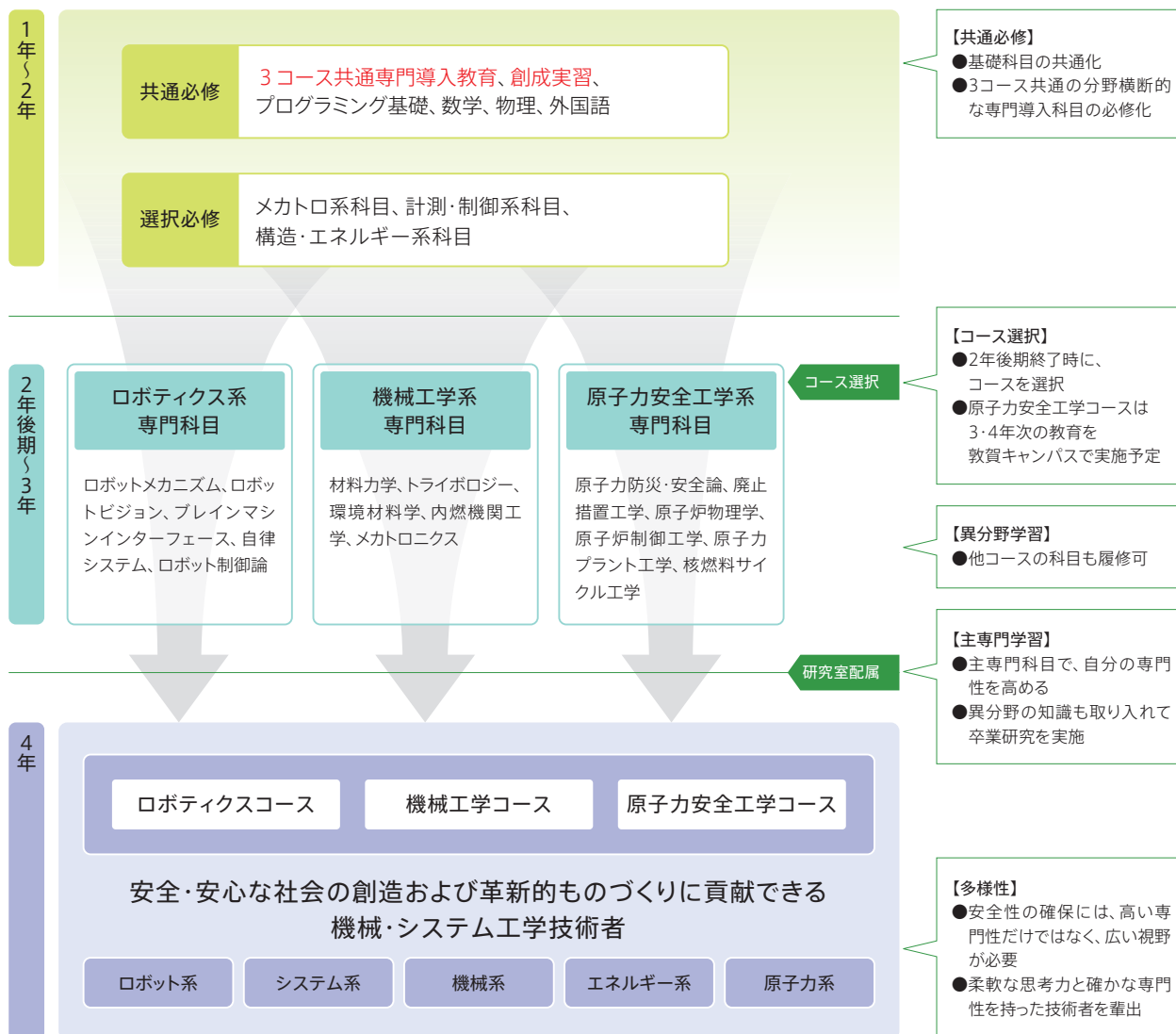
高倉 涼さん 機械工学科 3年次 富山県立魚津高等学校出身

材料調達からスポンサー交渉まで 学生主体のレーシングカーづくり

毎年秋に開催される大会を目指し、チームでフォーミュラカーを製作しています。大会ではマシンの速度、耐久性といった性能面だけでなくコストやデザインも評価され、レース前には学生が審査員にマシンのプレゼンテーションをします。

材料調達から設計・加工、コスト管理、スポンサー交渉までものづくりの全工程を経験し、チームリーダーとして人をまとめる力や管理能力も鍛えられました。材料力学をはじめとする機械工学の知識をマシン製作の場で実践的に使うことで、機械工学をより深く理解できます。

□教育コンセプト



松井将吾さん 知能システム工学科 4年次 京都府立工業高等学校出身

センサーを使って迷路を探索する
自律型ロボットを製作

マイクロコンピュータを搭載し、センサーを使って自律走行するマイクロマウスを製作しています。学んだ製図やC言語の知識を活かし、車体設計からプログラミングまでほとんどの工程を学生主体で行い、ものづくりの楽しさを実感しています。

ものづくりは、うまくいかないことのほうが多いもの。マイクロマウスの製作でも、ベストな一台を作るために車体のバランス、プログラミング、回路などさまざまな要素を検証し、トライ＆エラーを繰り返しながら、課題をクリアできるようになりました。

電気電子情報工学科

Faculty of Engineering

持続可能な低炭素社会や安全・安心な情報社会という
未来社会の基盤を築く



□学科のポイント

電気工学に始まり、歴史とともに分化・発展してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学。電気電子情報工学科は、現代社会を支えるこれらの分野をカバーし、サイバー空間でモノ・ヒト・コトがネットワーク化される「第4次産業革命」をけん引する先駆的な研究者・技術者を養成します。安全・安心な社会を創造するための「電気・通信設備、情報セキュリティ技術」、持続可能な低炭素社会を実現するための「デバイス技術や制御・伝送システム」などを体系的に学ぶことで、分野横断的な技術力と高い専門性を身につけることができます。



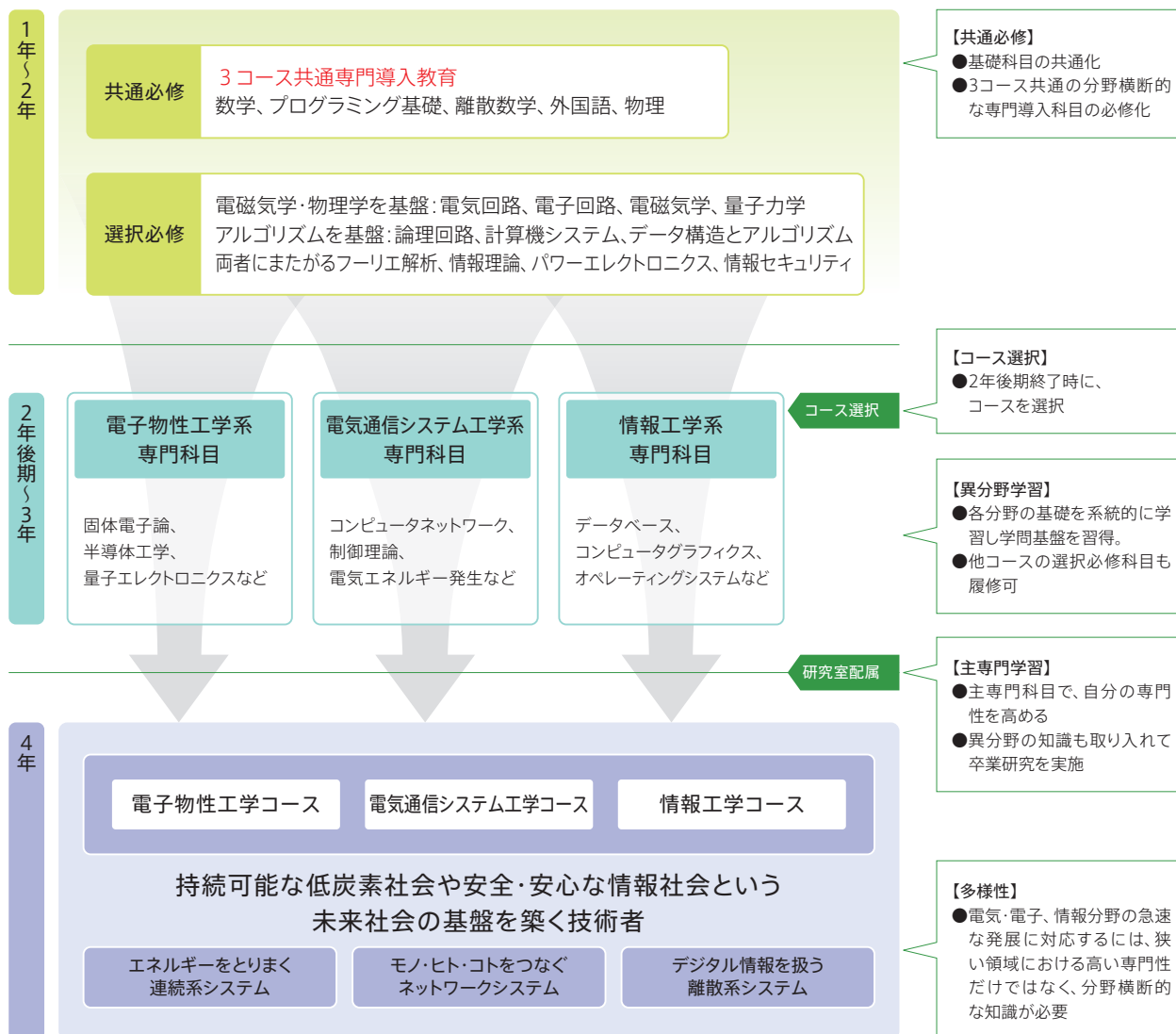
石丸大樹さん 電気・電子工学科 3年次 三重県立松阪高等学校出身

電気・電子の知識を活かし 興味のあることを追求する

1・2年次の授業は、応用へ進むための基礎づくりが中心。実験では座学で学んだ原理を現象として目の当たりにすることで知識を深めていきます。半導体で大きな電力を制御するパワーエレクトロニクスについて深く学びたいため、そのベースとなる電子の勉強にも力を入れています。

大学では、興味を持った学問と技術をとことん追求したいです。福井大学には、そんなやる気に応じてくれる先生と環境があり、フルに活用しないのはもったいないですから。

□教育コンセプト



内野峻平さん 博士前期課程 情報・メディア工学専攻1年 愛知県立旭野高等学校出身

デプスカメラとカラーカメラを使い
なめらかな3次元映像をつくる

私の研究テーマは3次元情報処理です。デプスカメラで獲得した3次元位置情報から平面領域を認識し、そこにカラーカメラの色を貼りつけることにより、第3視点にあるカラーカメラの位置と姿勢情報を推定することを目的としています。研究では実際にサッカー場等で撮影をし、サンプル映像を獲得します。

研究で成果を上げるためには教科書の知識はあくまで基本。先輩からプログラミングを教わったり、論文を読むなど工夫しながら情報を得る大切さも学びました。

建築・都市環境工学科

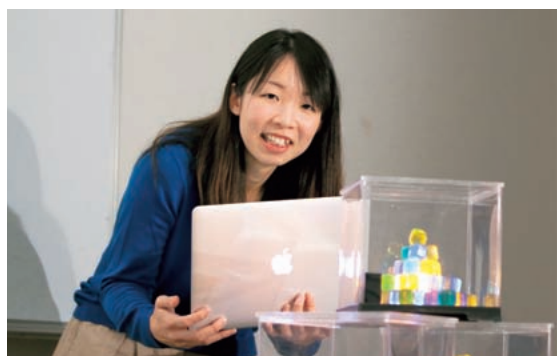
Faculty of Engineering

安全・安心な社会生活環境の実現に貢献する
実践力を身に付ける



□学科のポイント

東日本大震災からの復興、続発する豪雨等の自然災害、社会基盤施設の老朽化、人口構造の変化など社会が直面している課題を踏まえ、地球環境や社会情勢の変化による新たなニーズに柔軟、適切に対応した教育・研究を進めます。「安全・安心なインフラとまちづくり」、「快適に住み続けられる地域社会の創生」を基本に、建築と土木の専門性に根ざして、社会基盤の維持管理と保全、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の住空間の構築を学びます。

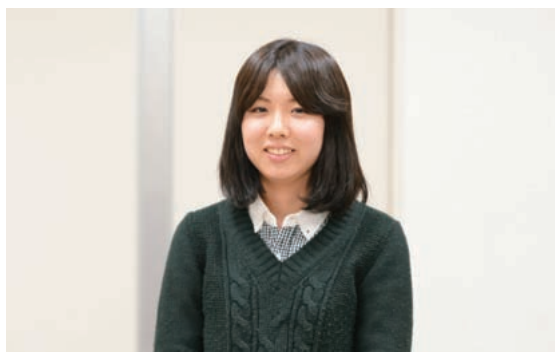
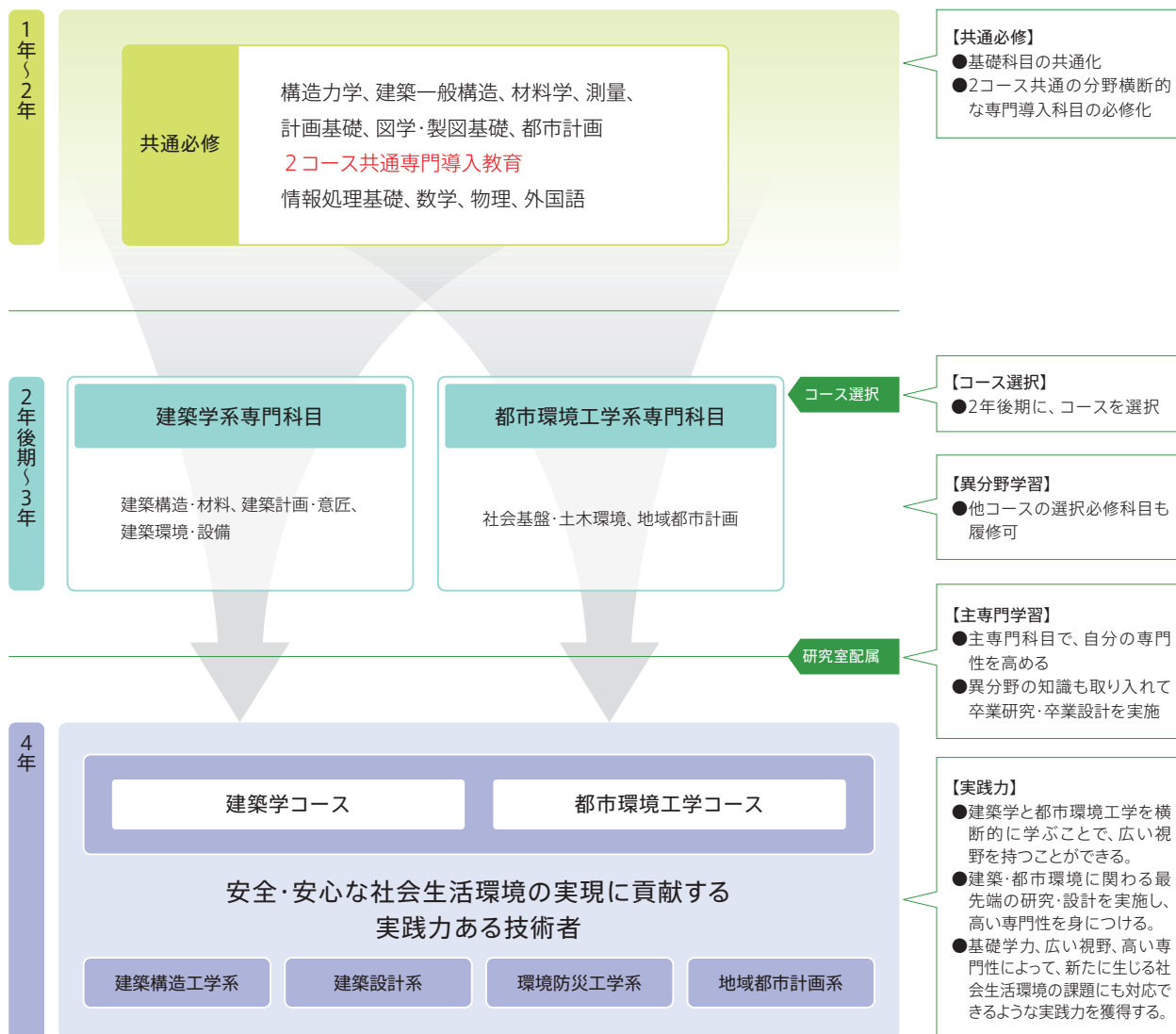


山本果奈さん 博士前期課程 建築建設工学専攻1年 福井県立武生高等学校出身

大学内に秘密基地を出現させる プロジェクションマッピングに挑戦

私が所属した研究室は、人と環境に優しい照明技術をテーマにしています。和ろうそくの揺らぎを再現する照明技術を持ち、毎年「灯りプロジェクト」としてキャンパスイルミネーションを開催しています。キャンパスイルミネーションの際、私は建物に映像を映し出すプロジェクションマッピングを担当し、いつものキャンパスに「福大生の秘密基地」を描きました。メンバーで意見を交わし、ひとつのものをつくることでチームワーク力が身につきましたし、地域や他大学の方の反響の声を聞くことは次の製作への参考にもなりました。

□教育コンセプト



三崎由桂さん 2014年建築建設工学科卒業

場所や地域の特徴に応じた
建築設計に取り組む

設計演習の授業は、既存の図面を模写することから始まり、学年が上がると難易度も上がります。福井市内の順化小学校の増築を想定した製図・設計に、チームで取り組みました。設計のテーマは「つながり」で、学校と地域、児童同士、児童と先生が交流しやすい建物にするため、校舎をつなぐ通路に図書室のような機能を持たせるなど工夫をしました。チームに分かれて同じ課題に取り組むと、それぞれに個性が出て、他チームの発想の斬新さや設計力が刺激になりました。

物質・生命化学科

Faculty of Engineering

安全・安心で持続可能な社会の創造に貢献する
実践的化学系技術者を育てる



□学科のポイント

物質の構造や性質、その反応に関わる法則などを探究する「物質化学」、生命科学の基盤である「生物化学」、物理法則を基礎として材料を取り扱う「材料工学」に関する専門知識を学びます。繊維をはじめとする高性能・高機能材料の創製や関連科学技術の開拓、医学・工学の融合分野へのバイオテクノロジーの展開などを通じて身につけたスキルや知識、高い倫理観を駆使し、人類の健やかな生活と持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる研究者および専門技術者を養成します。

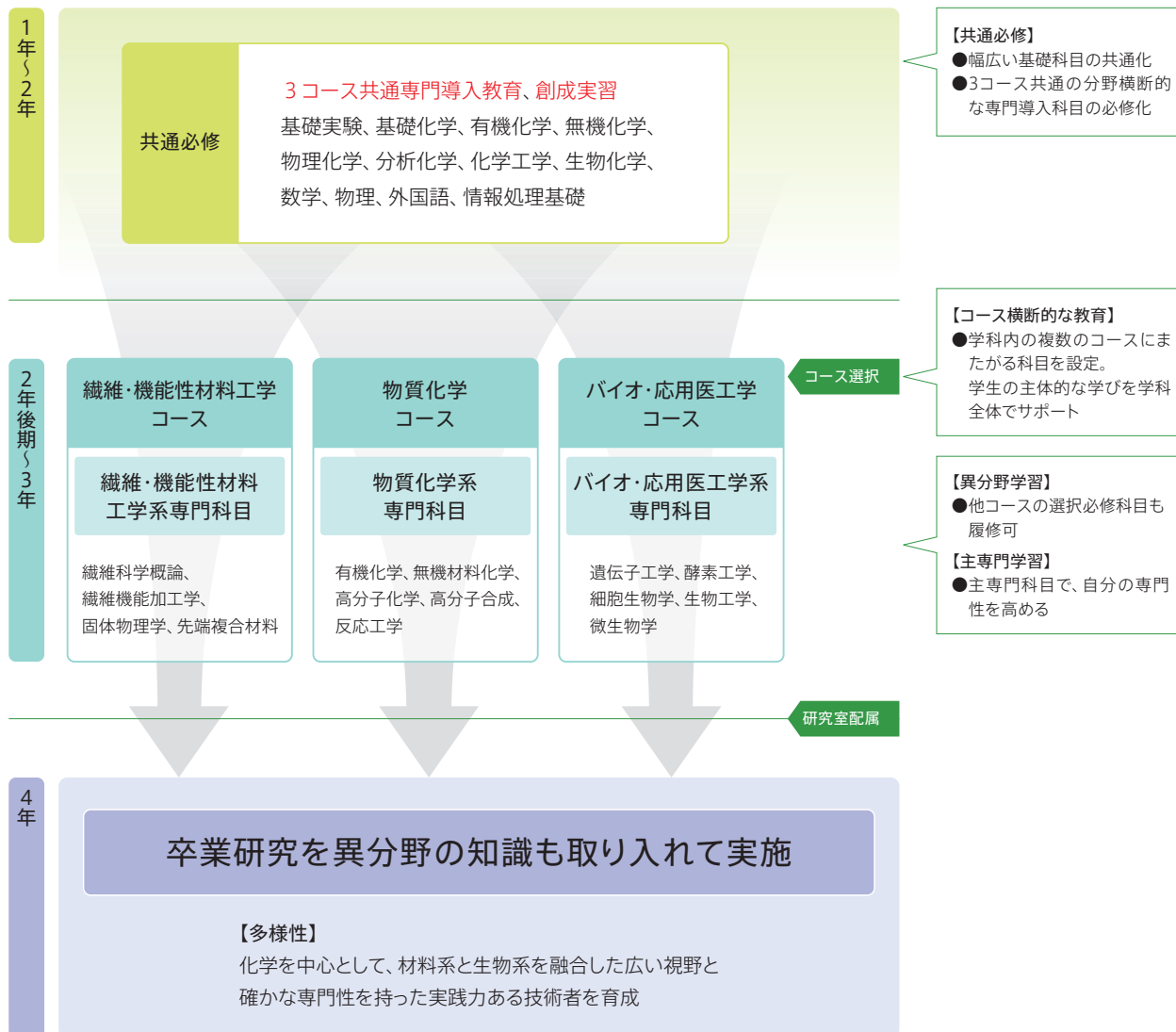


中桐正明さん 博士前期課程 材料開発工学専攻1年 清林館高等学校出身

工業製品への応用を目指し プラスチックの特性を探究

高分子化合物であるアイソタクチックポリスチレンというプラスチックを扱った研究をしています。超薄膜状にしたこの試料を液体の上で熱して、結晶化させ、界面効果を調べています。その界面効果から結晶化特性の違いがわかれば、ナノテクノロジーに貢献できます。私の研究は、成果が得られれば工業の世界で広く活用される可能性があり、やりがいが大きいですね。一つ結果が出たらその上の成果を目指して取り組んでいます。学会で成果発表をする機会があったことも良い刺激になりました。

□教育コンセプト



大坂一主さん 博士前期課程 生物応用化学専攻1年 北陸高等学校出身

人と地球に優しい方法で
高機能ペプチドを合成する

ペプチドとはアミノ酸が連なったもので、人間の体内にも存在します。私はその合成方法を研究しており、アミノ酸同士をつなぐ媒体に紫外線をあてた物質を利用することで、高機能なペプチドを合成することを目指しています。光反応を使った合成は従来の合成法のように金属触媒を使わないため、人と自然環境に優しいのが特徴です。1～3年次の授業における実験を基礎に、実技が上達しました。先生から提示された課題に対し、試行錯誤をしながら自分なりの答えを導き出さなくてはならず、問題解決能力も身につきました。

応用物理学科

Faculty of Engineering

物理の世界を探求し、次世代の技術発展へとつなげる



□学科のポイント

近年の技術革新の進展により、科学を基本原理に立ち返って理解し、応用できる能力がますます重要になっています。応用物理学科では、物理学とともに、数学や化学、計算科学を中心とした理工学を総合的に学習し、その基礎を固めた上で、実践科目や卒業研究において理工学の応用・先端領域や物理学の最新理論を学びます。こうして物理学を身につけた技術者の強みである、物事を根本から考える力、数理的思考力、物理的思考方法に基づく判断力が養われます。本学科ではこのような教育を通して、新しいものづくりに挑戦できる人材、安全・安心社会の構築に必要とされる人材、ものづくりのわかる理科教員を養成します。

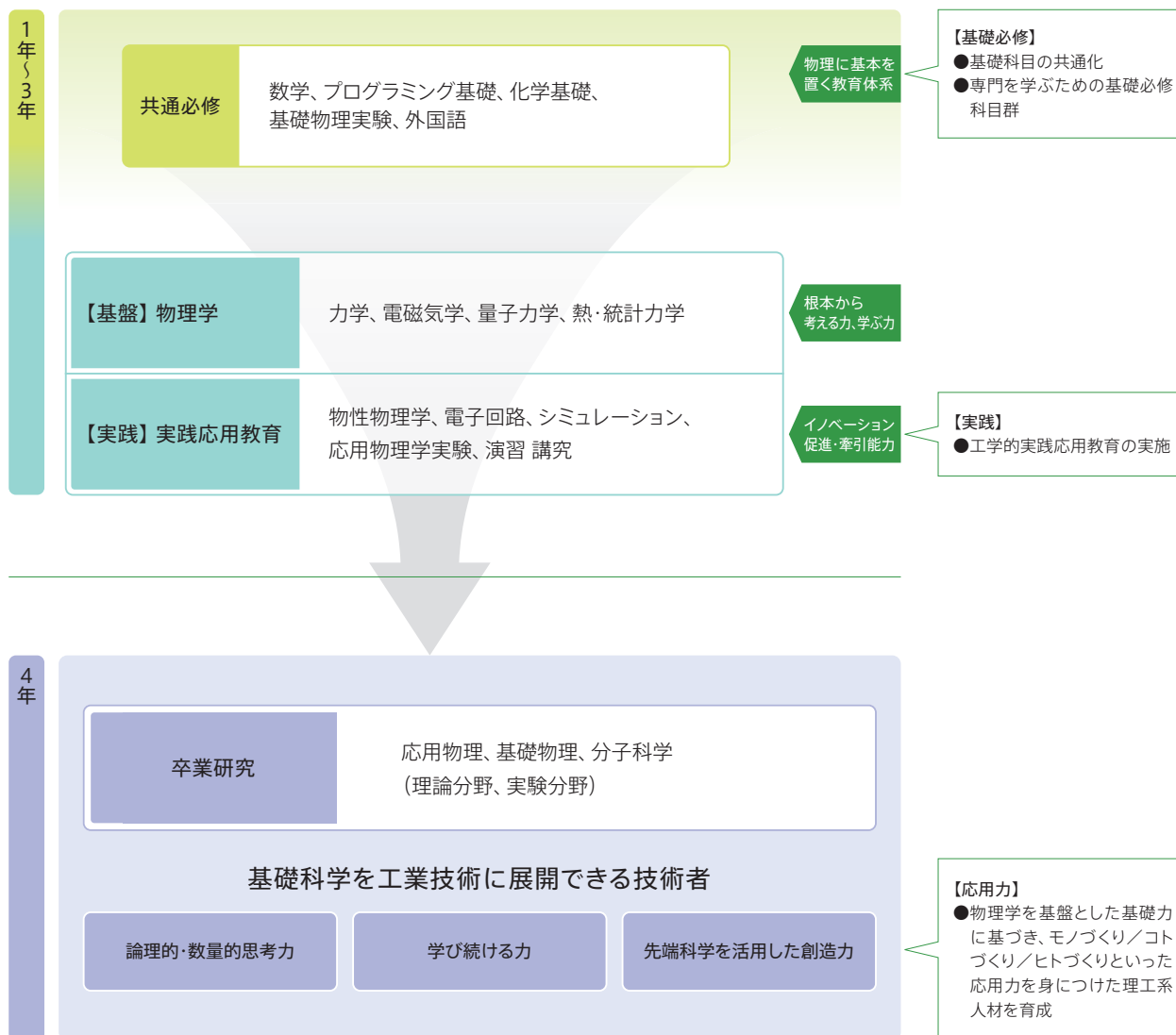


佐藤直哉さん 物理学科 4年次 千葉県立佐原高等学校出身

興味のある実験やものづくりで 物理の楽しさを学外へも発信

理工学部の学生たちが集まり、実験やものづくりを通して興味のあることを追求する「物理博物館」の活動を行っています。私はコッククロフト・ウォルトン回路を電源とし、電場を利用してイオンクラフトを浮かす実験をしました。やりたいことを自由に追求することで、難解な物理を楽しく学べます。活動は、公開講座などのイベントで学外へも発信しています。物理は難しいイメージがありますが、パチッと光る電流など物理現象を体験してもらうことで、一般の人にも身近に感じてもらえます。

□教育コンセプト



島田真生子さん 物理工学科3年次 富山県立砺波高等学校出身

日常生活の中にある“なぜ”を数式で解き明かすおもしろさ

高校時代、身の回りの現象が数式を介して表される物理学にワクワクしました。日光浴をすると、ヒトの体はどのように温くなるのかなど、日常生活の“なぜ”を物理学で解く、おもしろさ。私にとって、物理とは「身近な科学」です。研究室は「放射線安全工学」を選びました。放射線は多くの人が、危険なものだと思っていますが、私たちの体からも発しており、とって身近です。研究室では、身の回りの放射線量を測定し、放射線の相互作用に関する実験をしています。地道な作業ですが、正しく放射線の知識や性質を理解することは、私たちの生活を深く理解することになり、そこから、新たな科学の可能性を探究することができます。

工学部 教員／卒業生メッセージ

Faculty of Engineering

社会の課題を工学の力で解決する

橋 拓至 准教授 情報・メディア工学専攻

スマートフォンや動画配信が普及したことによって、インターネットの使われ方が変わり始め、新しい通信ネットワーク技術が必要になりつつあります。そこで、全く新しい発想によってこれまでにない通信技術を生み出し、新世代の通信ネットワークを構築するための研究に取り組んでいます。世界中で使われる技術を生み出せるように、研究室の学生とともに研究に励んでいます。

また、地域の問題解決に情報通信技術を利用したいと考え、現在は、すれ違い通信を利用した街の活性化に取り組んでいます。街歩きが楽しくなる携帯端末用のゲームアプリを開発し、街中で実験をすることを予定しています。学生のユニークなアイデアを通信技術によってどのように実現できるかを、日々議論しています。

工学部では、工学の基礎をしっかり学んだあと、専門的な研究に進みます。先生方は非常に丁寧に指導していますし、各研究室には伸び伸びとした雰囲気があります。また、学生が興味のある分野の研究に取り組める環境が整っています。工学分野の魅力は、新しい技術を考えて、それを実現するための研究に取り組むこと。どの分野に進んでも、皆さんの可能性は無限に広がっています。

教員メッセージ



ロボット製作から始まった夢

藤田智司さん 工学部 2011年卒業

パナソニック株式会社 オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社勤務

パナソニックの社内カンパニーであるオートモーティブ & インダストリアルシステムズ社に勤務しています。私は自動販売機のお金を識別するユニットを設計、開発する業務に携わっています。回路設計担当者として工場の生産設備を作る部署や、市場不具合を解析する部署、その他いろいろな部署と連携し、新しい製品を開発していきます。福井大学の工学部を選んだ理由は、「ルービックキューブを解くロボットを作りたい」でした。大学でロボットを作るサークルに入り、つくばのロボット大会に出場しながら知識を蓄え、金属の切削加工の技術などを磨きました。授業で習う電気、情報、力学の基礎知識と、サークル活動の中でロボットを作った経験は仕事でも役立っています。現在も連休などを利用して、コツコツとロボット作りしており、学生時代からの夢がもうすぐ現実になりそうです。忙しい毎日ですが、趣味、仕事ともに生涯技術者の意気込みで、知識を蓄えていきたいですね。

卒業生メッセージ



工学部 取得可能な資格

対象学科	諸資格	取得要件等	
学科共通	国家公務員総合、一般	受験により取得可能	
	地方公務員上級		
	消防設備士甲種		
	技術士	一部の学科・コースでは一次試験が免除	
	技術士補	一部の学科・コースでは卒業と同時に登録可	
	公害防止主任管理者 公害防止管理者	受験資格の取得に実務経験要	
	第一種・第二種 作業環境測定士		
	労働安全・労働衛生コンサルタント		
	第一種・第二種 衛生管理者		
	廃棄物処理施設技術管理者		
	建築施工管理技士 管工事施工管理技士 造園施工管理技士 電気施工管理技士 土木施工管理士		
	一級・二級 建築機械施工管理技士		
	FE (Fundamentals of Engineering)		受験により取得可能
	PE (Professional Engineer)		受験資格の取得に実務経験要
機械・システム工学科	エネルギー管理士(熱管理士、電気管理士)		受験資格の取得に実務経験要
	第一種・第二種 ボイラー・タービン主任技術者		
	特級・一級・二級 ボイラー技士		
	第一種冷凍空調技士、第一種冷凍機械責任者		
	一級・二級・三級 自動車整備士		
	一級・二級 建築機械施工技士		
	自動車整備管理者		
	建築設備士		
	工業標準化品質管理推進責任者		
	基本情報技術者	受験により取得可能	
	応用情報技術者	受験により取得可能	
	放射線取扱主任者(第1種・第2種)	受験により取得可能	
	高等学校教諭1種免許(工業)	所定の授業科目を修得すれば、資格を得ることが可能。	
	電気電子情報工学科	電気主任技術者	所定の授業の単位を修得し、実務経験を積むことで資格を得ることが可能
第一級・第二級陸上無線技術士		所定の授業の単位を修得すれば、無線従事者国家試験科目「無線工学の基礎」が免除	
電気通信主任技術者		所定の授業の単位を修得すれば、電気通信主任技術者国家試験科目「電気通信システム」が免除	
第一級陸上特殊無線技士 第二級海上特殊無線技士 第三級海上特殊無線技士		所定の授業の単位を修得すれば、資格を得ることが可能	
基本情報技術者		受験により取得可能	
応用情報技術者		受験により取得可能	
情報セキュリティスペシャリスト 情報検定 情報活用試験1級 情報検定 情報システム試験		所定の授業科目を修得すれば、資格を得ることが可能。	
高等学校教諭1種免許(工業)		所定の授業の単位を修得すれば、資格を得ることが可能	
建築・都市環境工学科	一級建築士	〈建築学コース〉2年の実務経験により受験資格 〈都市環境工学コース〉所定の単位を取得することにより、2年の実務経験を経て受験資格	
	二級建築士、木造建築士	〈建築学コース〉卒業と同時に受験資格 〈都市環境工学コース〉所定の単位を取得することにより、卒業と同時に受験資格	
	測量士	〈都市環境工学コース〉正味1年間の測量実務経験により資格取得	
	測量士補	〈都市環境工学コース〉申請により資格取得	
	インテリアプランナー ファシリティマネージャー	受験により取得可能	
	高等学校教諭1種免許(工業)	所定の授業科目を修得すれば、資格を得ることが可能。	
	物質・生命化学科	危険物取扱者(甲種)	受験資格
高等学校教諭1種免許(理科)		所定の授業科目を修得すれば、資格を得ることが可能	
応用物理学科	第1種、第2種 放射線取扱主任者	受験により取得可能	
	高圧ガス製造保安責任者	受験により取得可能	
	消防整備士乙種 高等学校教諭1種免許(理科)	受験により取得可能 所定の授業科目を修得すれば、資格を得ることが可能	

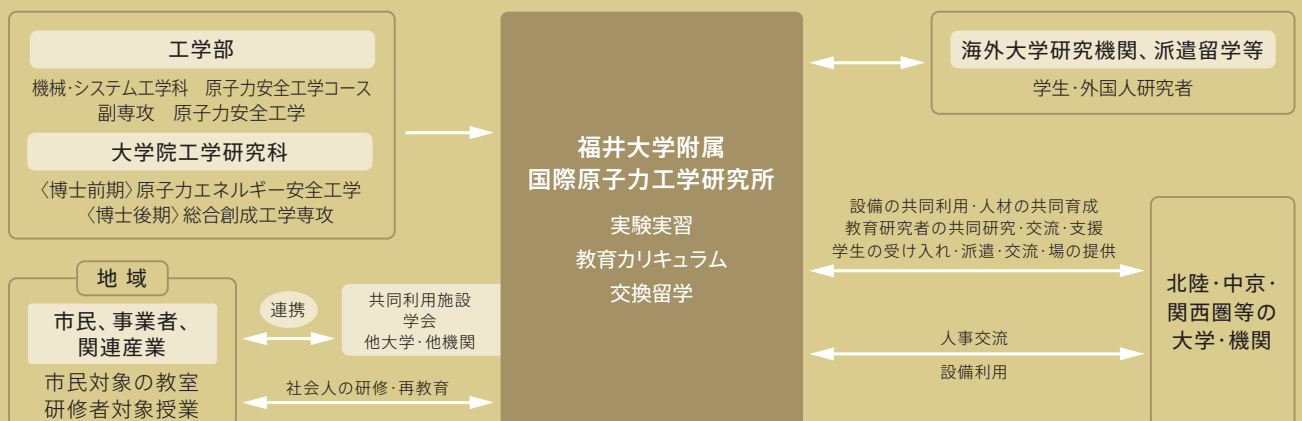
※詳しくは工学部ホームページでご確認ください。

附属国際原子力工学研究所

敦賀キャンパス



教育・研究環境



世界トップレベルの 原子力研究開発と人材育成

【研究】

- 福井県嶺南地域の研究機関、民間企業等との共同・協力による、実炉を対象とした原子力の基礎・基盤研究
- フランス、アメリカをはじめとする海外の研究機関との活発な学術交流、国際的な原子力安全基盤研究
- 原子力の安全性向上、防災危機管理の向上に役立つ研究

【人材育成】

- 原子力に関する学部基礎教育
(工学部 機械・システム工学科 原子力安全工学コース)
(工学部 副専攻 原子力安全工学)
- 大学院における原子力安全高等教育・研究
(工学研究科 原子力・エネルギー安全工学専攻)
- 国内外からの研究者・研究員の受け入れ、県内の原子力施設を活用した質の高い国際的人材育成

【連携・拠点化】

- 北陸・中京・関西圏の大学、研究機関との連携
- 原子力施設を核とした研究拠点の形成促進
- 若狭湾エネルギー研究センターや各種ネットワークとの連携
- 地域に開かれた研究所として、講演会、セミナー等を通じた地域貢献



原子炉物理学部門

原子力プラントの核特性研究を実施する。原子炉内での核分裂分布を理解するために、中性子に対する核データ、輸送方程式の解法、炉物理実験、さらに計算法の検証 (V&V)、不確かさ評価 (UQ) 等の研究を行う。安全性に係る炉物理研究により、安全性をより向上させた原子力プラントの構築に寄与する。

原子炉熱水力部門

原子力プラントの熱水力特性を研究する。原子炉内部及び熱輸送系やタービン系を含むプラントの特性を理解するため、機器の3次元モデルによる詳細検討、数値解法の検証 (V&V)、予測精度の向上に関する研究等を行う。これらの研究を次世代原子炉の設計や原子炉の安全性評価、事故対応の構築等に資する。

原子炉燃材料部門

核燃料サイクルで用いられる燃料および材料の材料科学研究や放射性廃棄物の処分処理に関する研究を実施する。様々な原子力システムの燃料、材料および放射性廃棄物の諸特性、それらの機構論的な議論を通して、通常時や事故時の挙動の予測手法の開発を目指す。そのような研究を通じて、より安全で経済的な核燃料サイクルの構築に寄与する。

原子炉構造システム・廃止措置部門

原子力プラントの安全性向上・環境負荷低減を進展させるため、「ふげん」等の廃止措置に関する研究やそこで得られる知見等の体系化、地震や津波による構造システムへの影響解析等、システム設計に生かす研究を行う。

廃止措置

耐震・耐津波

廃棄物処理・処分

システム設計

原子力防災・危機管理部門

原子力の防災・危機管理を進展させ、新たな防災・危機管理技術を開発するため、事故の防止・緩和対策や、災害に強い原子力システムの開発、事故対応策の立案、防災対策の最適化、適切かつ迅速な放射線防護対策、被曝管理の適正化に関する研究を行う。

シビアアクシデント評価

放射線計測・防護

危機管理

基準・規則国際化

国際交流・人材育成推進部門

国際的な共同研究を推進すると共に、原子力新興国に対する人材育成・交流を通じて、世界的な原子力の安全性向上に寄与する。



Campus Calendar

4月

入学式
 新入生歓迎行事
 新入生オリエンテーション

定期健康診断
 (文京キャンパス)
 前期授業開始

新入生合宿研修
 (教育学部の一部、工学部)
 留学生オリエンテーション



5月

大学祭(文京キャンパス) 定期健康診断(松岡キャンパス)
 新入生合宿研修(医学部) 御遺骨返還式(医学部)



6月

小学校、中学校教育実習



7月

北陸地区国立大学体育大会
 西日本医科学生総合体育大会
 前期試験

8月

夏季休業 インターンシップ
 オープンキャンパス 小学校、中学校教育実習(~9月)



9月

サークルリーダーシップ
 トレーニング



開学記念日
 きてみてフェア 2015
 後期授業開始

医学部暁祭(松岡キャンパス)
 北陸三県大学学生交歓芸術祭
 合同慰霊祭(医学部)

10月

留学生オリエンテーション
 就職ガイダンス
 キャンパスイルミネーション(文京キャンパス、松岡キャンパス)



11月

冬季休業

12月



1月

後期試験
 春季休業

医師国家試験
 看護師・保健師・助産師国家試験

2月



学内合同企業説明会
 学位記授与式

3月

Bunkyo Campus

文京キャンパス

教育学部／工学部／国際地域学部

福井市中心部に位置します。近くには県立美術館や市立図書館があり県内有数の文教地区です。



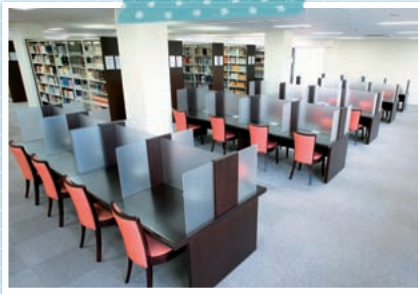
② 総合研究棟V (教育学系1号館)

出っ張りの部分の講義室やホールは、「探求ネットワーク」や「ライフパートナー」の活動場所としても利用。



⑭ 保健管理センター

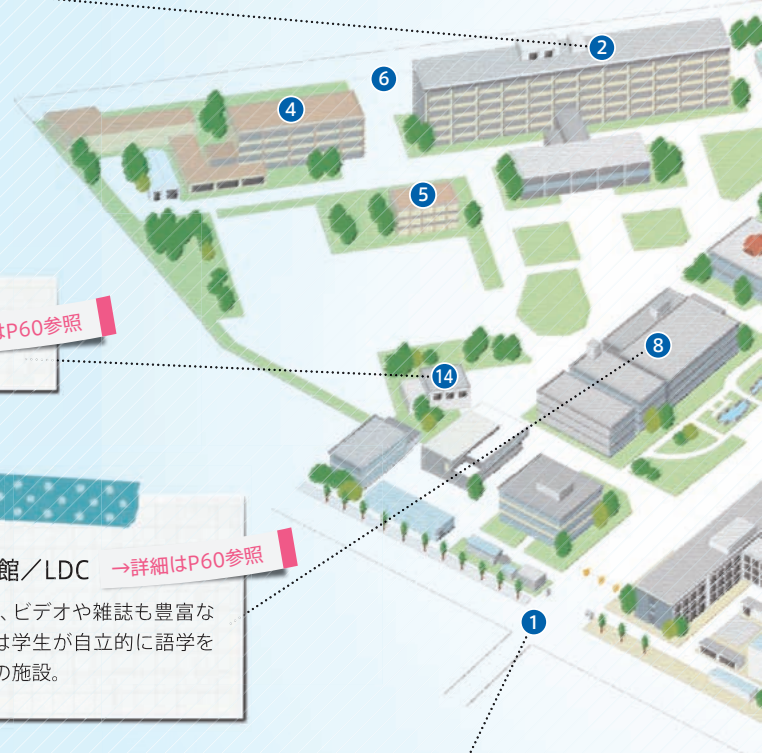
→詳細はP60参照



⑧ 総合図書館／LDC

→詳細はP60参照

専門書のほか、ビデオや雑誌も豊富な図書館。LDCは学生が自立的に語学を学習するための施設。



- ① 正門
- ② 総合研究棟V (教育学系1号館)
- ③ 共用講義棟
- ④ 総合研究棟VI (教育学系3号館)
- ⑤ 教育実践総合センター
- ⑥ 北門
- ⑦ 通用門
- ⑧ 総合図書館／LDC
- ⑨ 大学会館／就職支援室／語学センター／グローバル・ハブ
- ⑩ 学生食堂／売店／書店
- ⑪ 掲示板
- ⑫ 学生支援センター
- ⑬ 課外活動共用棟
- ⑭ 保健管理センター

- ⑮ 総合研究棟III (工学系1号館)
- ⑯ 工学部売店
- ⑰ 総合研究棟IV-1 (工学系2号館)
- ⑱ 総合研究棟IV-2 (工学系実験棟)
- ⑲ 総合研究棟VII (工学系3号館)
- ⑳ 総合研究棟VIII (工学系4号館)
- ㉑ 総合研究棟I
- ㉒ 総合研究棟II (遠赤外領域開発研究センター)
- ㉓ アドミッションセンター／留学生センター／入試課
- ㉔ 産学官連携本部
- ㉕ 東門
- ㉖ 超低温物性実験施設
- ㉗ 先端科学技術育成センター
- ㉘ 第1体育館／プール
- ㉙ 第2体育館



① 正門

大通りを挟んで両側に様々な施設が並んでいます。緑豊かなキャンパスです。



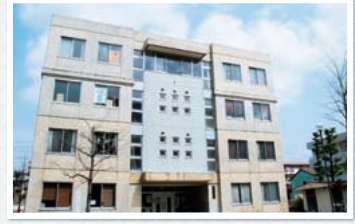
11 掲示板

授業や課外活動についての大切な連絡が掲示されます。見落とさないように1日1回は確認。



12 学生支援センター →詳細はP60参照

いろいろな届出や手続きを行う場所。学生総合相談室があります。



13 課外活動共用棟

部・サークルの活動拠点。学生たちの自由で楽しい活動がここから生まれます。



21 総合研究棟I

文京キャンパスのシンボリックな建物。文理融合による、学部を超えた教育研究の場です。

10 学生食堂 →詳細はP61参照

毎日たくさんの学生で賑わう食堂。一部は自習スペースとして、夜10時まで延長して利用することが可能。



15 総合研究棟Ⅲ(工学系1号館)

工学部がメインに使う講義室と研究室。広い敷地に1号棟から3号棟まであります。



9 学生会館

飲食スペースも有り、講義の空き時間の活用に便利。就職支援室、国際課、語学センターがあります。



⑧ 総合図書館

居心地の良い空間で、新しい学びのスタイルを提案

主に文京キャンパスの学生が利用する総合図書館は、社会や自然科学、工学分野を中心に、人文系から理工系まで幅広い分野の図書を52万冊所蔵しています。グループで学習するためのスペースや講習会が行える研修室、語学学習用スペースや飲食できるスペースなど設備も充実しています。



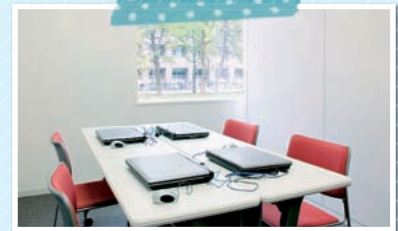
ラウンジ

庭園を眺めながらつづける飲食スペース。新聞、雑誌、自動販売機があり、勉強の合間のひと息つきたい時に便利。



閲覧室・書庫

52万冊の蔵書の他にも、過去の新聞や雑誌のバックナンバー、視聴覚資料などが揃う。県内大学や全国図書館からの取り寄せもできます。



グループ学習室

少人数で話し合いながらの学習に適しています。貸出用PCを使っでの学習も可能です。



Learning Advisor

ラーニング・アドバイザー

大学院生が図書館資料の探し方や勉強の仕方、学生生活の疑問、就職活動の悩みなどについてアドバイスをしています。

学生同士！気軽に相談してください。

「高校で習った微分積分がわからない」「研究室配属が近づいたけど、自分に合っているのはどこだろう？」など、どんな質問にも答えます。気軽に相談してください。学生同士だから、相談しやすいと思います。

学生生活サポート

⑫ 学生支援センター

学生生活の悩みごとをサポートします

履修の相談や単位・成績の照合、各種証明書の発行、授業料免除や奨学金の相談を受け付けています。



頼りになる学生支援体制

全学での連携体制

学部、学生支援センター、保健管理センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面の悩みやさまざまな相談に対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

● 学生総合相談室

あらゆる悩みごと、相談ごとに応えます

学業のこと、将来のこと、人間関係の悩みなど、さまざまな相談に、常駐しているスタッフが対応します。「直接行くのはどうも…」という方には、とりあえずメールを送るという方法もあるので安心です。



オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

⑭ 保健管理センター

こことからだの悩みをサポートします

健康相談やけがの応急処置、健康診断やカウンセリングなど、身体と心の健康を支援します。静養室、検査室、カウンセリング室があり、リラクゼーション、ヒーリング設備も揃っています。



リラックスできる環境でカウンセラーが悩みごとを聞きます

助言教員制度

キャンパスライフ全般の学生のさまざまな悩みを、教員が相談相手となり指導し、助言します。

10 Communication Area

交流スペース



学生食堂

味菜 Ajisai

- 営業時間/月～金曜 8:10～19:30
土 曜 11:00～13:30
- 定休日/日曜・祝日

忙しい学生の味方!
朝も、夜も満足度100%



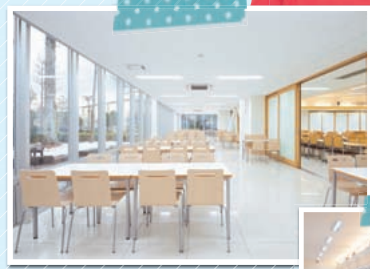
レシートで
食べたメニューの
栄養バランスを
確認できます!

おすすめ! 学食メニュー

好きなメニューを組み合わせ
て栄養バランスのとれた定食に
510円

- ローストチキンハーフ 257円
- オクラ巣ごもり玉子 82円
- シンプルサラダ 41円
- 味噌汁 30円
- ライスM 100円

栄養バランス	
赤	4.2点
緑	0.2点
黄	5.9点
824kcal	



座席数660席の食堂は、休憩時のコミュニケーションスペースとしても学生で賑わっています。
夕食時にはグラムバーが登場!



人気の単品メニュー!

栄養バランス	
赤	1.0点
緑	0.0点
黄	4.3点
423kcal	

大学生協の人気メニュー
ササミチーズカツ
216円



栄養バランス	
赤	0.0点
緑	0.2点
黄	4.9点
405kcal	

かき揚げうどん
259円



売店

Shop Manten

- 営業時間/月～金曜 8:15～19:30
土 曜 11:00～14:30
- 定休日/日曜・祝日



営業時間が長くて便利。居心地のよい
空間でみんなの憩いの場です。



ファイル(75円)
ボールペン(140円)
シャープペン(86円)



ストラップ(540円)



コインケース(860円)



土産菓子「五月ヶ瀬」(1,080円)

書店

ブックショップ 明日輪

Book Shop Asuwa



教科書から雑誌、小説、専門書まで取り揃えています。

- 営業時間/月～金曜 9:30～17:30
- 定休日/土曜・日曜・祝日

工学部売店

Satellite Shop Comet



工学部1号館で弁当、スナック類を販売しています。

- 営業時間/月～金曜 10:00～19:00
試験期間は最大22:00まで
- 定休日/土曜・日曜・祝日・休講期間

Club & Circle

部・サークル紹介



体育系

FSDC (福大ストリートダンスクルー)
合気道部
アメリカンフットボール部
エクストリームサークル
カヌー部
弓道部
車椅子バスケットボールサークル
剣道部
航空部
硬式卓球部
硬式庭球部
硬式野球部
サッカー部
さる部
シーズンスポーツクラブ

柔道部
準硬式野球部
少林寺拳法同好会
女子ソフトボール部
女子バスケットボール部
水泳部
ソフトテニス部
男子ソフトボール部
男子バスケットボール部
男女バレーボール部
テニス愛好会
テニス同好会
トータルフットボールズ
バスケットボール同好会
バドミントン部

ハンドボール部
フォーミュラカー製作プロジェクト (FRC)
福井大学スキー部
福井大学バレーボール同好会
ポーリシカ・ポーレ
よっしゃこい
陸上競技部
ワンダーフォーゲル部
映画部
軟式テニスサークル
FC Soleil
福井大学空手道部
ジャグリング同好会acRue
ラグビー部

文化系

BBS (Big Brothers and Sisters movement)
Free Music Club (FMC)
leggiero (レグジェーロ)
Music Life
Popular Music Laboratory
SF研 & ゲーマーズクラブ
アカベラサークル ふれんど
囲碁部
映画部
演劇部
からくり工房I, Sys
口笛音楽サークル ハッピーバード
茶道部
児童文化研究会
写真部
将棋部

吹奏楽部
電子工学研究会
福井大学グリーンエコー合唱団
福井大学書道部
福井大学日赤青年奉仕団ココロ
福井大学フィルハーモニー管弦楽団
福井大学漫画研究会
福大コンピューター部
邦楽部
ボランティアサークルTOGETHER
麻雀サークルMFC
農業村応援し隊
ピースクリエイターズ
ロック研究所
お笑いサークルおわらほ



よっしゃこい

よっしゃのモットーである
全カスマイルで、
毎日楽しく練習しています!

福井
フェニックス
祭り入賞



教育地域科学部2年
荻野響流さん



吹奏楽部

初心者から経験者、
男女問わず個性的な
メンバーで和気あいあいと
活動しています♪

第46回
福井県吹奏楽
コンクール
大学部門金賞



教育地域科学部3年
田海美咲さん



学生の1週間

公務員を目指して勉強中です

将来は心理系公務員を目指しているので、公務員講座も受講していますし、空き時間には図書館で勉強していることも多いです。サークルは「よっしゃこい」に所属。曲や振付、衣装も全てみんなで考えます。踊るのも企画するのもスゴク楽しいですよ。

波多野麻衣子さん
 教育地域科学部学校教育課程
 臨床教育科学コース3年次
 福井県立羽水高等学校出身

3年前期の時間割

※時間割は一例です。

	月	火	水	木	金	土
1限			音楽実習A			
2限	低学年図工				教育実践研究A-Ⅲ	10:40～16:10 公務員講座
3限	体育教材研究	幼児理解	臨床心理学演習I	理科教材研究	13:00～17:00 アルバイト	
4限		12:30～14:30 ライフパートナー		15:00～22:00 アルバイト		
5限		15:30～19:00 楽集391活動				
夕方以降	19:00～21:00 サークル		18:10～21:20 公務員講座		19:00～21:00 サークル	

自習

空き時間は図書館で勉強。
集中できる環境です。



グループ学習

レポート作成や試験勉強は
友だちと協力して行うことも。

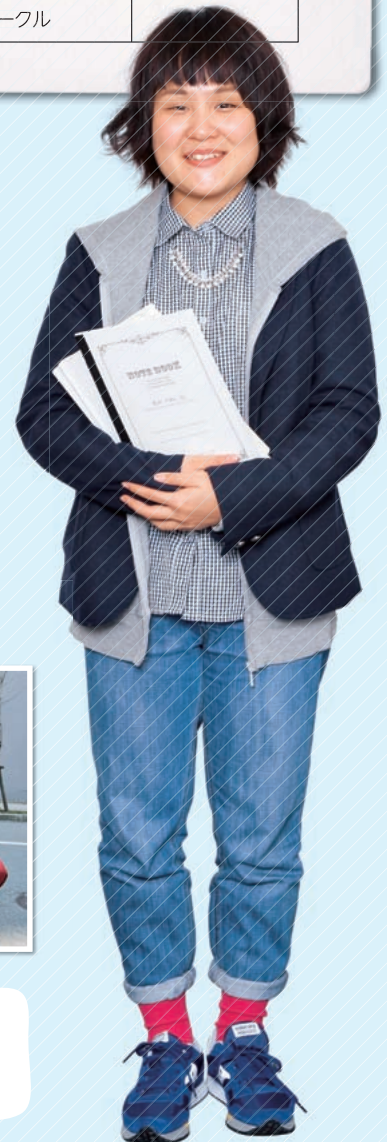
楽集391活動

障害を持った子どもたちの
学習支援を行う活動に参加しています。



サークル「よっしゃこい」

サークルでは副代表も務めました。
現在は後輩のサポートをしています。



LDCやグローバルハブを積極的に活用しています

生物と化学の両方に興味があり、この学科を選びました。図書館やLDCをよく利用しますが、LDCには同じ学科の先輩がいて将来のことなど相談にのってもらったりもしています。一人暮らしで、毎日、弁当も作っています。もう習慣になっていますよ。

堀 生実さん
 工学部 生物応用化学科1年次
 北海道浦河高等学校出身

1年後期の時間割

※時間割は一例です。

	月	火	水	木	金	土
1限	植物の生活史と進化		化学Ⅱ	生物機能と化学物質		
2限		憲法概論	線形代数Ⅱ(a)	物理学Ⅱ	教育実践研究A-Ⅲ	
3限	図書館やLDC、 グローバルハブ で勉強	英語3-SB	基礎化学実験	英語4-SB	微分積分Ⅱ(b)	
4限		ドイツ語2-B		図書館やLDC、 グローバルハブ で勉強	図書館やLDC、 グローバルハブ で勉強	
5限						
夕方以降				18:00～21:00 サークル [トータルフットボールズ]		

日曜日も活動しています

LDC
 LDCでは勉強したり、DVDを観ることもあります。



英語の授業
 すべて英語で行われる授業はとても刺激的です。

グローバルハブ
 留学生とも積極的に交流しています。



フットサル
 日曜日は仲間たちとフットサルをしたり、自転車で出かけることも。



Matsuoka Campus

松岡キャンパス

医学部／附属病院

近くを九頭竜川が流れる風光明媚な環境。北陸自動車道の福井北IC、丸岡ICからのアクセス抜群です。



① 講義棟

照明の省エネと快適性が評価され照明普及賞を受賞。講義や演習などが行われます。



⑧ 看護学科棟

看護学科の教員研究室をはじめ、講義室や演習室があります。



⑪ 研究棟

附属病院に隣接し、各診療科の医局をはじめ、最先端の医学を研究する施設があります。



⑦ スチューデント・アクティビティ・プラザ

トレーニング論や運動処方論の講義の演習場として使用。ミーティング室を備えています。

② 福利棟／ 学生食堂・売店

ボリュームたっぷりで栄養バランスのとれた食事で学生をバックアップします。

→詳細はP69参照

⑨ 医学図書館

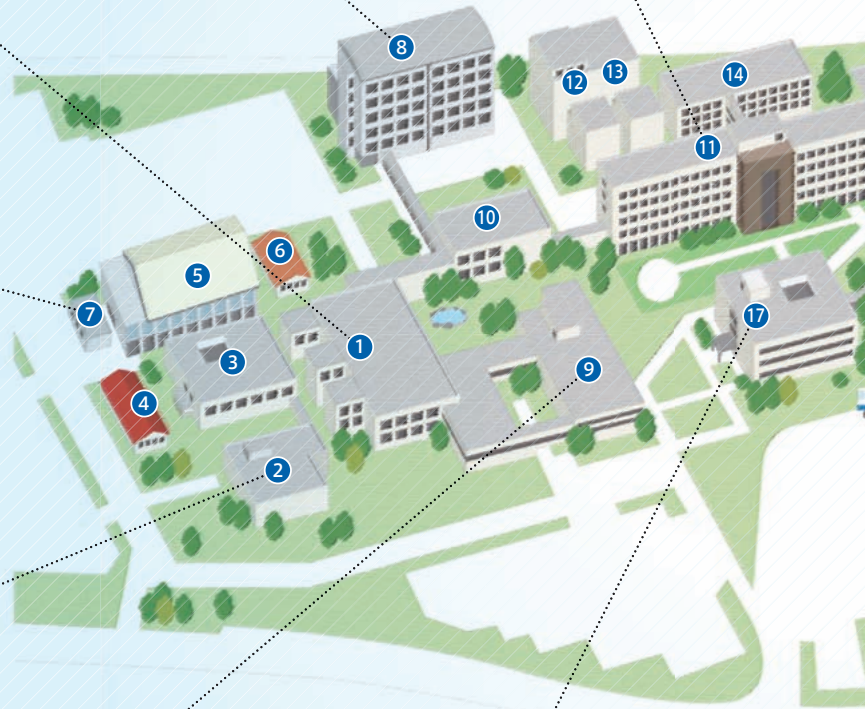
24時間利用できる図書館とグループでの活動が可能な情報工房を併設。英語の自主学習ができるLDCも。

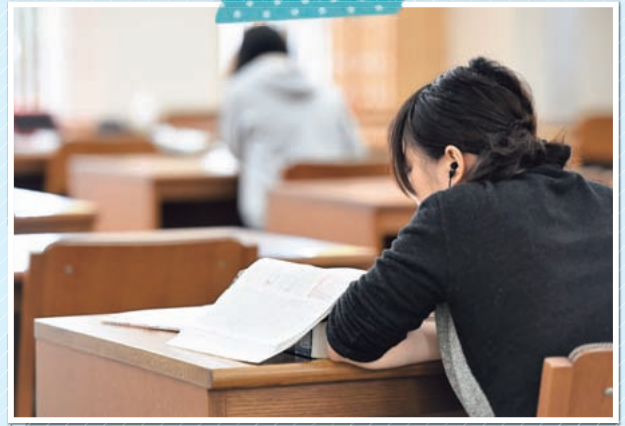
→詳細はP68参照

⑬ 保健センター・学務室

心身ともに健康な大学生活が送れるように、あらゆる相談に応えます。

→詳細はP68参照





18 附属病院

地域を支える基幹病院として高度な先進医療を提供。医学部の病院実習を行っています。

→詳細はP35参照

- ① 講義棟
- ② 福利棟／学生食堂・売店
- ③ 福利施設／売店・書店
- ④ 武道場
- ⑤ 体育館
- ⑥ 弓道場
- ⑦ スチューデント・アクティビティ・プラザ
- ⑧ 看護学科棟
- ⑨ 医学図書館
- ⑩ 基礎実習棟
- ⑪ 研究棟
- ⑫ 生物資源棟
- ⑬ RI実験施設
- ⑭ 院生研究棟
- ⑮ 病理解剖棟
- ⑯ B棟
- ⑰ 保健センター／学務室
- ⑱ 医学部附属病院／売店
- ⑲ RI治療棟
- ⑳ MR棟
- ㉑ 高エネルギー治療棟
- ㉒ 医学部附属臨床教育研修センター／メディカルシミュレーションセンター
- ㉓ A棟
- ㉔ 高エネルギー医学研究センター

9 医学図書館

最先端の医学情報と充実した設備を提供

医学・看護系の専門図書館として、生命科学を中心に13万冊を所蔵。医学部のある松岡地区の学生・教職員へのサービスを主に行っています。専門分野の資料は、図書・雑誌のほかに電子ジャーナルやデータベースも充実しています。学外の医療関係従事者や医療系学生、患者の方の利用も数多くあります。



閲覧室

国家試験前の混雑時にも対応したゆとりのスペース。最適な学習環境で学生をサポートします。



メディアルーム

パソコン、プロジェクター等の設備があり、図書館主催の研修会や講習会なども開催しています。福井県内の医学関連資料も揃えています。



情報工房グループラボ

全14室ある情報工房グループラボ。ディスカッションを行ったり、勉強会の様子を学外へ配信し意見交換を行うなど、自由な発想でアクティブな学習ができるよう機器を揃えています。



休憩コーナー

2階の閲覧室を仕切って設けた休憩コーナーからは、白山連峰が望め、勉強の合間の息抜きにぴったりです。



医療系の図書や雑誌に加え、電子ジャーナルが充実しています。初心者も利用できるようにガイダンスや専任トレーナーによる講習会を開催しています。

学生生活サポート

17 学務室

学生生活の悩みごとをサポートします

履修の相談や単位・成績の照合、各種証明書の発行、授業料免除や奨学金の相談を受け付けています。



頼りになる学生支援体制

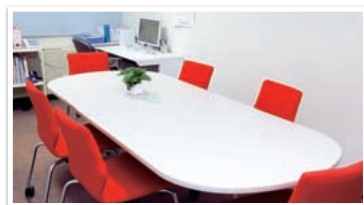
全学での連携体制

学科、学務室、保健センター、学生総合相談室が連携し、学業、学生生活、経済面の悩みやさまざまな相談に対応し、快適で充実したキャンパスライフを支援します。

● 学生総合相談室

あらゆる悩みごと、相談ごとに応えます

学業のこと、将来のこと、人間関係の悩みなど、さまざまな相談に、常駐しているスタッフが対応します。「直接行くのはどうも…」という方には、とりあえずメールを送るという方法もあるので安心です。



オフィスアワー

全ての教員が学生の相談に応じるための時間(オフィスアワー)を設定しています。たとえば、授業の内容について質問したい先生のオフィスアワーを確認して研究室を訪ねることができます。

17 保健センター

こことからだの悩みをサポートします

健康相談やけがの応急処置、健康診断やカウンセリングなど、身体と心の健康を支援します。静養室、検査室、カウンセリング室があり、リラクゼーション、ヒーリング設備も揃っています。



静養室にはリラクゼーションやヒーリング器具を設置

学年主任

キャンパスライフ全般の学生のさまざまな悩みを、教員が相談相手となり指導し、助言します。

② Communication Area

交流スペース



●営業時間/月～金曜 11:00～13:30
●定休日/土曜・日曜・祝日

バランスの良い食事で
学業をバックアップ!!

栄養面バッチリ!
価格もグッド!な食堂です



おいしさはもちろん栄養面も考慮したメニューを低価格で提供しています。忙しい医学生、看護学生を栄養バランスの良い食事でバックアップします。200席。



僕の
イチ押しです♪



おすすめ! 学食メニュー

時間がない時もさっと食べられる
栄養満点のランチ
448円

粗挽きハンバーグ257円、
かぼちゃ煮61円、味噌汁30円、
ライスM100円

栄養バランス
赤2.0点
緑0.9点
黄7.7点
856kcal

人気の単品メニュー!

栄養バランス

赤0.8点
緑0.1点
黄4.6点
444kcal



学生に一番人気の
醤油ラーメン
345円

栄養バランス

赤1.4点
緑0.2点
黄9.4点
884kcal



試験前のスタミナ補給に
ロースカツカレー
370円

普段と違うメニューが
登場する企画では、いろいろな
地域の食べ物が楽しめます。



●営業時間/月～金曜 8:30～17:00
●定休日/土曜・日曜・祝日



おいしい♪



パンや弁当、飲み物、お菓子が揃っています。



3群点数法で 栄養バランスをチェック

学生食堂では、バランスの良い食事でより多くの栄養が摂取できるように3群点数法を利用。学生の食生活をサポートする取り組みです。3群点数法は、食品を栄養の働き別に3つのグループ(赤、緑、黄)に分け、点数配分に沿って各グループから食事を摂ることで必要な栄養素を満たすことができる食事法です。文京キャンパス、松岡キャンパスの学生食堂の全てのメニューに点数をつけ、レシートには合計点数を表示。学生が自分で栄養バランスをチェックできます。

1食あたりの目標

赤	緑	黄
たんぱく資源	ビタミンミネラル源	エネルギー源
2点	2点	男子7点 女子4点
魚介類/肉類 大豆製品/牛乳 乳製品/卵	野菜120g 芋類/果物 きのこ/海藻	穀物(メイン) 油脂/砂糖

Club & Circle

部・サークル紹介



体育系

- 硬式庭球部
- 軟式テニス部
- 卓球部
- 剣道部
- バドミントン部
- バスケットボール部
- 準硬式野球部
- 伝統空手部
- ワンダーフォーゲル部
- 柔道部
- ラグビー部
- バレーボール部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 競技スキー部
- 水泳部
- ゴルフ部
- 弓道部
- ヨット部
- ハンドボール部
- フルコンタクト空手部
- フットサルサークル

文化系

- 合唱団 Vocal Society
- 軽音楽部M-ROCK
- 写真部
- 美術部
- 茶道部
- 華道部
- 管弦楽団
- 熱帯医学研究会F-NETS
- 文芸・漫画研究会
- グルメ部
- 考古学inフクイ
- FEAL
- 野ばら会
- 救急医療系サークルALFA
- 囲碁部
- ふちぶら
- 劇団くらげ
- ア・カペラサークル MusicGlass
- 書道部
- 聖書研究会





硬式庭球部

部員の力を一つにして、
優勝することができました！
新入生の皆さんと一緒に
勝利をつかみませんか？

第66回
北陸地区
国立大学
体育大会優勝



医学部医学科3年
津田武蔵さん



ラグビー部

チームが一団となり
戦うことで優勝できました。
今年も狙うは優勝です！

西日本
医科学生
体育大会
(西医体) 優勝



医学部医学科3年
川原健太さん



学生の1週間

大学の枠を超えた活動で 視野を広げる

いろいろなサークルに参加しているので、毎日がとても忙しく充実しています。地域医療に興味があり、特に大学の枠を超えた活動に積極的に参加しています。福井大学は校舎も病院もキレイで、先生や先輩と距離が近く、何でも出来る可能性が魅力です。

宇土谷翔太さん

医学部 医学科3年次
関西大倉高等学校出身

3年後期の時間割

※時間割は一例です。

	月	火	水	木	金	土
1限	基礎臨床医学I (内分泌・栄養・代謝系)	基礎臨床医学I (内分泌・栄養・代謝系)	基礎臨床医学I (泌尿器系) 病理組織学実習	基礎臨床医学I (内分泌・栄養・代謝系)	基礎臨床医学I (泌尿器系)	machi☆コラ や地域医療塾 など地域で 活動
2限	医学英語4					
3限	基礎臨床医学I (内分泌・栄養・代謝系)		基礎臨床医学I (消化器系) チュートリアル			
4限						
5限						
夕方以降	サークルや地域の診療所などで研修など不定期					

講義

3年になり専門的な講義が増えました。



名田庄地域医療塾

地域医療に興味のある全国の医療系学生が集まる勉強会に毎年参加。全国に仲間ができました。



machi★コラ

“まちでコラボ”をキーワードに大学・学部の枠を超えて学生が集まるプロジェクトに参加しています。



お昼休み

松岡キャンパスは各々の距離が近く、和気あいあいとしています。



実習は忙しいけど 充実した毎日です

3年から本格的な病院実習に取り組みました。附属病院はキャンパス内にあるので、近くて便利。サークルの先輩などもたくさんいるので心強いです。4年生になり、看護研究もスタート。医学図書館で勉強する時間が増えています。

高畠 萌さん

医学部 看護学科4年次
石川県立小松高等学校出身

3年前期の時間割

※時間割は一例です。

	月	火	水	木	金	土
1限	看護倫理	保健医療福祉論I	心理測定論/ 保健医療福祉論II		小児看護活動論	サークル
2限	公衆衛生看護展開論・II /公衆衛生看護管理論	公衆衛生看護展開論・II /公衆衛生看護管理論	がん看護論	ターミナル看護論		
3限	母性看護活動論	精神看護活動論		公衆衛生看護展開論・II /公衆衛生看護管理論	リスクマネジメント論	
4限			災害看護論		感染予防看護論	
5限						
夕方以降		サークル		サークル		

登校

実習は附属病院が中心。
学外で行くこともあります。



病院実習

身だしなみを整えて病院へ。
患者さんとの接し方などすべてが勉強です。



カンファレンス

実習の後は患者さんに
何が 필요한かを考えながら記録を取り、
看護計画を立てます。



医学図書館

24時間オープン図書館は
医学部生の強い味方。
机が広くて資料も広げやすいです。



学費

国立大学ならではの安い初年度納付金

福井大学の初年度納付金額(入学金と授業料の合計額)は817,800円。国立大学の学費は、私立大学の平均と比べ、文系で約37万円、理系で最大約400万円以上の開きがあります。

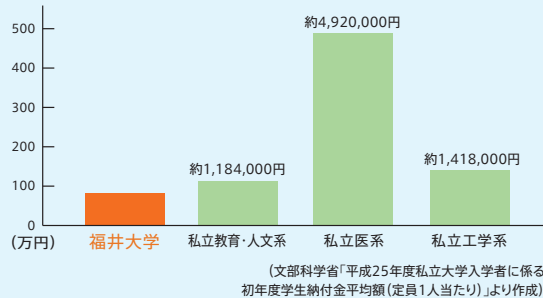
免除・猶予制度

学費の納付が困難かつ学業優秀と認められる学生について、本学では以下の制度を設けています。※免除・猶予には、学生本人の申請と審査機関での選考が必要です。

入学料免除制度	入学料の全額もしくは半額を免除します
入学料徴収猶予制度	入学料の徴収を一定期間猶予します(免除ではありませんので納付が必須)
授業料免除制度	授業料の全額もしくは半額を免除します

初年度納付金 **817,800円**
(入学金 282,000円、授業料 535,800円)

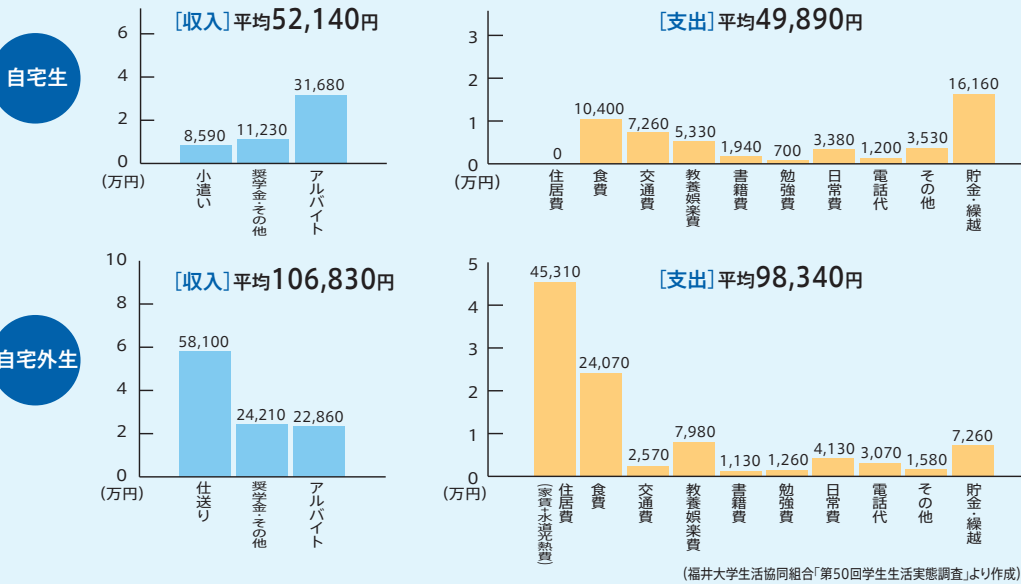
■私立大学(初年度納付金の平均)との比較



生活費

福大生の1ヵ月の収入と支出(平均)

入学金や授業料以外にかかる「生活費」。自宅から通う学生と、一人暮らしをする学生とではかかる金額も違います。1ヵ月にかかる平均的な生活費をチェック!



住まい

アパート、下宿のサービスは地元企業と連携

一人暮らしを始める学生のために、アパートや下宿などの住まい探しをお手伝いします。福井で初めて暮らす学生も安心のサポート体制が整っています。

アパート・マンション・下宿

アパートやマンションの入居、下宿を希望する学生のために、不動産会社の協力のもと、大学周辺のアパートや下宿のオーナーなど、住まいの紹介サービスを行っています。福井大学生生活協同組合(TEL 0776-21-2956)にご相談ください。

福井大学国際交流学生宿舎

学生の勉学及び生活のための良好な環境を整備するとともに、日本人学生と外国人留学生との相互理解を深め、国際交流を促進することを目的とした国際交流学生宿舎があります。宿舎生活は入居学生で組織する自治会が支えています。

入居費用 寄宿料4,700円/月額、共益費1,000円/月額、光熱水料等約10,000円/月額、自治会費(入会費500円、会費1,000円/年間)、共用施設費(シャワー100円/1回、ランドリー100円/1回)

居室設備 机、椅子、吊り棚、ワードローブ、ミニキッチン、ユニットトイレ、冷蔵庫、空調機、時計、カーテン

詳細は、学生サービス課学生企画係(TEL 0776-27-8403)にお問い合わせください。

奨学金制度

学びたい学生を経済面でサポート

大学・大学院に在学する学生で、人物・学業ともに優秀かつ健康であり、経済的理由により修学が困難と認められる者に対しては、独立行政法人日本学生支援機構や都道府県・市町村等の地方公共団体、公益法人等の奨学金制度があります。また、学資支援や研究者・医療人育成のための大学独自奨学金制度もあります。

独立行政法人日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金は、貸与型の奨学金です。この奨学金は、大学卒業又は退学後、必ず返還しなければなりません。また、この奨学金は大学の在籍状況等で申込要件を満たすことができないとき、申請できない場合がありますので、詳しくは大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

種類及び貸与月額

<学部>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	自宅通学者 45,000円 自宅外通学者 51,000円 又は、30,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 30,000円、50,000円、80,000円、 100,000円、120,000円	有利子(在学期間中は無利子) 利率は固定型、又は見直し型 より選択

<大学院>

奨学金の種類	貸与月額	備考
第一種奨学金	修士・博士前期課程 88,000円 又は、50,000円の何れかを選択 博士後期課程 122,000円 又は、80,000円の何れかを選択	無利子
第二種奨学金	希望する月額を次の中から選択 50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円	有利子(在学期間中は無利子) 利率は固定型、又は見直し型 より選択

日本学生支援機構が定める基準を満たす場合には、「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の併用貸与を受けることもできます。ただし、返還総額が多額になりますので、特に第二種奨学金の月額については、卒業後返還する場合のことを考えて慎重に選択してください。

地方公共団体、公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、奨学生の募集がある場合に学内掲示板で案内しますので、申請を希望する学生は、大学の奨学金窓口にお問い合わせください。

福井大学学生修学支援奨学金

学部学生及び大学院生の授業料免除申請者(外国人留学生除く)のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時修学支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学生協奨学金

福井大学生協同組合からの寄附による奨学金制度です。学部学生の授業料免除申請者(外国人留学生除く)のうち、審査の結果半額免除となった者の中から、選考により一時学資支援金として、10万円が給付されます。なお、この奨学金は給付型の奨学金で、返還の必要はありません。

福井大学大学院医学系研究科基礎医学振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における基礎医学系分野の研究者育成を図ることを目的とした奨学制度です。基礎医学系分野に入学し、将来基礎医学系研究者を目指す学生を対象とし、選考により入学金及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。(入学金及び授業料の支払いを確認後給付されます。)

福井大学大学院医学系研究科振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科の高度専門医療人育成を図ることを目的とした奨学制度です。将来医学領域又は看護領域における優れた研究・実践力を有する医療人を目指す社会人大学院生(医師として本務先を有する者は除く)を対象とし、選考により入学金及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。(入学金及び授業料の支払いを確認後給付されます。)

福井大学大学院医学系研究科画像医学振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における画像診断分野の高度専門医療人育成を目的とした奨学制度です。博士課程統合先進医学専攻医科学コース機能画像医学に入学した学生を対象とし、選考により入学金及び授業料相当額が給付され、返還の必要はありません。(入学金及び授業料の支払いを確認後に給付されます。)ただし、奨学金の給付を中止された場合の奨学金の返還の要否については、別に定められています。

福井大学大学院医学系研究科私費外国人留学生振興奨学金

福井大学大学院医学系研究科博士課程における私費外国人留学生の経済支援を目的とした奨学制度です。博士課程に入学した私費外国人留学生を対象とし、選考により入学金及び授業料半額相当額が給付され、原則返還の必要はありません。(入学金及び授業料の支払いを確認後給付されます。)ただし、奨学金の給付を中止された場合の奨学金の返還の要否については、別に定められています。

福井大学看護学科奨学金

福井大学看護学科奨学金は、本学看護学科3年次に在学する学生で、看護師の資格取得後直ちに、福井大学医学部附属病院での就職を希望する学生に対して、3年次の10月から4年次1年間の計18ヶ月間貸与する奨学金です。本学附属病院の勤務条件を満たした場合、奨学金の返還の必要はありません。申請を希望する学生は、学務室奨学金窓口にお問い合わせください。

大学の奨学金窓口(問い合わせ先)

文京キャンパス 学生サービス課(奨学担当) TEL 0776-27-8716
松岡キャンパス 松岡キャンパス学務室学生係 TEL 0776-61-8266

世界で学ぶ、現場で学ぶ

福井大学には「世界的視野をもつ人材」と「地域で活躍できる人材」を育成するために学生が社会に出て、現場で学び、実践的な力を身につけることができます。さまざまなプログラムがあります。

世界的視野をもつ人材の育成

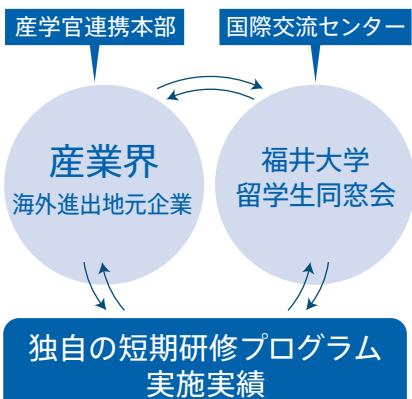
文部科学省の「グローバル人材育成推進事業」に東海北陸地区の国立大学で唯一採択されたことを受け、福井大学では「世界的な視点をもった高度専門職業人の育成」を目標に多彩な取り組みを進めています。

Point 1

学生のニーズに合わせた多様な留学プログラム

世界23ヵ国73の大学や研究機関と連携し、学術・学生交流を行っています。学術交流協定校への半年から1年間の交換留学に加え、数日から3ヵ月程度の短期海外研修プログラムも年間40～50実施しています。学生一人ひとりが自己のニーズや目的、専門知識や語学面での学習段階、将来設計に応じて参加する研修を選択できるよう、その内容は語学研修、文化体験・交流、フィールドワーク、専門講義、学会発表や研究交流など多岐にわたります。留学経験を通して、将来グローバル社会で専門性を活かして活躍するための知識と教養、能力を養います。

実践的グローバル人材育成プログラム



ノウハウを展開

- 短期海外研修プログラム
- 中長期海外留学



■ オーストラリア・サザンクロス大学 語学研修型プログラム

大学附属の語学学校に通い、滞在中はホームステイを通して英語力の向上を目指します。授業は、ワイルドパークへの訪問、サーフィン体験、地元の学校への訪問及び現地学生との交流などのアクティビティを通して英語を学ぶ実践型で、英語が苦手でも楽しみながら語学力を身につけることができます。



■ タイ・タマサート大学 グローバル教養型プログラム

日本企業が多く進出するASEAN経済の中心国のタイで、タイ語、文化・歴史、産業経済について、授業やフィールドワーク等を通して学びます。滞在中はタイ人学生のバディと生活を共にし、将来グローバル経済社会で活躍するための広い視野とコミュニケーション能力を身につけます。



■ アジア・連携大学 (中国、台湾、マレーシア、ベトナム等) 研究・発表型プログラム (工学系)

アジアの連携大学において現地学生とともに自らの専門とは異なる分野の研究室に滞在し、実験やディスカッションを行います。日々の研究活動や発表会などのプレゼンテーションを通じて、論理的に思考し、発表するプロセスを学びます。また、議論を通して自分自身の研究について深く理解し、その後の研究活動に大きなモチベーションが得られます。

■ 世界に広がる学びのフィールド

Europe

ドイツ

カールスルーエ研究センター パルス出力・マイクロ波研究所
シュトゥットガルト大学プラズマ研究所
ハンブルク大学人文科学部アジア・アフリカ研究所

フランス

リヨン繊維・化学技術院
メン大学

ロシア

ロシア科学アカデミー応用物理学研究所
D.Y.Efremov電気物理研究所精密理工学センター
ロシア科学アカデミーシベリア地区物理学研究所
ロシア医学アカデミーシベリア支部イルクーツク州立再建・移植外科研究センター
ロシア科学アカデミーカザン科学センター

ラトビア

ラトビア大学固体物理研究所

ポーランド

ワルシャワ工科大学化学プロセス工学部

ブルガリア

ブルガリア科学アカデミー電子工学研究所

その他

コンソーシアム(ENEN ASSOCIATION, INSTN, UPB, SCK・CEN)

Africa

ウガンダ

マケレレ大学医学部

America

アメリカ合衆国

ラトガース大学
クレムソン大学
フィンドレー大学
ワシントン大学医学部マリノクロット放射線医学研究所

カナダ

オタワ大学医学部

ペルー

サンマルコス大学地質・鉱業・冶金・地理工学部

Oceania

オーストラリア

シドニー大学 School of Physics

Asia

中国

西安外国語大学
西安理工大学
浙江大学
北京信息科技大学
浙江理工大学
南昌航空大学
江南大学
蘇州大学
東華大学
瀋陽師範大学
天津科技大学
武漢科技大学
中国電子科技大学プラズマ研究所
上海師範大学
天津工業大学
内モン古工業大学
東南大学動力工程系
上海理工大学
蘭州交通大学機電工程学院
蘭州交通大学電子与信息工程学院及び
自動化与電気工程学院
西安交通大学核科学与技术学院
招興市人民病院

韓国

釜山大学校師範大学
延世大学工科大学
東亜大学校工科大学
釜慶大学校工科大学
嶺南大学校工科大学
成均館大学校工科大学
ソウル国立大学テラヘルツバイオ応用システムセンター

モンゴル

モンゴル科学技術大学

台湾

國立雲林科技大學
國立臺灣科技大学工程學院
國立清華大学工学院
國立清華大学光電研究センター

タイ

スィーパトゥム大学
キングモンクト工科大学
タイ王国中央胸部疾患研究所
ラジャマンガラ工科大学イサン校工学・建築学部
タマサート大学東アジア研究所

インドネシア

インドネシア大学
シャクアラ大学
ハルオレオ大学

フィリピン

フィリピン大学物理学研究所
デ・ラ・サル大学理学部

ベトナム

ベトナム教育訓練省国際教育開発局
電力大学

インド

インド国立鉱業医学研究所

バングラデシュ

クルナ科学技術大学

アラブ首長国連邦

イティハッド大学

マレーシア

マラヤ大学

Others

UMAP (アジア太平洋大学交流機構)

大学間交流協定 29機関
部局間交流協定 44機関

(2015年6月現在)

Point 2

「語学センター」による実践的英語教育

質の高い“使える英語力”を身につけ、向上できるように、TESOL*等の資格を持った英語教育を専門とするインストラクター陣が支援します。語学センターの交流スペース「グローバル・ハブ」では、留学経験のある学生スタッフが常駐し、リラックスした雰囲気の中で英語力・コミュニケーション力を鍛えるお手伝いをします。

また、総合図書館に開設した国内トップクラスの言語開発センター(Language Development Center: LDC) には、e-learningシステムや2,500冊以上の本、1,000本以上のDVD等の教材を備え、充実した自主学習環境を提供しています。

*TESOL (Teaching of English to Speakers of other Languages) : 英語を母語としない人に英語を教えるための教授法

実践的英語教育

語学センター

- 質の高い「使える」英語教育
- e-learning/online教育による自主性の高い学習
- TESOL教員による実践的語学教育
- 習熟度別少人数教育

到達目標

H28年度卒業生の15.3%
TOEIC® 750点
(TOEFL PBT550)

H28年度末の全学部2年次末の
平均**TOEIC® スコア600点**

■ 世界につながるグローバル・ハブ

文京キャンパスのグローバル・ハブを拠点として、世界につながる各種の取り組みを行っています。グローバル・ハブには、ソファや雑誌、テレビを設置し、リラックスした雰囲気ですまざまな交流や情報収集を行うことができます。また、松岡キャンパスでは、マルチラーニングスペース等を活用してイベントを実施しています。

▶ 語学学習・留学情報提供

海外留学経験者・外国人留学生の学生スタッフが、海外留学や英語学習の疑問、質問にお答えします。また、各種資料も取り揃えています。

▶ 各種イベントの実施

日本人学生と外国人留学生の交流や、海外留学に関する情報提供、英語を実践する場の提供などを目的に、各種のイベントを実施します。これまでに以下のようなイベントを実施しています。

・ ランチイベント

平日のお昼休みに、語学センターの学生スタッフが、英語ですまざまな楽しい企画を行います。ランチを食べながら気軽に参加できます。

・ ブラウンバッグ・セミナー

学内外の方を講師に迎え、お昼休みにランチを取りながら、多彩なテーマのセミナーを英語で聞きます。

・ お話会

日本人学生と留学生が、英語と日本語でテーマに沿って会話を楽しむイベントです。

・ セタイベント、ハロウィンイベント、クリスマスイベント

季節ごとに、日本の伝統文化や海外の異文化に触れつつ、日本人学生と外国人学生が交流を深めます。

イベントなどの情報は随時、Facebookやメーリングリスト等で案内しています。興味のある方はグローバル・ハブまで気軽にお越しください。



文京キャンパスのラウンジ「グローバル・ハブ」は気軽に交流、情報収集できる場所です



イベントを通じて世界とつながることができます



■ 言語開発センター (LDC)での自主学習環境の提供

言語開発センター(Language Development Center:LDC)が文京キャンパスでは総合図書館2階に、松岡キャンパスでは医学図書館に整備されています。ここでは、外国語を個人やグループで自立的に学習するためのさまざまな設備、教材が揃っています。

・ 個人語学演習室／多目的演習室

個人でもグループでも、学ぶ人数に適した語学演習室は、そのすべてが遮音室です。外国語検定試験やスピーキング・リスニング対策ソフトを導入したパソコン、マイク付きヘッドホンを使い、周囲を気にせず学習できます。

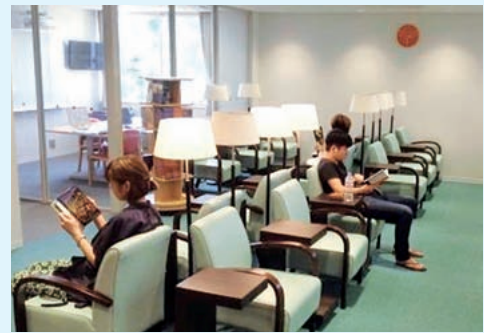
・ DVDステーション

1,000本以上の洋画・邦画・ドラマ・ドキュメンタリー等各種DVDを視聴可能です。楽しみながらリスニング能力や、会話で使用する語彙力を高めることができます。

・ リーディング・ラウンジ

レベル別・分野別の外国語教材や、TOEIC、TOEFL等の語学試験対策教材を2500冊以上備えています。CDで音声がかかるものもあります。

自宅からでもアクセス可能なe-learningシステム(NetAcademy 2)も導入しています。外国語を自立的に学習するための最高の環境を用意しています。



多様な教材で学べるリーディング・ラウンジ



各種DVDを揃えたDVDステーション

Point 3

国際的評価に基づいたカリキュラム改革

語学教育のカリキュラム改革として、平成25年度より工学部の全新入生に対し、週2回の英語授業を実施。また、TOEIC及び語彙テストを実施し、習熟度別の少人数クラス編成による教育を行っています。また、平成26年度からは教育地域科学部及び医学部医学科の新入生に対しても実施しています。

教育の国際的質保証や教員のグローバル教育力向上、職員の学生支援力向上の観点から、海外の先進的取り組みを行う大学を視察し、比較対象とすることで優れた点を学ぶベンチマーキングを実施しました。先進的取り組みを行う大学等から講師を招聘してシンポジウムや外部評価を行い、カリキュラムや評価の改革、学修時間の確保や学期制の見直しなど国際的に通用する教育課程の実現を目指しています。

国際的通用性を持つ教育課程

高等教育推進センター

- グローバル教育力の向上
- 継続的ベンチマーキングによる国際的教育評価

全体

- ・ 学修時間の確保増大
- ・ カリキュラムの質的転換
- ・ 学期制の見直し

共通教育

- ・ 初年次教育の充実
- ・ 複合的・学際的なコアカリキュラム
- ・ 探求・参加型プロジェクト学習(アクティブ・ラーニング)
- ・ 外国語学修時間数増



先進的取り組みを行う海外の大学から講師を招聘してのシンポジウム

7
連覇就職に強い!
福井大学!!

高い就職率・定着率を誇っています!

高い就職率

国立大学 7年連続 No.1

大学通信調査の「全国大学就職率ランキング」で、複数学部を有する国立大学において7年連続1位。卒業生1000人以上の国公立大学では3年連続1位となりました。学部別の実績(2013年度卒業生)でも、高い就職率を誇っています。

学部別
就職率の実績
(2013年度卒業生)

教育地域科学部

98.5%

医学部

96.2%

工学部

94.5%

就職率=就職者数÷(卒業者数-進学者数)

高い定着率

企業から 高評価

就職先企業の質の高さや学生の社会人基礎力の高さから、在籍3年以内の離職率は7.1%※1と全国平均(31.0%)※2に比べ、非常に低い数字となっています。この離職率の低さは、就職先の職場の雰囲気や人間関係が良好でミスマッチが少なく、また、給与・勤務時間・福利厚生などの労働条件が良い企業に就職できている証拠と言えます。

※1「福井大学の教育と卒業生についてのアンケート調査2013」

※2 2013年厚生労働省調査「新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移」

在職3年以内の離職率

全国平均 31.0%

福井大学 7.1%

高い就職率・高い定着率を支える3つの柱

Point 1

積極的なキャリア形成

各学部では、社会に送り出す人材育成に力を入れた授業・実習などを積極的に取り入れています。

- ・**教育学部**:新しい学校教育を担う教員を養成
- ・**医学部**:日々進歩・変化する医療現場への適応能力を育成
- ・**工学部**:夢を世界でかたちにする技術者育成
- ・**国際地域学部**:地域創生を担いグローバル社会の発展に寄与する人材を育成

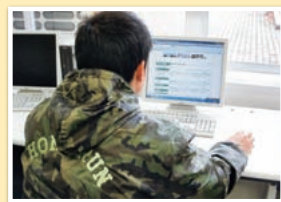


Point 2

学生を支える充実した就職支援体制

全学を挙げて、全ての学生に行き渡る就職支援体制を構築しています。

- ・**就職担当教員**と**キャリアカウンセラー**が内定までサポート
- ・大学独自の**キャリアサポートシステム**の提供 →詳細はP82参照



Point 3

きめ細かな就職支援活動の実施

年間を通して60回以上のガイダンス等を開講しており、就職活動に慣れない学生の不安の解消に努めています。

- ・充実した**就職支援講座**の開講
- ・多くの企業との**出会いの場**の提供



スケジュール(2014年度の主な実績)

- ・キャリアカウンセラー等による就職相談及び模擬面接
- ・学内公務員講座
- ・教員採用試験対策勉強会 以上、通年開催

4
April

- 公務員試験対策学内講座説明会
- 就職ガイダンスー就活再スタート講座(教・工の4年次)
- 教員採用試験対策模擬試験
- 進路指導懇談会(医)

5
May

- インターンシップ制度事前説明会(教・工)
- 他府県及び市町村教員採用試験説明会
- 福井県臨床研修病院合同説明会(医)
- 就職ガイダンスーキャリアデザイン入門(教・工の1年次)

6
June

- 就職ガイダンスー進路選択スタートアップ講座(教・工)
- 就職ガイダンスー自己分析講座(教・工)
- 留学生向け就職活動講座(教・工)

7
July

- 福井県インターンシップ参加申込者の事前研修会(教・工)
- 就職ガイダンスー業界・企業研究講座(教・工)
- 卒後臨床研修説明会(医)
- 企業OB・OG参加による業界企業研究会(教・工)
- 内定者による就職活動体験報告会(教・工)

8
August

- 学生の就活・大学の就活支援リーフレットを保護者へ郵送
- 企業訪問(教・工)
- 福井県教員採用二次試験直前学習会(教・工)

9
September

- 企業訪問(教・工)

10
October

- 就職ガイダンスー進路選択スタートアップ講座(教・工)
- 就職ガイダンスーメイクアップ講座(教・工)
- 就職ガイダンスー就活復習・スタート講座(教・工)
- 就職ガイダンスーエントリーシート作成講座1(教・工)

11
November

- 資格ガイダンス
- 就職ガイダンスー就職活動体験報告会
- 就職ガイダンスー合説攻略講座&県外就職対策講座
- 就職ガイダンスー教員採用試験対策講座(教)
- 国家試験受験説明会(医)
- 就職ガイダンスーエントリーシート作成講座2(教・工)
- 就職ガイダンスー卒業生と就職を語る会(教・工)

12
December

- 就職ガイダンスー就活復習講座(教・工)
- 就職ガイダンスー面接対策講座(教・工)
- キャリアアップ・セミナー(教・工)
- 就職ガイダンスー業界・企業研究のため合説訪問(教・工)
- 建築業界研究セミナー
- 就職ガイダンスー産業・職業研究セミナー
- 就職ガイダンスーグループディスカッション対策講座(教・工)

1
January

- 企業内定者・公務員合格者による就職相談会(教・工)
- 教員採用試験説明会(教・工)

2
February

- 企業説明会・懇話会(教)
- 免許申請説明会(医)
- 就職ガイダンス マナー・面接対策・スーツ着こなし・メイクアップ講座(医)

3
March

- 合同企業説明会バスツアー-in名古屋・大阪(教・工)
- 学内合同企業説明会(教・工)
- 福井県臨床研修病院合同説明会(医)
- 内定者による就職相談会(教・工)
- 教員採用模擬面接(教・工)

インターンシップ

就職サポート

就職支援室

就職支援室では、学生一人ひとりに応じたきめ細かな進路選択の支援を行っています。「納得のできる進路決定」に向けて、スタッフ全員でみなさんをサポートします。

■個別相談

専門のキャリアカウンセラーが支援します。就職活動中の不安は何でも相談できます。

■本・雑誌閲覧コーナー

就職関連本や雑誌などが豊富にそろっており、自由に閲覧できます。

■DVD閲覧コーナー

エントリーシートの書き方、集団面接、グループディスカッション等のポイントをDVDで分かりやすく解説します。

■PCコーナー

福井大学キャリアサポートシステムを通じて大学に届いた求人票・パンフレットを検索・閲覧できます。



福井大学キャリアサポートシステム

福井大学独自の就職支援システムです。他大学の学生には得られない貴重な情報を入手できます。

■メールマガジン

■学内ガイダンス動画

■求人情報

■OB・OG就職活動体験記

■就職相談等の予約



就職ガイダンス

年間を通じて60回以上のガイダンスを開催しています。開催時間・場所・内容等は学内の掲示板とメールマガジンでお知らせしています。

■進路スタートアップ講座

■就活マナー講座

■自己分析講座

■メイクアップ講座

■エントリーシート作成講座

■スーツの着こなし講座

■面接対策講座

■業界・企業研究講座

■グループディスカッション体験講座

■内定者による体験報告会

■筆記試験対策講座

■SPI3模擬試験



就活サポーター

～学生の学生による就活支援～

就職活動を終え希望の進路を獲得した先輩が、これから就職活動を始める後輩を支援します。苦勞して内定を得た貴重な体験をもとに、効果的な情報収集の仕方や、就職活動の迷いや悩みに対するアドバイスをを行います。



就活サポーター「graXis(グラス)」のメンバー



就活サポーター主催のパネルディスカッションの様子

企業支援対策

【企業訪問】

夏休み期間中に県内外の企業へ訪問し、職場の見学や卒業生との交流を行っています。就職活動が本格化する前に、様々な企業に触れることができます。



【企業経営者との懇談会】

福井県内の企業経営者との懇談会を定期的に行っています。「熱い思い」に直接触れることができ、職業観・企業理解が深まります。



【OB・OGとの懇談会】

OB・OGの所属する業界・企業について、具体的な話を聞くことで、自分が働くイメージを掴めます。



【学内合同・個別企業説明会】

県内外の企業の人事担当や卒業生を招いて企業説明会を実施しています。特に個別企業説明会では、1社1教室・少人数でじっくり話ができるため、好評を得ています。



教員採用試験対策

附属教育実践センターと就職支援室の共催で、様々なプログラムを準備しています。

- 論作文
- 教職教養(教育法規)
- 教職教養(教育心理)
- 教職教養(教育時事)
- 集団討論
- 志願書添削
- 模擬面接
- 二次試験直前対策講座 など



公務員試験対策

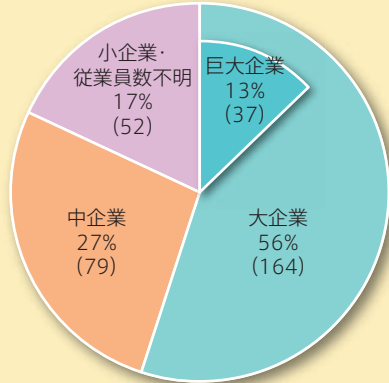
福井大学生生活協同組合との共催で、学内公務員試験講座(有料)を10ヵ月にわたって実施しています。

- 数的処理
- 人文科学
- 社会科学
- 時事・社会政策
- 自然科学
- 文章理解
- 資料解釈
- 面接対策講座 など



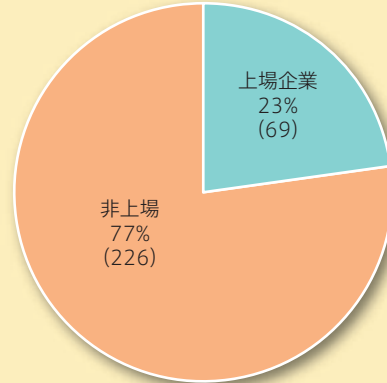
卒業後の進路 (実績一覧)

企業規模別の就職状況



※2014年度卒業生進路状況(2015年5月1日現在)
 巨大企業＝従業員3,000人以上、大企業＝従業員300～2,999人
 中企業＝従業員100～299人、小企業＝従業員99人以下
 公務員・教員・医師・看護師は含まない

上場・非上場企業の内訳



※2014年度卒業生進路状況(2015年5月1日現在)

「円グラフ」、「国家試験合格率」は平成27年3月卒業生データ、「主な就職先」は過去5年間の集計データから多い順に掲載

教育地域科学部

学校教育課程

進路	割合
教員	51%
企業・施設団体	15%
進学	20%
公務員	8%
その他	6%

■主な進学先 福井大学、金沢大学、愛知教育大学、大阪教育大学

■主な就職先

福井県公立学校教員	西日本旅客鉄道株式会社	平林印刷株式会社
他府県公立学校教員	石友ホーム株式会社	新潟県庁
福井県警察	フクビ化学工業株式会社	福井県庁
株式会社福井銀行	越前たけふ農業協同組合	名古屋市役所
株式会社福邦銀行	株式会社富山育英センター	株式会社みずほ銀行
福井市役所	社会福祉法人吉江学園	株式会社北陸銀行
坂井市役所	社会福祉法人足羽福祉会	株式会社朝日新聞社

教育地域科学部

地域科学課程

進路	割合
企業・施設団体	66%
進学	2%
公務員	27%
その他	5%

■主な進学先 福井大学

■主な就職先

株式会社福邦銀行	株式会社北陸銀行	アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社
JA福井県五連	越前たけふ農業協同組合	株式会社福井村田製作所
福井県庁	大野市役所	敦賀市役所
福井県警察	株式会社天晴データネット	勝山市役所
福井信用金庫	株式会社システムグラフィ	第一生命保険株式会社
株式会社福井銀行	株式会社アイジーイー	サカイオーベックス株式会社
福井市役所	花咲ふくい農業協同組合	あわら市役所
福井車輪輸送株式会社	越前市役所	日本興亜損害保険株式会社

※平成28年度教育学部・国際地域科学部に改組・再編予定のため参考

医学部

医学科

国家試験合格率		
	本学	全国
平成26年度	93.4%	91.2%
平成25年度	91.3%	90.6%
平成24年度	93.4%	89.8%

■主な卒業臨床研修先

福井大学医学部附属病院	京都府立医科大学附属病院	名古屋市立大学病院
福井県立病院	小牧市民病院	名古屋掖済会病院
福井赤十字病院	福井県済生会病院	横浜市立大学附属市民総合医療センター
岐阜県総合医療センター	社会保険中京病院	横浜市立大学附属病院
福井総合病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	石川県立中央病院
金沢大学医学部附属病院	東京大学医学部附属病院	木沢記念病院
杉田玄白記念公立小浜病院	トヨタ記念病院	京都第一赤十字病院

医学部

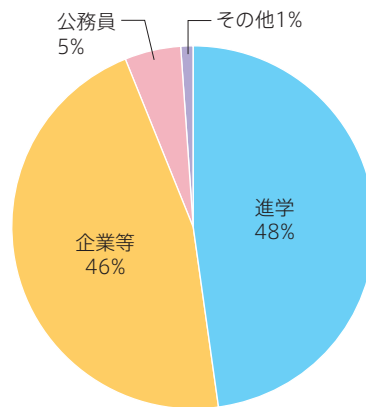
看護学科

国家試験合格率			
	看護師	保健師	助産師
平成26年度	98.2%	100.0%	100.0%
平成25年度	100.0%	100.0%	100.0%
平成24年度	100.0%	100.0%	100.0%

■主な就職先

福井大学医学部附属病院	石川県立中央病院	金沢市立病院
福井赤十字病院	神戸大学医学部附属病院	金沢赤十字病院
福井県立病院	名古屋第二赤十字病院	草津総合病院
福井県済生会病院	大阪医科大学附属病院	国立病院機構金沢医療センター
名古屋大学医学部附属病院	慶應義塾大学病院	東京通信病院
京都大学医学部附属病院	福井県庁	富山県立中央病院
金沢大学医学部附属病院	愛知医科大学病院	名古屋第一赤十字病院

84



■主な進学先

福井大学、名古屋大学、東京工業大学、奈良先端科学技術大学院大学、北陸先端科学技術大学院大学、東京大学、京都大学、大阪大学、九州大学

■主な就職先

アイシン・エイ・ダブリュ工業株式会社
 福井県警察
 福井県庁
 セーレン株式会社
 西日本旅客鉄道株式会社
 サカイオーベックス株式会社
 株式会社天晴データネット
 株式会社アートテクノロジー
 株式会社大林組
 石友ホーム株式会社
 ポリマー化成株式会社
 日東シンコー株式会社
 フクビ化学工業株式会社
 三谷コンピュータ株式会社
 株式会社富士通北陸システムズ
 アイシン・エイ・ダブリュ株式会社
 豊田鉄工株式会社
 大同工業株式会社
 前田工織株式会社
 三谷セキサン株式会社
 株式会社福邦銀行
 竹田設計工業株式会社
 株式会社小松製作所
 バナソニック株式会社
 株式会社福井銀行
 福井市役所
 国立大学法人福井大学
 中菱エンジニアリング株式会社
 株式会社メイテック
 北陸電気工事株式会社
 福井システムズ株式会社
 酒井化学工業株式会社
 関電プラント株式会社
 株式会社ビジュアルソフト
 永森建設株式会社
 北陸電力株式会社
 住友電装株式会社
 大東建託株式会社

スズキ株式会社
 三菱電機ビルテクノサービス株式会社
 株式会社松浦機械製作所
 株式会社鴻池組
 株式会社ジェイテクト
 株式会社エイチアンドエフ
 株式会社柿本商会
 株式会社オーディオテクニカフクイ
 デンソーテクノ株式会社
 KBセーレン株式会社
 山金工業株式会社
 三谷設備株式会社
 共同コンピュータ株式会社
 株式会社不動産SHOPナカジツ
 株式会社鯖江村田製作所
 株式会社ミルコン
 株式会社ミツヤ
 株式会社ネスティ
 中部テレコミュニケーション株式会社
 株式会社アイジーイー
 株式会社FTS
 清水建設株式会社
 積水ハウス株式会社
 フタバ産業株式会社
 トヨタ紡織株式会社
 矢作建設工業株式会社
 名古屋製酪株式会社
 北陸通信工業株式会社
 福井鋸螺株式会社
 日本電産テクノモータ株式会社
 東洋染工株式会社
 東山フィルム株式会社
 大豊工業株式会社
 大鉄工業株式会社
 森永北陸乳業株式会社
 新東工業株式会社
 ゲンキー株式会社
 小林化工株式会社

小松ウオール工業株式会社
 轟産業株式会社
 高松機械工業株式会社
 金田工業株式会社
 株式会社別川製作所
 株式会社今仙電機製作所
 株式会社共栄データセンター
 株式会社モビテック
 株式会社ソフトウェア・サービス
 株式会社システムグラフィ
 井上商事株式会社
 トヨタすまいるライフ株式会社
 エネックス株式会社
 ウラセ株式会社
 Renesas Semiconductor KL
 小浜市役所
 愛知県警察
 株式会社寺本鉄工
 春江電子株式会社
 西日本電信電話株式会社
 東海旅客鉄道株式会社
 コニカミノルタ株式会社
 大和ハウス工業株式会社
 株式会社日立ソリューションズ
 石川県庁
 愛知県庁
 富士通テン株式会社
 株式会社アルプス技研
 株式会社アマダ
 リンナイ株式会社
 福井テレビジョン放送株式会社
 福井コンピュータ株式会社
 株式会社富士通ITプロダクツ
 株式会社八木熊
 津田駒工業株式会社
 清川メッキ工業株式会社
 株式会社ケイ・オプティコム

入試情報

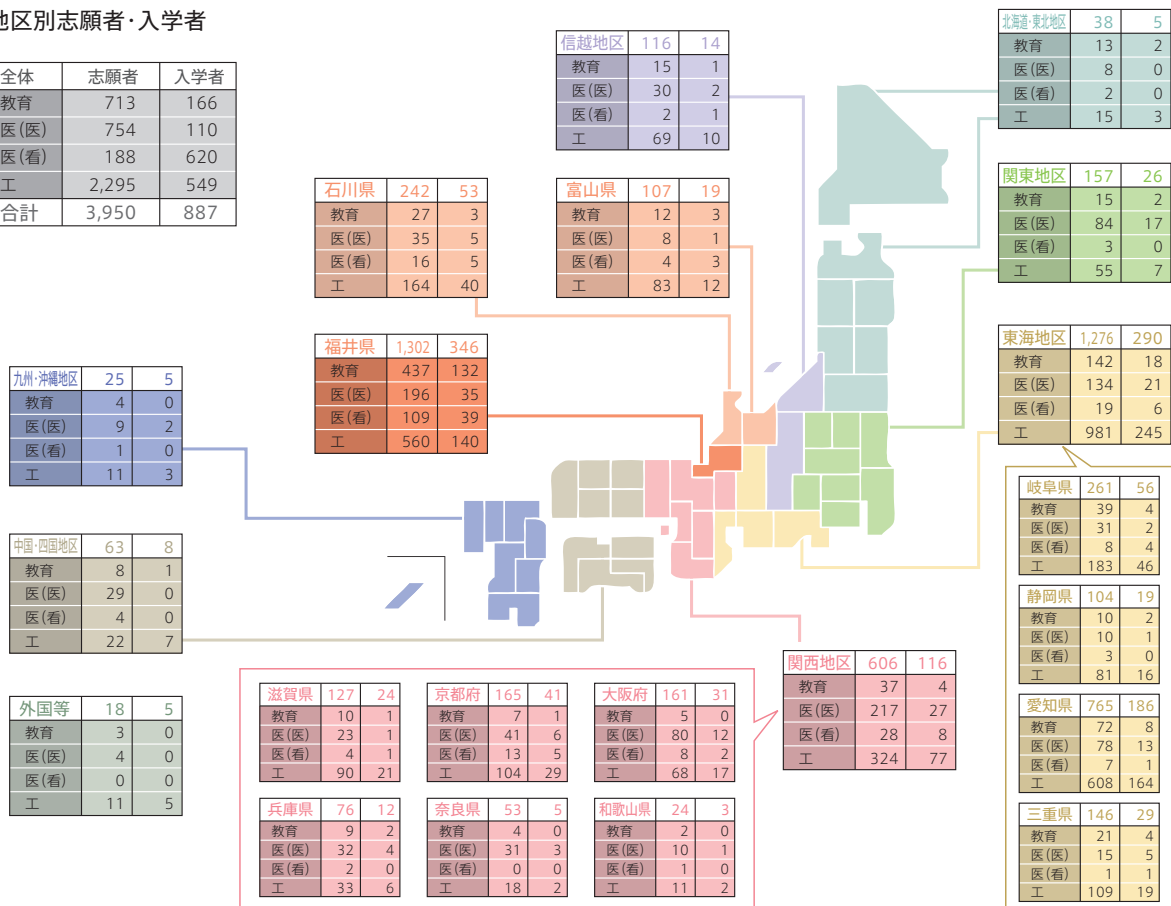
平成27年度 福井大学入学試験実施状況

学部	学科・課程・コース等	一般入試(前期)					一般入試(後期)					特別入試(推薦・AO)					特別入試(私外他)					計				
		募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学	募集	志願	受験	合格	入学
教育地域学部	言語教育コース	10	21	17	11	11	6	39	13	6	4	4	11	11	4	4	若干名	0	0	0	0	20	71	41	21	19
	理数教育コース	14	25	20	15	14	-	-	-	-	-	6	13	13	6	6	若干名	0	0	0	0	20	38	33	21	20
	芸術・音楽教育サブコース	3	8	7	4	4	-	-	-	-	-	2	7	7	2	2	若干名	0	0	0	0	5	15	14	6	6
	保健体育・美術教育サブコース	3	2	2	2	2	-	-	-	-	-	2	6	6	3	3	若干名	0	0	0	0	5	8	8	5	5
	教育コース・保健体育サブコース	3	36	33	4	4	-	-	-	-	-	2	13	13	2	2	若干名	0	0	0	0	5	49	46	6	6
	生活科学教育コース	4	12	9	5	5	2	25	10	2	2	4	12	12	4	4	若干名	1	1	0	0	10	50	31	11	11
	社会系教育コース	6	17	13	7	6	2	14	5	3	3	2	7	7	2	2	若干名	0	0	0	0	10	38	25	12	11
	教育実践科学コース	2	7	5	2	2	2	10	4	3	3	3	7	7	3	3	若干名	0	0	0	0	7	24	16	8	8
	臨床教育科学コース	3	20	19	4	3	2	26	17	3	3	3	12	9	3	3	若干名	0	0	0	0	8	58	45	10	9
	障害児教育コース	3	9	9	4	4	3	35	21	3	3	4	9	5	4	4	若干名	0	0	0	0	10	53	35	11	11
	小計	51	157	134	58	55	17	149	70	20	18	32	97	90	33	33	若干名	1	1	0	0	100	483	357	111	105
地域科学課程	35	87	75	39	38	15	199	96	16	12	10	23	23	10	10	若干名	0	0	0	0	60	309	194	65	60	
学部計	86	244	209	97	93	32	348	166	36	30	42	120	113	43	43	若干名	1	1	0	0	160	713	489	176	166	
医学部	医学科	55	218	168	55	55	25	389	74	25	25	30	147	90	30	30	-	-	-	-	-	110	754	332	110	110
	看護学科	30	52	51	31	30	10	57	18	11	10	20	79	79	22	22	-	-	-	-	-	60	188	148	64	62
学部計	85	270	219	86	85	35	446	92	36	35	50	226	169	52	52	-	-	-	-	-	170	942	480	174	172	
工学部	機械工学科	34	80	78	40	39	34	311	139	41	38	7	28	28	3	3	若干名	1	1	0	0	75	420	246	84	80
	電気・電子工学科	29	54	50	31	31	22	162	42	24	22	13	19	15	14	14	若干名	2	2	2	1	64	237	110	71	68
	情報・メディア工学科	30	81	75	36	35	20	173	61	20	17	15	37	31	14	14	若干名	1	0	0	0	65	292	167	70	66
	建築建設工学科	30	130	122	37	34	25	179	84	28	23	10	44	42	11	11	若干名	1	1	1	1	65	354	249	77	69
	材料開発工学科	50	118	110	61	59	15	163	40	17	16	10	6	6	3	3	若干名	1	1	1	1	75	288	157	82	79
	生物応用化学科	42	76	75	50	43	18	65	23	19	16	5	8	8	5	5	若干名	4	1	1	1	65	153	107	75	65
	物理工学科	20	32	27	20	19	31	224	91	42	36	若干名	3	3	2	2	若干名	0	0	0	0	51	259	121	64	57
	知能システム工学科	37	152	146	45	43	23	130	57	28	20	5	10	10	2	2	若干名	0	0	0	0	65	292	213	75	65
学部計	272	723	683	320	303	188	1407	537	219	188	65	155	143	54	54	若干名	10	6	5	4	525	2295	1370	598	549	
合 計	443	1500	1336	511	489	256	2053	771	293	254	156	455	376	140	140	若干名	6	5	4	4	855	4014	2488	948	887	

※医学科一般入試受験者分は2段階選抜後の受験者数を加算。AO入試及び医学科推薦入試受験者分は最終選考の受験者数を加算。工学部にはマレーシア政府派遣留学生を含む
 ※平成28年度に国際地域学部の設置及び教育地域科学部、工学部の改編を行う予定のため参考

地区別志願者・入学者

全体	志願者	入学者
教育	713	166
医(医)	754	110
医(看)	188	620
工	2,295	549
合計	3,950	887



一般入試(前期日程・後期日程)

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書等を総合して選抜します。詳細は、「一般入試学生募集要項」(10月発表予定)でご確認ください。工学部の前期日程は、京都会場、名古屋会場でも受験できます。

推薦入試

出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除。面接、小論文、実技及び調査書等を総合して選抜します。大学入試センター試験を課さない選抜(推薦Ⅰ)と課す選抜(推薦Ⅱ)があります。詳細は「推薦入試学生募集要項」(9月発表予定)でご確認ください。なお、医学部医学科では、地域枠(福井県)や福井健康推進枠による募集も行います。

AO入試

専門分野の探求に強い意欲を持つ志願者が対象です。能力、意欲、目的意識等を総合的に評価して選抜します。書類審査と時間をかけた丁寧な面接や口述試験、実技や小論文、模擬講義とその小テスト、プレゼンテーションやグループ討論等を行います。大学入試センター試験を課さない選抜(AOⅠ)と課す選抜(AOⅡ)があり、工学部では、出身学科を分けて選抜を行っています。詳細は「AO入試学生募集要項」(6月発表予定)でご確認ください。

※各入試の概要や総合的な案内は、「入学者選抜要項」(7月発表予定)でお知らせします。
 ※学生募集の概要は、本学ホームページ「入試情報」もご覧ください。様々な入試情報をタイムリーに確認することができます。

平成28年度 募集人員

学部	学科・課程・コース等	入学定員	募 集 人 員								
			一般入試		推薦入試		AO入試Ⅰ		AO入試Ⅱ		
			前期	後期	I	Ⅱ	①	②	①	②	
教育学部	学校教育課程	初等教育コース	60	26	16	2	8	8			
		中等教育コース	40	22	7	4	7				
	学部計	100	48	23	6	15	8				
医学部	医学科	110	55	25		30					
	看護学科	60	30	10	20						
	学部計	170	85	35	20	30					
工学部	機械・システム工学科	155	75	68			5	4	3		
	電気電子情報工学科	125	68	42			5	10			
	建築・都市環境工学科	60	30	20			5	5			
	物質・生命化学科	135	95	30				10	若干名		
	応用物理学科	50	20	30					若干名 若干名		
	学部計	525	288	190			15	32		47	
国際地域学部	国際地域学科	60	35	15		10					
合計		855	456	263	26	55	23	32			

※平成28年度に国際地域学部国際地域学科の設置及び教育地域科学部、工学部の改編を行う予定です。これらの計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査結果により確定するため、上記の内容について変更となることがあります。詳細については決定次第、本学ホームページで公表しますのでご注意ください。
 ※工学部のAO入試Ⅰ及びAO入試Ⅱにおける①、②の区分は出願要件の違いによります。
 ※上記の募集人員は予定ですので、7月発表予定の「入学者選抜要項」及び各募集要項で確認して下さい。

募集要項等の発表時期

入試種別	募集要項	発表時期
	入学者選抜要項(入試概要)	7月上旬
一般入試	前期日程	10月中旬
	後期日程	
推薦入試	推薦入試Ⅰ 教育学部 医学部看護学科	9月上旬
	推薦入試Ⅱ 教育学部 国際地域学部 医学部医学科 (地域枠・全国枠) (福井健康推進枠)	
オープン入試	AO入試Ⅰ 教育学部 工学部	9月上旬
	AO入試Ⅱ 工学部	

・発表時期は変更する場合があります。
 ・私費外国人の募集要項希望者は、入試課に照会してください。

各募集要項等は、福井大学携帯サイトの「入試情報」にアクセスして、テレメールで請求することができます。また、入試課窓口(平日8:30~17:00)でも請求することができます。

入試情報は
こちらから



平成28年度 入試日程(一般入試)

■7月~12月

7月 「入学者選抜要項」公表
 8月6日(木) オープンキャンパス(松岡)
 8月7日(金) オープンキャンパス(文京)
 9月~ 「大学入試センター受験案内」請求
 10月~ 大学入試センター試験出願、
 「学生募集要項」請求

■1月

1月16日(土)、17日(日) 大学入試センター試験

■2月

1月25日(月)~2月3日(水) 一般入試出願期間
 2月25日(木) 前期日程個別学力検査
 ※26日(金) (個別学力検査第2日)※医学部のみ

■3月

3月6日(日) 前期日程合格発表
 3月12日(土) 後期日程個別学力検査
 3月20日(日) 後期日程合格発表

編入学、大学院入試について

編入学(3年次:工学部)、学士編入学(2年次:医学部医学科)及び大学院(修士課程、博士課程、博士(前期・後期)課程、教職大学院)の詳細については、個々の学生募集要項及び福井大学ホームページで確認してください。

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育学部・工学部・国際地域学部)
 TEL 0776-27-9927
 学務部松岡キャンパス学務室 入試試験係(医学部)
 TEL 0776-61-8246

※問い合わせはできる限り、志願者本人が行ってください。
 また、必要に応じてメモをとってください。

福井で、暮らす。遊ぶ。

～福井の魅力をご案内～

福井って こんなところ

幸福度ランキング日本一

福井大学のキャンパスのある福井県は、自然が豊かで、おいしいものがたくさん。静かで暮らしやすい学びに適した環境であり、海も山も近くアウトドアスポーツやレジャーももたっぶり楽しめます。最近では、持ち家比率の高さや求人倍率の高さなどから、「幸福度日本一」*と認められています。

(※日本総合研究所「全47都道府県幸福度ランキング2014年度版」による)

福井が誇る「ものづくり」

手づくりの技が光る伝統工芸や、繊維、電子部品などの工業製品、食を支える農作物など福井には様々な「ものづくり」が息づいています。



鯖江市は国内生産の9割を占める一大産地です。



おいしいお米の代表「コシヒカリ」、実は福井生まれです。



1500年の歴史があり、高級手すき和紙のシェア日本一。

おいしいものもいっぱい!

海も山も近く、美しい水に恵まれた福井は食の宝庫です。

福井の グルメ



冬の味覚の王者。福井では雄のスワイガニを越前がに、メスをセイコガニと呼びます。



福井では冬の定番スイーツ。黒砂糖の風味がほんのり食べやすい。



福井産の材料をたっぷり使ったご当地バーガー。港町・三国の人気グルメです。



サバやイワシを糠漬けにした福井の伝統的な保存食。お土産にオススメ。

これも
おすすめ!



大根おろしの入ったさっぱりしたつゆと、コシのしっかりとした麺が特徴です。



スパイシーなソースとカツが絶妙のハーモニー。サクッと揚った薄めのカツが食べやすい。



外側はカリッ、中はふわふわの油揚げは、遠方から買いに来る人が絶えない人気の逸品です。

福井で遊ぶ!

東尋坊



断崖絶壁から見下ろす景色はまさに絶景です。

あわら温泉



「関西の奥座敷」と親しまれ、多くの文人墨客にも愛された温泉街。

足羽川の桜並木



桜並木は約2kmにもおよび、壮大な桜のトンネルくぐりが楽しめます。

名勝養浩館庭園



福井藩主松平家の別邸で江戸中期を代表する名園の一つです。

西山公園



つつじの名所で、園内動物園のレッサーパンダが人気です。

敦賀キャンパス



福井県恐竜博物館



国内最大級の恐竜と古生物・地学専門の博物館は大人も楽しめます。

一乗谷朝倉氏遺跡



戦国時代、朝倉氏が103年間にわたって治めた城下町跡。剣豪佐々木小次郎は一乗滝で修行を積んだとされています。CMのロケ地でも有名です。

三方五湖



水深が異なる五つの湖は五彩の変化を見せます。

水晶浜



粒の細かい白い砂と澄んだ海水が特徴の海水浴場。

みどころがいっぱい♪



福井大学をもっと知りたい方へ

ホームページへアクセス!

受験生のための FUKUDAI LIFE

各学部の紹介や在学生や教員からのメッセージ、資格や進路、入試のことなど、受験生が気になる情報を満載しています。

●在学を支援するサポーター制度

履修や就職、私生活、友人関係など、学生生活を送る上でのあらゆる不安や悩みについて、さまざまなサポートや活動を行っています。

●学びのバトン

福井大学での学びを受け継ぐ卒業生たちのメッセージです。

●クラブ・サークル紹介

文京・松岡キャンパスのクラブ・サークルを紹介します。

●FACE がんばっている学生を紹介

さまざまな分野で活躍する個性あふれる学生たち。University of Fukui (福井大学) のAce (エース) である彼らのFace (横顔) を紹介します。

●学生×教職員

学生と教職員たちとの協働した教育や取り組みを紹介します。

●入試について教えてQ & A

受験生からのよくある質問とその回答を掲載しています。



学生広報スタッフブログ
「うらら@ふくだい」公開中!!

ケータイやスマホでもご覧いただけます。

<http://www.u-fukui.ac.jp/>



詳しくは

福井大学広報センターの学生スタッフブログはこちら↓
<http://pr.ad.u-fukui.ac.jp/public-staff/urara/>

OPEN CAMPUS 2015

体験しよう、確かめよう

教育学部、工学部
国際地域学部(文京キャンパス)
平成27年8月7日(金)

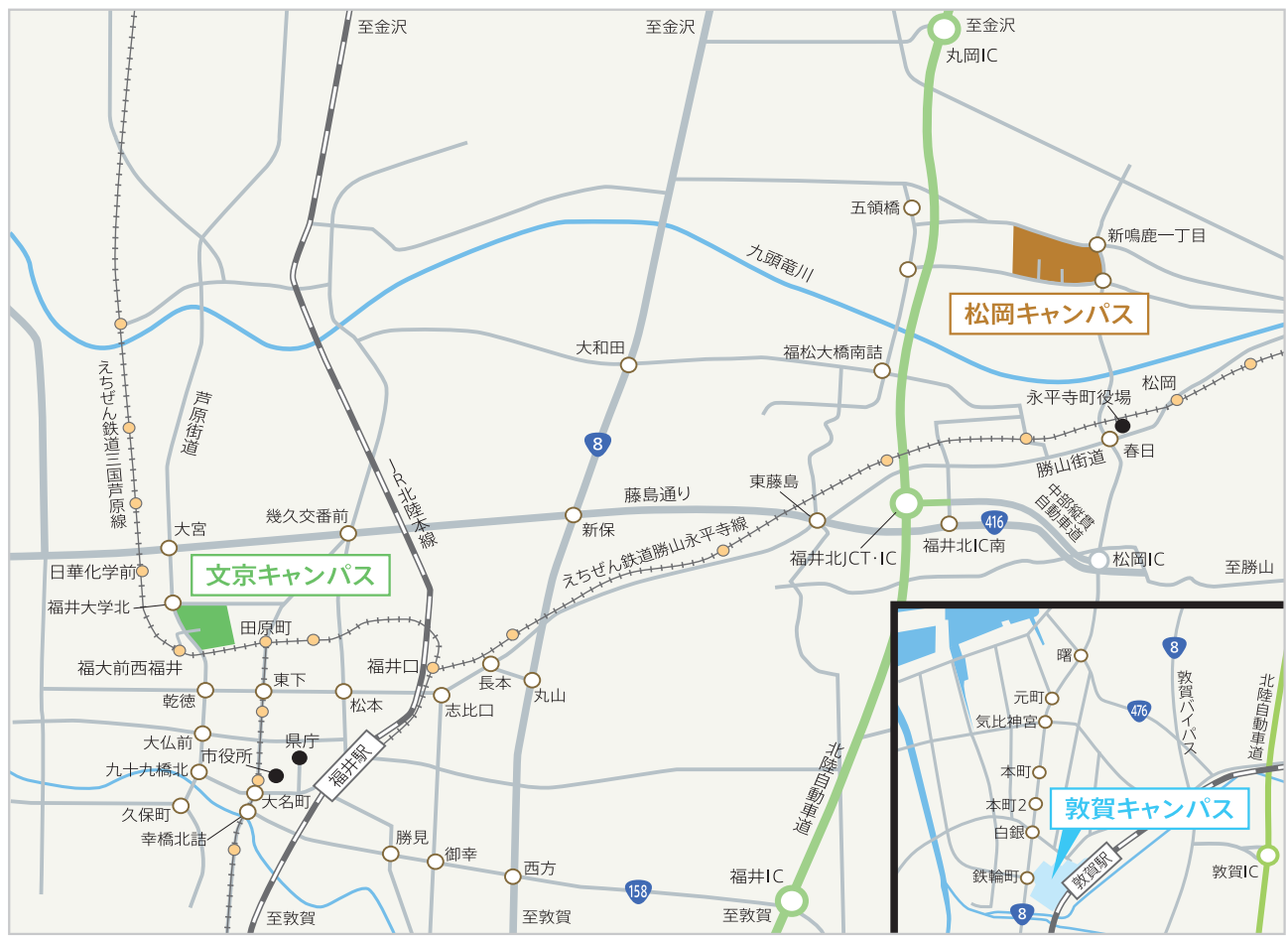
医学部(松岡キャンパス)
平成27年8月6日(木)



Access



名古屋	(電車で約1時間40分又は、バスで約2時間50分)
大阪	(電車で約1時間50分又は、バスで約3時間30分)
東京	(電車で約3時間30分、東海道新幹線、北陸新幹線経由)



文京キャンパス (教育学部・工学部・国際地域学部)

- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅(約10分)→福大前西福井駅 [JR福井駅東口から出て三国芦原線に乗車] ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- バス** JR福井駅(約10分)→福井大学前停留所 [JR福井駅西口から出て市内バス乗り場10番より乗車]
- タクシー** JR福井駅(約10分)→福井大学文京キャンパス [必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北ICから国道416号線で西へ約7km または福井ICから国道158号線で西へ約8km



松岡キャンパス (医学部・附属病院)

- バス** JR福井駅(約35分)→福井大学病院 [JR福井駅西口から出て市内バス乗り場11番より乗車]
- 鉄道** えちぜん鉄道福井駅(約20分)→松岡駅(バス約5分)→福井大学病院 ※西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー** JR福井駅(約30分)→福井大学松岡キャンパス [必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 自家用車** 北陸自動車道 福井北ICから北へ約4km、または丸岡ICから南へ約5km



敦賀キャンパス (附属国際原子力工学研究所)

- 鉄道** JR敦賀駅から徒歩で約3分
- 自家用車** 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス 国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

※標識やバス停の一部に見られる「福井医大」「福井大学病院」も福井大学医学部を指します

創造力、実践力。



福井大学広報センター

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号
TEL.0776-27-9733 FAX.0776-27-8518

文京キャンパス(教育学部・工学部・国際地域学部)

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号

松岡キャンパス(医学部・附属病院)

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23号3番地

敦賀キャンパス(附属国際原子力工学研究所)

〒914-0055 福井県敦賀市鉄輪町1丁目2街区4

<http://www.u-fukui.ac.jp>

E-mail : koho@ad.u-fukui.ac.jp



本学の許可なく、掲載の記事や写真等を
複製・転写することを禁じます

入試に関するお問い合わせ

学務部入試課(教育学部・工学部・国際地域学部)
TEL.0776-27-9927

学務部松岡キャンパス学務室 入学試験係(医学部)
TEL.0776-61-8246